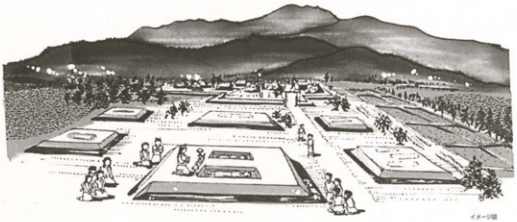
大阪府茨木市

郡遺跡発掘調査概要報告書

－茨木市立生涯学習センター建設事業に伴う発掘調査概要報告－



イメージ図

平成17年3月

茨木市教育委員会

大阪府茨木市

郡遺跡発掘調査概要報告書

－茨木市立生涯学習センター建設事業に伴う発掘調査概要報告－

平成17年3月

茨木市教育委員会

序　　文

わたしたちのまち茨木市は、大阪と京都との間に位置しており、北に老ノ坂の山峰が東西に連なり、この三島平野を安威川・茨木川等に代表される幾筋もの川が南の神崎川へ合流し、大阪湾へと注いでいます。古より交通の要衝の地であるとともに、また、それがゆえに日本の歴史を振り返ると様々な先人たちの足跡をたどることができます。

古代の茨木を中心とした三島地域の様相は、古くは縄文時代晩期において、稲作を行なっていたことを示す灌漑水路と見られる井堰跡や無数の足跡のついた水田跡が牟礼遺跡で発見されています。また、東奈良においては昭和48年に銅鐸の鋳型が発見され、全国的に銅鐸の生産地として広く世の中に知られる事となりました。近年では平成11年に行われた発掘調査によって、東奈良の弥生集落を巡る環濠のひとつから、とてもめずらしい小銅鐸が発見されました。このように弥生時代には農耕社会における銅鐸というシンボルを、早くから活用して発展してきた大集落がこの茨木の地に根づいていました。

さらに、その後の古墳時代では紫金山古墳・耳原古墳・将軍山古墳・太田茶臼山古墳（現継体天皇陵）といった数多くの古墳が築かれ、飛鳥・奈良時代を経て律令制が確立される時代にわたって日本の歴史に少なからず影響を及ぼしていた地域であります。

このように豊かな自然と大地、温暖な気候に恵まれ交通の要衝であるこの地を舞台に、時代ごとに多くの先人たちの生き様が大地に刻み込まれてきました。この大地に残された先人たちの生活や文化を知ることにより、私たちの現在の暮らしがこれまでの歴史の上に成り立っていることを再確認させてくれると同時に、これからの暮らしに少なからず豊かさを与えてくれるものと考えております。

今回の報告書は、茨木市立生涯学習センター建設に伴う郡遺跡発掘調査の概要報告であり、この調査成果をもとに文化財の保護・保存・活用・啓発に努め、後世の人々に文化遺産を残し伝えていくことが大切であると考えています。まさに生涯学習の場にふさわしいと言えます。

なお、発掘調査にあたりまして、深いご理解とご協力をいただきましたご関係の皆様方に深く感謝するとともに、今後とも本市の埋蔵文化財の保護・保存により一層のあたたかいご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成17年3月31日

茨木市教育委員会
教育長　大橋忠雄

例　言

1. 本書は茨木市教育委員会が平成 14 年度に実施した、茨木市畑田町に所在する郡遺跡（茨木市立生涯学習センター建設事業）の発掘調査概要報告書である。
2. 調査は、大阪府教育委員会文化財保護課の指導・助言を得て、茨木市教育委員会が実施した。
発掘調査は下記の事務局体制により、平成 14 年 (2001)10 月に着手し、平成 15 年 3 月に終了した。なお、埋蔵文化財に関する業務は、（現）地域教育振興課文化振興係が主担当としてあたった。

茨木市教育委員会事務局

平成 14 年度		平成 16 年度		
教育長	大橋忠雄	教育長	大橋忠雄	
生涯学習部長	荒戸敏幸	生涯学習部長	松山吉雄	（平成 15 年度～）
生涯学習課長	酒井博	地域教育振興課長	酒井博	（平成 16 年 12 月～）
文化振興係長	上田充	文化振興係長	池田育生	（平成 16 年度～）
担当主査	井上哲雄	担当主査	井上哲夫	
主事	宮脇薫		川井いゆ子	
調査員	中東正之	主事	宮脇薫	
	黒須靖之	調査員	中東正之	
	宮本賢治		黒須靖之	
			宮本賢治	

3. 調査は試掘調査を平成 14 年 5 月 28 日に調査員　中東　正之が担当し、本調査を平成 14 年 10 月 18 日から平成 15 年 3 月 21 日まで実施し、調査員　黒須　靖之が担当した。整理・報告書作成業務は平成 16 年 12 月末日まで行った。本書は執筆・編集・実測・撮影を黒須が担当し、トレースを黒須・西坂　泰子が担当した。
4. 本書で使用する標高はすべて T.P.（東京湾標準海水面）で表し、図中の方角はすべて座標北（西偏約 7 度 10 分）である。平面直角座標第 VI 系に準じるが、H14 年 4.1 の測量法の改正により世界測地系への成果変換が進んでいるが、本書は日本測地系の旧座標を使用している。
5. 発掘調査にあたっては、地元の方々をはじめ、寺西建設株式会社、安西工業株式会社、中央図書館、東急不動産株式会社、関係方々にご協力いただいた。また、本調査では調査員　宮本賢治、調査補助員　高瀬隆治・若林純也・西井貞義・辻本祐布子・江崎貴子、整理作業では、水洗・註記・接合を内業補助員　田中良子・峰松皓代・大戸井和江・高橋公子・ニ反長恵子・堀沢照美・下山法子・和田恵津子・井上和香奈が行った。なお、調査の実施および報告書の作成については関係諸機関をはじめ以下の方から多大なご教示を賜った。
森郁夫　（帝塚山大学教授）・濱野俊一（二上山博物館）・免山篤（茨木市文化財保護委員）・奥井哲秀（茨木市立文化財資料館）・宮脇薫（茨木市教育委員会）
6. 調査で出土した遺物および記録等は茨木市教育委員会　茨木市立文化財資料館〒 567 - 0034　大阪府茨木市東奈良三丁目　TEL072 - 634-3433 で保管している。
7. 遺構・遺物等の記載は、土層および遺物の色調については『新版標準土色帖』（小山・竹原　編）を用いた。遺物の縮尺は基本的に 1/3、他原寸・1/2・1/4 で、遺構平・断面図は図中にスケールを掲げ、縮尺率を明記した。
8. 遺構の記号・番号は次のとおりとした。
SB（建物跡）　SC（柱列）　SD（溝・流路）　SE（井戸）　SF（土塁状遺構）
SH（石敷遺構）　SI（竪穴および竪穴住居）　SK（土壙）　SZ（方形周溝墓）
SX（不定形遺構・不明遺構）
遺構番号は弥生時代から古代までは 1 ～ 499、中世以降は 500 ～に分けている。また、柱穴については総数が多いため、この限りではない。

全　体　目　次

序　文 …… i

例　言 …… ii

第I章 遺跡の環境
1.位置と地形 …… 1
2.歴史的環境 …… 1
3.調査に至る経過 …… 3

第II章　調査の内容 …… 5
1.調査概要 …… 5
2.基本層序 …… 17
3.弥生時代の遺構と遺物 …… 18
4.古墳時代～古代の遺構と遺物 …… 86
5.中世の遺構と遺物 …… 151

第III章　調査のまとめ …… 170

遺物観察表 …… 174

写真図版 …… 193

報告書抄録 …… 214

挿　図　目　次

第1図 茨木市内遺跡分布図……vii
第2図 郡遺跡群調査区全体図……viii
第3図 弥生時代～古代調査区全体図……7～8
第4図 中世調査区　全体図……9～10
第5図 調査区断面図(1)……11～12
第6図 調査区断面図(2)……13～14
第7図 調査区断面図(3)……15～16
第8図 方形周溝墓1～3 平面図……19
第9図 方形周溝墓1～3遺物出土状況図……20
第10図 方形周溝墓1～3断面図……21
第11図 方形周溝墓1(SD64)出土遺物……22
第12図 方形周溝墓2・3(SD66・67)出土遺物…23
第13図 方形周溝墓4・5 平面図……25
第14図 方形周溝墓4・5 断面図(1)……26
第15図 方形周溝墓4・5断面図(2)……27
第16図 方形周溝墓5・6(SD83)出土遺物……28
第17図 方形周溝墓6平面図……30
第18図 方形周溝墓6断面図……31
第19図 方形周溝墓7平面図……33
第20図 方形周溝墓7断面図……34
第20図 方形周溝墓7(SD59)出土遺物……34
第21図 方形周溝墓8 平面図……35
第22図 方形周溝墓8 断面図……36
第23図 方形周溝墓9 平面図……38
第24図 方形周溝墓9 断面図……39
第25図 方形周溝墓10 平面図……41
第26図 方形周溝墓11・12 平面図……44
第27図 方形周溝墓11・12 断面図……45
第28図 方形周溝墓11・12 断面図(2)……46
第29図 方形周溝墓13・14 平面図……48
第30図 方形周溝墓13・14 断面図(1)……49
第31図 方形周溝墓13・14 断面図(2)……50
第32図 方形周溝墓13・14 断面図(3)……52
第33図 方形周溝墓13(SD202)出土遺物……53
第34図 方形周溝墓11・12・14・15・17
(SD235・223・221)出土遺物…54
第35図 方形周溝墓15・16平面図……57
第36図 方形周溝墓15・16 断面図(1)……58
第37図 方形周溝墓15・16 断面図(2)……59
第38図 方形周溝墓15・16 断面図(3)……60
第39図 方形周溝墓17 平・断面図……62
第40図 方形周溝墓17 断面図……63
第41図 方形周溝墓17 断面図(2)……64
第42図 方形周溝墓18・19 平面図……66
第43図 方形周溝墓18・19 断面図……67
第44図 方形周溝墓18・19 断面図(2)……68
第45図 方形周溝墓20・21 平面図……70
第46図 方形周溝墓20・21 断面図……71
方形周溝墓20・21 断面土層註記……72
第47図 方形周溝墓21・22(SD197) 出土遺物…73
第48図 方形周溝墓22・23 平・断面図……75
第49図 方形周溝墓22・23 断面図(1)……76
第50図 方形周溝墓22・23 断面図(2)……77
第51図 SD-196・220 他 断面図(1)……81
第52図 SD-196・220 他 断面図(2)……82
第53図 SD-196・220 他 断面図(3)……83
第54図 SD(溝)196・206 出土遺物……84
第55図 弥生時代遺物包含層出土遺物……85
第56図 SD(溝)58 平面図……87
第57図 SD-58/SK-17・25 断面図……88
第58図 SD(溝)58/SK18出土遺物(1)……89
第59図 SD(溝)58/SK-17出土遺物(2)……90
第60図 SD(溝)58/SK-17 出土遺跡(3)……91
第61図 SD-60 平面図……93
第62図 SD-60 断面図(1)……94
第63図 SD-60 他断面図(2)……95

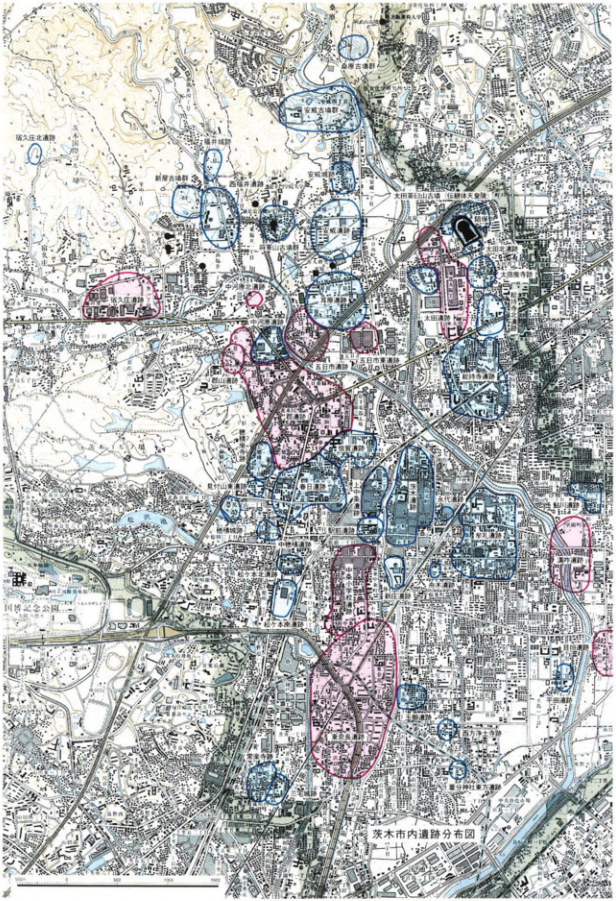
第64図 SD(溝)60 出土遺物……96
第65図 SI-01(竪穴住居跡) 平・断面図……98
第66図 SI-02・SK-23 平面図……100
第67図 SI-02・SK-23 断面図……101
第68図 SI-03 平・断面図……102
第69図 SI(竪穴住居跡)
1～3・8・11・15・16/SK83出土遺物…103
第70図 SI-06・07・SK-83 平面図……106
第71図 SI-06・07/SK-83 断面図……107
第72図 SI(竪穴住居跡)7 出土遺物(1)……108
第73図 SI(竪穴住居跡)7 出土遺物(2)……109
第74図 SI(竪穴住居跡)7 出土遺物(3)……110
第75図 SI(竪穴住居跡)7 出土遺物(4)……111
第76図 SI(竪穴住居跡)7 出土遺物(5)……112
第77図 SI(竪穴住居跡)7 出土遺物(6)……113
第78図 SI(竪穴住居跡)7 出土遺物(7)……114
第79図 SI-08・09 平面図……116
第80図 SI-08・09 断面図……117
第81図 SI(竪穴住居跡)9 出土遺物……118
第82図 SI-10 平・断面図……120
第83図 SI(竪穴住居跡)10 出土遺物……121
第84図 SI-11 平・断面図……122
第85図 SK-24 断面図……123
第86図 SI-12 平・断面図……124
第87図 SI(竪穴住居跡)12/SK-56 出土遺物……125
第88図 SI-13・14 平面図……127
第89図 SI-13・14 断面図……128
第90図 SI(竪穴住居跡)
13・14/SK52・54・57出土遺物…129
第91図 SK(土壙)54出土遺物……130
第92図 SI-15 平・断面図……131
第93図 SI-19 平・断面図……133
第94図 SI(竪穴住居跡)20出土遺物……135
第95図 SE-02・03/SK群断面図……136
第96図 SE(井戸)02出土遺物(1)……137
第97図 SE(井戸)02出土遺物(2)……138
第98図 SE(井戸)02出土遺物(3)……139
第99図 SE(井戸)03/SK(土壙)
129・139/SP(柱穴)1474出土遺物…140
第100図 SE03出土遺物(2)……141
第101図 SK(土壙)-20・21 平・断面図……143
第102図 SK(土壙)20・21・23・38・111/
SP(柱穴)1406・1481出土遺物…144
第103図 古墳時代遺物包含層出土遺物……146
第104図 SD-74 平・断面図……148
第105図 SD(溝)74/SP(柱穴)1275出土遺物……148
第106図 SP(柱穴)305・743/
HH01-1(穂積廃寺)SP25出土遺物…149
第107図 古代及び古代以降遺物包含層出土遺物…150
第108図 SB-501(建物跡)平面図……153
第109図 SB-501/SD-512 断面図……154
第110図 SB(建物跡)501出土遺物……155
第111図 SP(柱穴)5・119・240・
349・645・730・1317出土遺物…156
第112図 SI-518(竪穴)平・断面図……158
第113図 SI(竪穴)518出土遺物(1)……159
第114図 SI(竪穴)518出土遺物(2)……160
第115図 SI(竪穴)518出土遺物(3)……161
第116図 SH-501(集石遺構)平・断面図……162
第117図 SD-521断面図……164
第118図 SD(溝)521出土遺物(1)……165
第119図 SD(溝)521出土遺物(2)……166
第120図 SF(土塁状遺構)501出土遺物……167
第121図 SD(溝)523・579出土遺物……167
第122図 SK(土壙)508・532出土遺物……168
第123図 中世遺物包含層 出土遺物……169

表　目　次

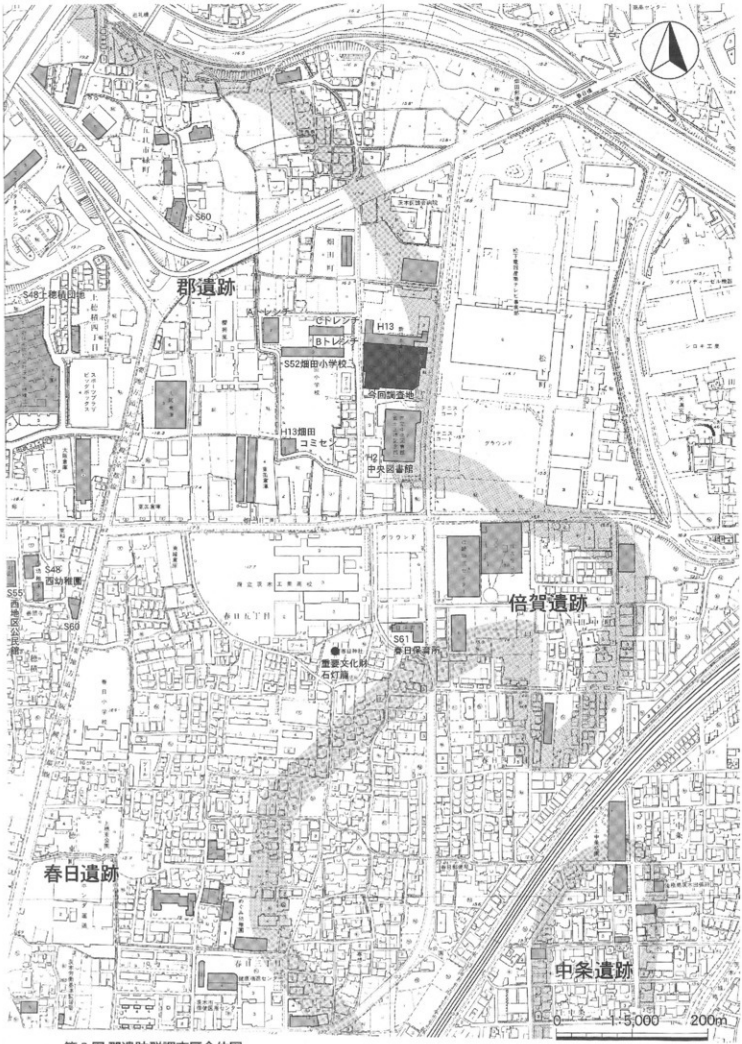
表1　遺物番号1～49……174
表2　遺物番号50～94……176
表3　遺物番号95～137……178
表4　遺物番号138～188……180
表5　遺物番号189～233……182
表6　遺物番号234～278……184
表7　遺物番号279～323……186
表8　遺物番号324～368……188
表9　遺物番号371～408……190
表10　石器・金属器……192

写　真　目　次

第1図版　郡遺跡調査区全景……195
第2図版　東調査区第2面北側全景/東調査区第2面南側全景……196
第3図版　東調査区第2面全景/東調査区第2面中央部……197
第4図版　西調査区第2面南側全景/西調査区第2面南西部全景……198
第5図版　方形周溝1～5全景/出土状況/土坑墓1・2ほか……199
第6図版　方形周溝7/11～14/19全景/出土状況ほか……200
第7図版　方形周溝12～17/19/21/23全景/出土状況ほか……201
第8図版　SD(溝)196/220全景/SD74出土状況/SE(井戸)3全景および出土状況ほか……202
第9図版　SI(竪穴住居跡)2/3/10全景および出土状況……203
第10図版　SI(竪穴住居跡)5～9全景および出土状況……204
第11図版　SI13検出状況/SI13・14全景(完掘状況)……205
第12図版　SI14全景(完掘状況)……206
第13図版　SB(掘立柱建物跡)501全景/SB501柱穴内出土状況/SD521全景……207
第14図版　SI518全景/出土状況/SH(集石遺構)501全景……208
第15図版　遺物写真(遺構番号)SD58/59/64/66/67/83/202/206/235出土遺物……209
第16図版　遺物写真(遺構番号)SD57/58/60/80/SK(土坑)
18/SI2/3/7/8 SI10/15出土遺物……210
第17図版　遺物写真(遺構番号)SI7出土遺物……211
第18図版　遺物写真(遺構番号)SI13/14/SK54/56/129/SE2/3出土遺物……212
第19図版　遺物写真(遺構番号)SE3/SK38/SP(柱穴)308/743/1406/遺物包含層出土遺物……213



第１図　茨木市内遺跡分布図



第 2 図 郡遺跡群調査区全体図

I. 遺跡の環境

1. 位置と地形

茨木市は、大阪府の北東部に位置し、市域は南北 17.3km、東西 8.6km と南北に長く、東西に短い市域を有している。地理的特徴としては、北半部は標高 300m 前後の秩父古生層系の岩石により構成される北摂山地およびそこから派生する丘陵部からなり、西は標高 50 ～ 100m 前後で前期洪積層の隆起地形のひとつで大阪層群で形成された千里丘陵が南北に伸び、東と南は淀川・安威川などの河川によって形成された沖積層からなる三島平野が広がっている。

また、市内を流れる河川は北摂山地に源を発し、安威川・佐保川・茨木川や中河原付近で茨木川と合流する勝尾寺川等の主要河川が屈曲しながら北から南へ三島平野を流れ、神崎川と合流し大阪湾に注いでいる。東奈良遺跡をはじめとする茨木市の遺跡は、千里丘陵の東側に位置し、淀川中・下流域北岸に広がる北摂地域の西半部に属している。今回調査された郡遺跡は茨木川右岸の千里丘陵から派生した段丘の先端に位置し、標高 15m 程である。遺跡の範囲は南北に約 1.5km、東西 1km と茨木川沿いにやや北西 - 南東方向に広がっており、今回の調査地点は遺跡の東端部にあたる。

2. 歴史的環境

茨木市および周辺での最古の人類の足跡は、旧石器時代後期の国府型ナイフ形石器や有舌尖頭器が、山間部の初田遺跡や丘陵部裾の太田・耳原・郡・福井・安威遺跡等で表面採集や後世の遺物包含層から検出されている。また、沖積地の微高地上に立地する東奈良・新庄遺跡でもナイフ形石器が出土している。

縄文時代の遺跡は茨木市および周辺では各時代の遺跡数に比べると分布は希薄で少なく、草創期から縄文時代中期にかけての遺跡はほとんどなく、縄文時代後期になって、太田・西福井・初田遺跡など丘陵部に見られるようになる。縄文時代晩期になると遺跡数が増加してくる傾向にあり、近年の発掘調査によって、明確な遺構と遺物を伴う晩期の遺跡として、耳原遺跡や牟礼遺跡があげられる。市内では茨木川 (佐保川) と安威川に挟まれた舌状台地に立地する耳原遺跡で縄文晩期 (滋賀里 III ～ V 式・船橋式・長原式) の土器棺墓群が検出され、安威川右岸の沖積地に立地する牟礼遺跡では縄文晩期 (滋賀里 III ～ IV 式・船橋式) の土器・自然流路・井堰・水田跡が検出されている。また、東奈良遺跡では弥生時代の遺物包含層から縄文時代前期末 (大歳山式・北白川下層式) の爪形文 (C 字) 土器、弥生前期の溝から東北地方の縄文晩期後半 (大洞 A・A' 式) に併行する浮線文土器、晩期後半の突帯文土器が出土している。

弥生時代になると遺跡数が急に増加し、北部九州から東進してきた水稲農耕をはじめとする弥生文化は、大阪湾から淀川を北上し、茨木市にも急速に広がりを見せはじめる。市内の弥生時代前期の遺跡は、東奈良を中心に、牟礼・耳原遺跡など前代の縄文時代晩期から続く遺跡や日垣遺跡に集落を形成する。また、安威川を遡上し、両岸に耳原・郡・倍賀遺跡にも集落を形成する。特に東奈良遺跡では畿内や九州の拠点集落と同様、集落の周りに環濠を幾重にもめぐらせており、畿内では最も古い弥生前期末の方形周溝墓や貯蔵穴・木器溜め遺構を検出している。また、遺跡の南東部では流水文銅鐸の鋳型や大阪湾型銅戈の鋳型・ガラス勾玉の鋳型などが出土している。集落の中に鋳造工房施設を持っていたものと推定され、これらのことから北摂地域における拠点集落のひとつであると考えられている。この東奈良遺跡は弥生前期から中世に至る複合遺跡で、遺跡の範囲は南北約 1.4km、東西 1km を測る。

弥生時代中期になると更に遺跡数が増加し、市内の主要河川の両岸や丘陵部・山地部にまで広がりをみせる。東奈良遺跡の分村と推定されている中条小学校遺跡や中河原・太田・溝咋・春日・倍賀遺跡、高地性集落の石堂ヶ丘遺跡などが出現する。周辺では高槻市に東奈良遺跡と同様に拠点的集落と考えられている安満遺跡や平野部に郡家川西・芥川遺跡、丘陵上に天神山遺跡があり、北摂山地の尾根上には高地性集落と呼ばれる古曽部・紅茸山・萩之庄・芝谷遺跡が展開している。吹田市でも弥生中期から後期の高地性集落である垂水遺跡がある。また、千里丘陵東の山田別所では外縁付紐式銅鐸、箕面市如意谷遺跡では

突線紐式銅鐸が単独出土している。弥生時代後期にはさらに宿久庄・安威・総持寺遺跡等が出現する。

古墳時代に入ると北部の丘陵部に、紫金山古墳や将軍山古墳が相次いで造営される。両古墳とも全長100m 程の前方後円墳で、後円部中央に竪穴式石室が構築される。紫金山古墳では堰室内から 12 面の鏡や貝製の鍬形石・車輪石・筒形銅器が出土している。将軍山古墳の竪穴式石室の石材は和歌山県の紀ノ川流域から運ばれたとされる結晶片岩を用いている。古墳時代前期末には、安威 0 号墳、安威 1 号墳が築造される。安威 0 号墳は直径約 10m の円墳で、墳頂部には割竹型木棺を入れた粘土槨が 2 基 (1・2 号棺) 検出されている。安威 1 号墳は全長約 45m、後円部径約 30m の前方後円墳で、後円部墳頂に東西主軸を持つ粘土槨 2 基 (1・2 号棺) が検出されている。

古墳時代中期になると、全長 226m、後円部径 138m の前方後円墳である太田茶臼山古墳 (継体天皇陵) が造営される。周囲には陪冢も 5 ヵ所存在し、三島地域最大級の古墳である。また、石山古墳や高槻市の土保山古墳、番山古墳等が築造される。墳丘を削平された中期の古墳が郡・郡前遺跡・中条小学校遺跡でも検出され、近年では、太田茶臼山古墳と同じ安威川左岸の「富田台地」上の総持寺遺跡において、約 40 基もの古墳が発見されており、内 1 基のみが円墳で方墳を主体とする古墳群が確認されている。規模は 4 ～ 15m 程であるが、出土した円筒埴輪や形象埴輪の中には太田茶臼山古墳や今城塚古墳に埴輪を供給していた新池埴輪製作遺跡産とする分析結果が得られている。

古墳時代後期になると、横穴式石室を主体とする古墳が、安威川・佐保川・勝尾寺川流域の山麓部に出現する。茨木市域で、最も早く横穴式石室を導入したと推定される青松塚古墳が築造され、続いて南塚古墳・海北塚古墳が築造され、群集墳である安威古墳群・将軍山古墳群・新屋古墳群・長ヶ谷古墳群・郡古墳群・真龍寺古墳群・耳原古墳 (群 - 最近の調査で新たに古墳発見) などが築造される。特に耳原古墳は直径 23m 前後の円墳で巨大な横穴式石室を持ち、玄室奥壁は花崗岩の一枚岩、側壁 3 段積みで玄室内には奥棺に凝灰岩製の家型組合式石棺、前棺は家型刳抜式石棺を持っている。周辺の高槻市では安威川と女瀬川に挟まれた富田台地上に全長約 190m の前方後円墳である今城塚古墳が築造されている。群集墳では塚原古墳群・塚脇古墳群・慈願寺古墳群が形成される。また、古墳時代後期末から終末期にかけて初田古墳・上寺山古墳・阿武山古墳が築造される。

集落遺跡としては、弥生時代から引き続き東奈良遺跡・太田・中条小学校・郡・倍賀・安威・総持寺遺跡などで集落が営まれるが、集落規模・構造等の具体的な事は未だ明らかではなく、高槻市側では安満遺跡や大蔵司遺跡・芥川遺跡などで前時代の弥生時代から引き続き集落が営まれている。また、吹田市域では古墳時代後期に千里丘陵東南部に大規模な須恵器窯が多数築かれる。

古代律令期になると高槻・茨木地域をそれまで三島郡 (『日本書記』雄略 9 年条) と呼んでいた地域が主に高槻市側を嶋上郡、茨木市側を嶋下郡 (初見は和銅 4 年 (711)) と呼ばれるようになる。嶋下郡は、新野・宿人 (久) ・安威・穂積の 4 郷からなり、嶋下郡衙は旧山陽道 (西国街道) 沿いの郡付近にあったと推定されている。今回の調査地の郡遺跡は古代律令期には、そのほとんどが新野郷に属し、一部穂積が穂積郷に属していたものと思われる。また、嶋上郡衙は昭和 45 年に富田台地上の芥川右岸沿いの高槻市郡家で奈良時代の掘立柱建物跡群や「上郡」と墨書された土師器が出土したこと等で嶋上郡衙とされている。また飛鳥～奈良時代頃にかけて創建された有力氏族の氏寺とされる穂積廃寺・太田廃寺・三宅廃寺があり、特に太田廃寺からは礎石・舎利容器一具そして軒丸・軒平瓦が出土し、安威大織冠山からは凝灰岩製の石櫃から二彩釉蔵骨器が発見されている。最近の発掘調査によると、総持寺遺跡から総持寺北遺跡にかけて 6 世紀～ 10 世紀前半にかけての集落跡 (掘立柱建物跡を主体とする) が確認されており、総持寺遺跡では 7 ～ 8 世紀代の建物が多く、約 80 棟ほど検出されており、さらに数十棟は確認されることは確実である。また、総持寺北遺跡では 9 世紀～ 10 世紀代の建物が多く、約 70 棟ほど検出されている。郡遺跡においても畑田町内の西側、現在の主要地方道大阪高槻京都線沿いの茨木インターチェンジ付近で 7 ～ 8 世紀代と思われる建物群が検出されているほか、郡神社の北東裾野に広がる郡山遺跡からも当該期の建物跡が検出されている。東奈良遺跡においても確認されているが、これまでの調査事例からすると西国街道沿いの遺跡か

ら当該期の大規模な集落が発見されている。なお、平安時代前期(9世紀)には、忍頂寺・総持寺が建立される。

中世に入ると、郡・宿久庄・総持寺・春日・倍賀・中条小学校・牟礼・溝咋・目垣・東奈良遺跡などで掘立柱建物や井戸を中心とした中世集落が展開し、当時使用していた瓦器・土師器・東播系須恵器・青磁・白磁などの椀・皿・坏・鍋・捏ね鉢等が出土している。

3. 調査に至る経緯

(1) これまでの調査

郡遺跡では昭和48年度に本格的な発掘調査が茨木インターチェンジの南側の大阪府住宅供給公社上穂積団地建設用地にて約20,000㎡が実施された。調査の結果、弥生時代中期～後期の方形周溝墓・竪穴住居・井戸や古墳時代中期～後期の墳丘が削られた古墳が約10基・馬の埋葬土壙、奈良時代～平安時代の掘立柱建物跡や南北方向の溝等が検出された。同年、上穂積2丁目に所在する市立西幼稚園建設に伴って発掘調査が実施され、弥生時代中期(畿内第Ⅱ様式)の方形周溝墓1基と埋葬施設の土壙墓2基を検出している。また、昭和52年度には畑田町において市立畑田小学校建設に伴う試掘調査において、古墳時代の遺物包含層が確認されたことにより遺跡範囲が東へ大きく広がる契機となった。この発掘調査で弥生時代中期の方形周溝墓を中心に後期後半のものまで9基・古墳時代後期の竪穴住居1棟・飛鳥時代～平安時代前期の井戸等が検出され、滑石製子持勾玉や韓式系土器や「大」とヘラ描きされた須恵器瓶子が出土した。昭和55年度には上穂積2丁目において古墳時代中期の削平された古墳が1基検出された。昭和57年度には遺跡の北部、郡4丁目で倉庫建設に伴う発掘調査で多数の柱穴群が検出され、昭和60年度の上穂積2丁目の店舗建設に伴う発掘調査では、弥生時代中期(Ⅲ様式)の溝を共有した方形周溝墓3基・奈良時代の掘立柱建物跡や溝が検出されている。また、上穂東町の共同住宅建設に伴う発掘調査では12世紀頃の溝が検出されている。

郡遺跡の南端に接する倍賀遺跡では、昭和61年度に市立春日保育所建設に伴う発掘調査が実施され、弥生時代中期の方形周溝墓や弥生時代後期および古墳時代後期(6世紀)の溝の一部が検出された。さらに、同年、隣接する住友セメント(株)茨木工場において施設の建設に伴って発掘調査が実施され、弥生時代中期の方形周溝墓?が検出されている。平成3年度にも住友セメント(株)茨木工場において倉庫建設に伴う発掘調査が敷地東半部で実施された。調査面積は3,000㎡で、検出された遺構は1辺が4.5～9m程度の方形周溝墓14基・自然流路1条・大溝3条・溝35条・土壙約110基・柱穴200口程であった。方形周溝墓の傾向としては周溝が完周せずに大きく陸橋部が開くタイプが多く、周溝の断面形は逆台形やU字形を呈し、溝幅0.4～3m・深さ0.1～0.7mを測る。流水の痕跡は認められず、遺物は弥生時代中期(畿内第Ⅲ様式)の土器が周溝内から出土しているが、方形周溝墓9～11以外は再片で摩滅しており、時期決定は困難とされた。いずれも今回の調査地からは南へ40～90m程度しか離れておらず、関連性が強く窺える調査である。

近年、郡遺跡では南に隣接する市立中央図書館建設に伴う発掘調査が平成2年度に実施された。調査面積は2,830㎡で、検出された遺物の中には弥生時代前期後半の広口壺があるが、遺構に伴うものではなかった。この調査では弥生時代中期前半の土壙が最も古く、主な遺構の形成は弥生時代後期からである。また、調査地を南北に延びる環濠と推定される大溝が検出されており、開削時期は不明としながらも弥生時代後期後半には埋没して機能を失ったと推定している。(茨木市:平成4年度発掘調査概報)この大溝の内側(西側)では竪穴住居跡が1棟・井戸1基・土器廃棄土壙等が検出されている。また、古墳時代の遺構(5世紀後半～6世紀初頭頃)が多く、落込みや井戸から多数の須恵器や土師器が出土しているほか、韓式系土器も見られる。中世の井戸からは和泉型瓦器椀・土師器皿・土師器鍋・東播系須恵器捏鉢が一括出土しており、和泉型瓦器椀は12世紀中頃のものとされている。(尾上編年Ⅱ-2)

(2) 調査経過

今回の発掘調査は、平成14年4月16日、茨木市生涯学習部生涯学習課から埋蔵文化財確認試掘調査についての依頼を受け、同年5月28日に建設予定地に5箇所のトレンチを設定して試掘調査を実施したところ、そのすべてのトレンチにおいて遺構および遺物包含層等が確認されたことから、建設予定部分全域において、発掘調査を実施することとなった。同年、10月4日から準備工に入り、10月23日より表土除去作業を開始した。調査は予想される土量から反転調査とし、西半部の掘削を先に行った。表土除去・排土運搬・盛土成形等重機等の使用は11月2日まで行ない、その後は中世面の遺構検出から人力掘削している。中世面の精査は11月26日で終了し、遺物包含層掘削に移行した。包含層掘削は茨木市道路座標軸(国土座標平面直座標第VI系)を使用して、10m×10mグリッドを設定して行なっている。東西方向A～J、南北方向1～7(原点 E-4G　X-130300 Y-39500)を使用した。包含層掘削は12月6日に終了し遺構精査を開始した。西半部の写真測量は12月25日に実施し、翌年平成15年1月6日から重機による埋戻工、1月10日から東半部の表土除去等を開始した。重機等の使用は1月24日まで行ない、1月22日から遺構精査、2月5日から3月4日まで遺物包含層掘削をおこない、同時に第2面の遺構精査を実施している。写真測量は3月15日に実施し、3月20日に調査を終了した。

II. 調査の内容

1. 調査概要

郡遺跡は茨木市の西側に南北にのびる千里丘陵から派生した丘陵部先端、茨木川右岸の標高 15m ほどの所に位置する。市内は西から流れてくる勝尾寺川と北から流れてくる茨木川が中河原あたりで合流し南東へ流れ、田中町・西河原あたりで同じく北から流れてくる安威川と合流し、時計回りに弧を描くように南流し、神崎川と合流し大阪湾へ至っている。この自然の作用で形成された河や丘陵に囲まれた部分は概ね大きく 4 つの地域に分類できる。北摂山地および縁辺の勝尾寺川と茨木川に挟まれた地域、茨木川左岸と安威川右岸に挟まれた地域、安威川左岸の富田台地に属する地域、西の千里丘陵と安威川右岸に挟まれた地域の 4 つがある。この最後の地域が市内において最も広大な沖積地を形成し、数多くの遺跡が営まれてきた。郡遺跡もこの地域に属し、縄文時代晩期の井堰で有名な牟礼遺跡、弥生時代前期の東奈良遺跡が営まれてきた地域である。

郡遺跡は南北 1.2km、東西 0.7km にも及ぶ市内では東奈良遺跡に次ぐ広さを有する遺跡であり、その範囲は北が郡 3・4 丁目、上郡 1 丁目、五日市緑町、西は上穂積 2 ～ 4 丁目、南は春日 5 丁目、東が畑田町に及ぶ。

今回の調査地は遺跡東端の畑田町で周辺では過去の調査事例が豊富な場所である。今回の調査区の西隣では昭和 52 年度に茨木市立畑田小学校建設の際に、建物部分の発掘調査が実施され、南では平成 2 年度に隣接する茨木市立中央図書館の建設の際に発掘調査を実施している。また、北に隣接する高層マンション建設に際しても、平成 12 年度に発掘調査が実施されている。これらの調査ではいずれも、弥生時代中期～後期の方形周溝墓群と、北・南に隣接する調査では古墳時代中期～後期 (5 世紀中頃～ 6 世紀初頭) 頃にかけての竪穴住居跡を中心とする集落跡が検出されている。

今回の調査で検出された主な時代の遺構と遺物は次の通りである。弥生時代中期～後期にかけての墓域である方形周溝墓群が検出され、その総数は推定 27 基におよぶ。調査区の南西 - 北東方向にかけて集中して見られ、軸方向も南西 - 北東方向に向いている。その特徴として、方形周溝墓の周溝は完全に周回しておらず、陸橋部分が存在する周溝墓が多数見られることや、周溝墓同士が溝を共有しているものが多数存在する。また、SZ(方形周溝)4 は長方形を呈する主体部と見られる土壙が 2 基並列して検出されているが、このように、主体部とみられる土壙が存在する周溝墓は少ない。墳丘の平面形は方形もしくは隅丸方形 (長方形) を呈しており規模は 1 辺 3.6 ～ 10.1m を測る。小さいもので 3.6 × 3.6m(推定) で面積約 13 ㎡のものから、大きいもので 7.9 × 9.7m で面積約 77 ㎡を測る。周溝の断面形は逆台形や U 字形を呈し、溝幅は 0.3 ～ 3.2m、深さ 0.1 ～ 0.8m を測る。遺物の多くは弥生時代中期の畿内第 III 様式を中心とする土器で周溝内から出土しているものが多いが、弥生時代後期の遺物を伴う方形周溝墓も見られる。

さらに、調査区南東部に方形周溝墓群を区画する南西 - 北東方向に延びる溝 (SD)220 とその外側に位置する大きく弧を描く溝 (SD)196 がある。また、調査区中央東端では人の足跡が無数に検出されている。なお、弥生時代の溝・土壙等の遺構の総数は溝が 37 条、土壙が 17 基、柱穴が 103 口ほど検出されている。

古墳時代の遺構と遺物は 5 世紀後半代の須恵器を中心とする遺物を出土する竪穴住居跡 (SI) 群や井戸・溝・土壙等で構成される集落跡である。竪穴住居跡は 26 棟ほど確認されており、調査区全域に見られるが、南半部に集中する傾向が窺える。また、その主軸方向は大きく 3 つに分けられ、真北を向くグループと、南西 - 北東方向を向くグループと南南西 - 北北東を向くグループに分けられる。いずれも住居の構築時期による差異と思われるが、出土遺物から大きな時期の差はないと見られる。また、SI13 と SI14 は竪穴住居同士が切りあっており、SI13 が SI14 に先行し、SI14 の平面形は長方形を呈する。さらに調査区北端で検出された SI6・7 からは多量の須恵器坏蓋・身および高坏が出土した。平面形は方形もしくは隅丸方形を呈し、規模は 1 辺 1.8 ～ 7.4m を測り、小さいものは 1.8 × 2.3m で床面積 4.14 ㎡から、大きいものは 7.4 × 7.5m で床面積 55.5 ㎡を測る。井戸は調査区南端で 2 基 (SE2・3) が検出されており、須恵器大甕や口縁を細か

く打ち砕いた土師器直口壺が出土している。また、調査区西端では北西－南東方向の長方形に区画された溝が検出され、その溝に囲まれた部分の面積は約 230 ㎡である。出土遺物は有段口縁壺や小型丸底鉢（古墳時代中期頃の甕・坏・高坏等の須恵器）が周溝内から出土している。なお、古墳時代の溝・土壙等の遺構総数は溝が 7 条、土壙が 28 基、柱穴が 127 口ほど検出されている。

古代の遺構は、弥生時代と古墳時代の遺構に比べるとかなり少ない。溝や土壙、柱穴などである。SD74 からは奈良時代頃の遺物がまとまって出土している。また、瓦の破片も遺構から数点出土しており、近くに古代の遺構群の存在を示す資料である。

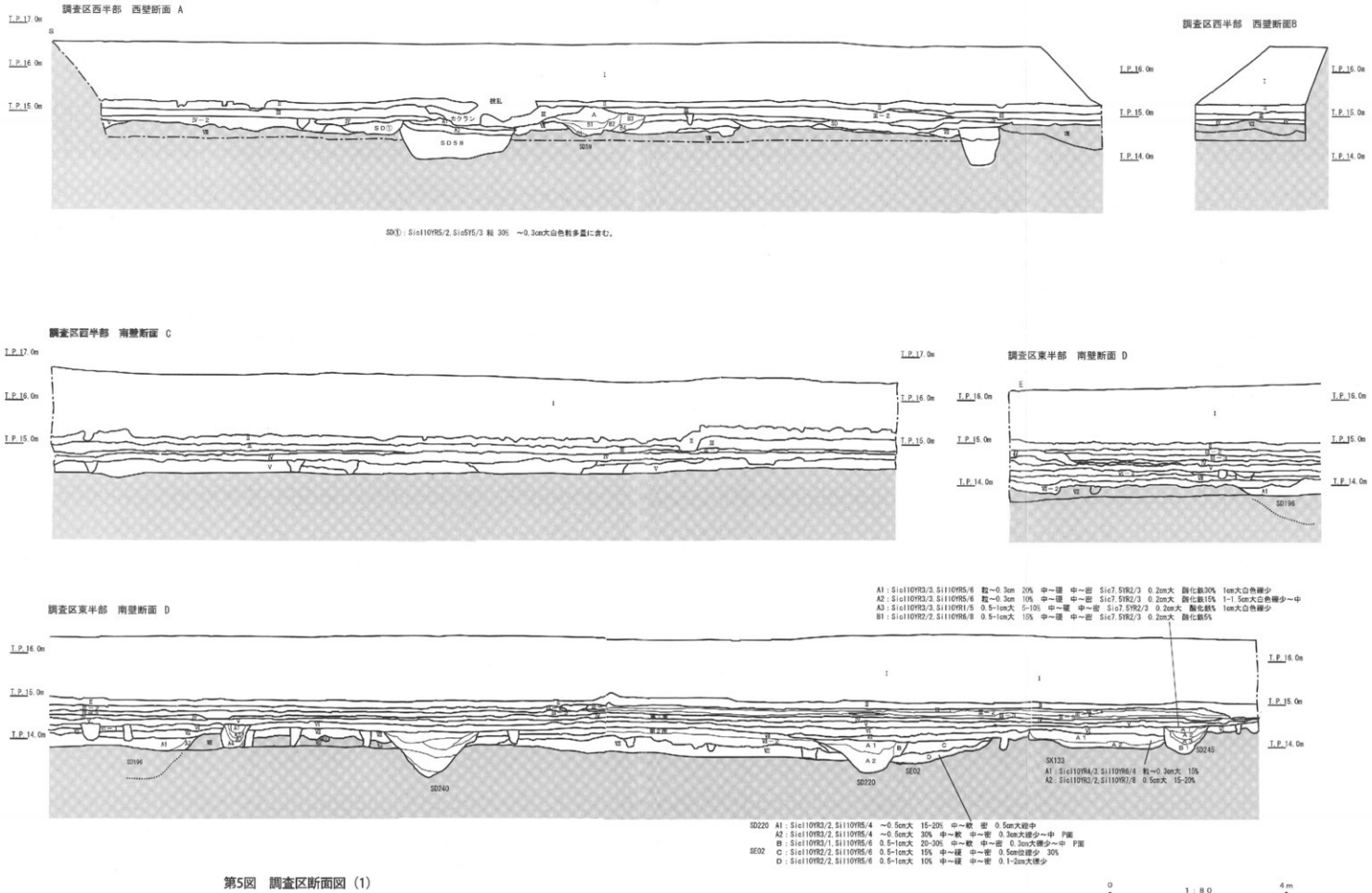
なお、弥生時代中期～古代までの第 2 遺構面において検出された遺構数は、溝が 190 条、土壙 348 基、柱穴 4,676 口であった。その一部の遺構からは遺物を伴って時期の判明する遺構も多いが、遺物を伴わない遺構も数多く存在し細かな検証を要する。

中世の遺構は掘立柱建物跡や竪穴、大溝、耕作溝等で構成される集落跡の遺構群が検出されている。特に大溝 (SD521) は調査区を東西に横切る形で検出され、その総長は 77m にもおよぶ。また、調査区西端では大溝が北に屈曲する様相を見せるが、調査区外へと延びるため定かではない。また、この大溝に直角に取り付くように北から SD512 がのびる。大溝の幅は 3 ～ 5m ほどであり、南には一部礫敷きがされ、土塁状にやや高まりをもって検出された。この大溝に伴って出土した遺物は、土師器皿や「て」字状口縁皿、瓦器椀、白磁碗、龍泉窯系青磁碗、東播系捏ね鉢、陶器甕、壷、瓦、鉄鏃等である。概ね時期は 11 世紀代から 13 世紀前半頃までの時期を示すが、遺物の主体となる時期は 12 世紀～ 13 世紀前半頃であると思われる。この大溝の北側には主軸方向を一にする SB(掘立柱建物跡)501 ～ 503 と SI(竪穴)518 が配置されている。SI518 の西隣りには SH(配石遺構)501 が見られる。SI518 からは多量の遺物の一括出土が見られ、13 世紀前半頃の土師器皿・12 世紀代の瓦器椀等、12 世紀前半頃の白磁碗等が出土している。SB501 の個々の柱穴からは土師器釜や瓦質土器、13 世紀前半頃の瓦器椀 (和泉型) が出土している。これら大溝に区画された北側では建物群や竪穴が見られるのに対し、南側は耕作溝等が中心となっているようである。溝、建物を構成する柱穴群の総数は溝が 313 条、土壙が 109 基、柱穴が 2,231 口検出されている。

今回の調査では 4,332 ㎡を調査し、弥生時代から中世までの遺物がコンテナに約 112 箱出土しており、そのうち図化が可能な遺物の総数は約 800 点にも及ぶが、今回は 408 点を掲載した。出土遺物の総重量は 626kg で、0.144kg/ ㎡であった。主な出土遺物の大半は 5 世紀後半頃～ 6 世紀初頭頃の須恵器が中心で、坏蓋・身・高坏・高坏蓋・壷・甕、土師器器台・高坏・把手付鉢・小型丸底鉢・壷・甕等があり、また、石製品は砥石や滑石製紡錘車が出土している。これらの遺物は竪穴住居跡や井戸・溝からの出土がほとんどである。弥生土器は方形周溝墓の周溝内からの出土が多く、広口壷、無頸壷、有段口縁壷や甕、鉢、小型有孔鉢、高坏、台形土器等であるが、弥生時代中期から後期にかけてのものである。また、相対的にみると墳丘が削平されているためか、遺物の出土量が極めて少なく、個々の方形周溝墓の時期特定は困難である。古代の遺物は少量で SD74 から奈良時代の土師器大形坏蓋や高台付皿、高坏が出土している。遺物包含層からは須恵器甕やすり鉢、平瓦 (7 世紀後半頃) が出土している。他に柱穴からも平瓦等がみられる。中世の遺物をみると、概ね 11 世紀～ 13 世紀代までのものが出土しているが、土師器皿、羽釜、瓦器椀、黒色土器椀、白磁皿・碗、龍泉窯系青磁埦東播系須恵器片口鉢・こね鉢、施釉陶器、滑石製石鍋、砥石、鉄釘・板・鏃等がある。

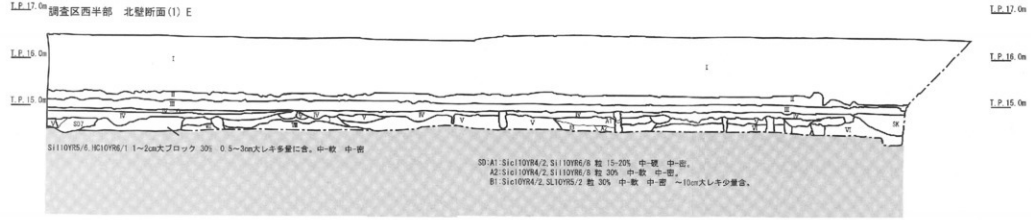
第３図　弥生時代～古代調査区全体図

第4図　中世調査区 全体図


調査区西半部　西壁断面 A
調査区西半部　西壁断面B
調査区西半部　南壁断面 C
調査区東半部　南壁断面 D
調査区東半部　南壁断面 D
T.P.17.0m
T.P.16.0m
T.P.15.0m
T.P.14.0m
SD①：Sic110YR5/2,Sic5Y5/3 粒 30%　～0.3cm大白色粒多量に含む。
A1：Sic110YR3/3,Si110YR5/6　粒～0.3cm　20%　中～硬　中～密　Sic7.5YR2/3　0.2cm大　酸化鉄30%　1cm大白色礫少
A2：Sic110YR3/3,Si110YR5/6　粒～0.3cm　10%　中～硬　中～密　Sic7.5YR2/3　0.2cm大　酸化鉄15%　1-1.5cm大白色礫少～中
A3：Sic110YR3/3,Si110YR1/5　0.5-1cm大　5-10%　中～硬　中～密　Sic7.5YR2/3　0.2cm大　酸化鉄5%　1cm大白色礫少
B1：Sic110YR2/2,Si110YR6/8　0.5-1cm大　15%　中～硬　中～密　Sic7.5YR2/3　0.2cm大　酸化鉄5%
SD220　A1：Sic110YR3/2,Si110YR5/4　～0.5cm大　15-20%　中～軟　密　0.5cm大礫中
A2：Sic110YR3/2,Si110YR5/4　～0.5cm大　30%　中～軟　中～密　0.3cm大礫少～中　P面
B：Sic110YR3/1,Si110YR5/6　0.5-1cm大　20-30%　中～軟　中～密　0.3cm大礫少～中　P面
SE02　C：Sic110YR2/2,Si110YR5/6　0.5-1cm大　15%　中～硬　中～密　0.5cm位礫少　30%
D：Sic110YR2/2,Si110YR5/6　0.5-1cm大　10%　中～硬　中～密　0.1-2cm大礫少
SK133
A1：Sic110YR4/3,Si110YR6/4　粒～0.3cm大　15%
A2：Sic110YR3/2,Si110YR7/8　0.5cm大　15-20%
SD196
SD240
SD220
SE02
SD245
0
1：80
4m

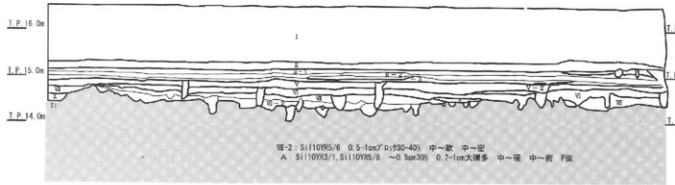
第5図　調査区断面図（1）

調査区西半部　北壁断面(1) E

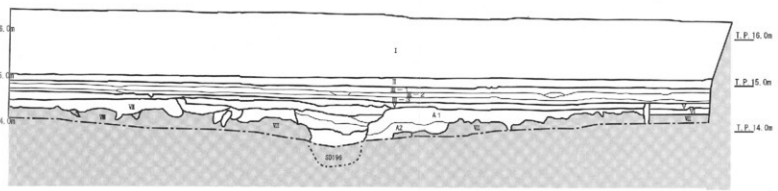


SD7:Sic110YR3/2,Si110YR5/4 砂~粘 15-20% ~1cm大レキやや多く含。中~軟 中~硬。
λ:HC10YR4/1,SL10YR5/2 粒 30% 中~軟 中~密 1~5cm大レキ多量に含。

調査区東半部　北壁断面(1)西側 F

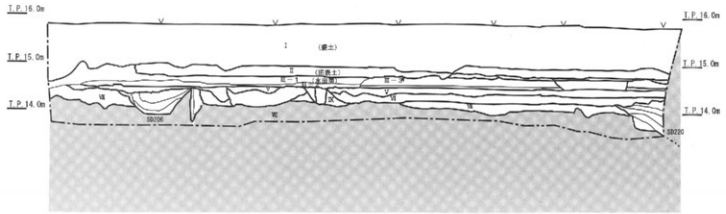


調査区東半部　北壁断面(1)東側 G

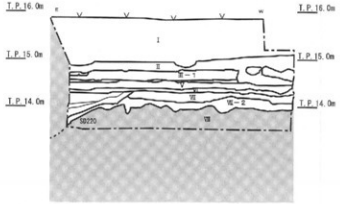


Ⅶ:Si110YR6/2,Sic110YR3/2 1cm大 15-20% 中~硬 中~緻
A1:Si110YR2/1,Si110YR6/1 3% 中~軟 中~密
A2:Sic110YR2/1,Si110YR4/3-4/4 20-30% 中~軟 中~密

調査部東半部　東壁断面(1)北側 H

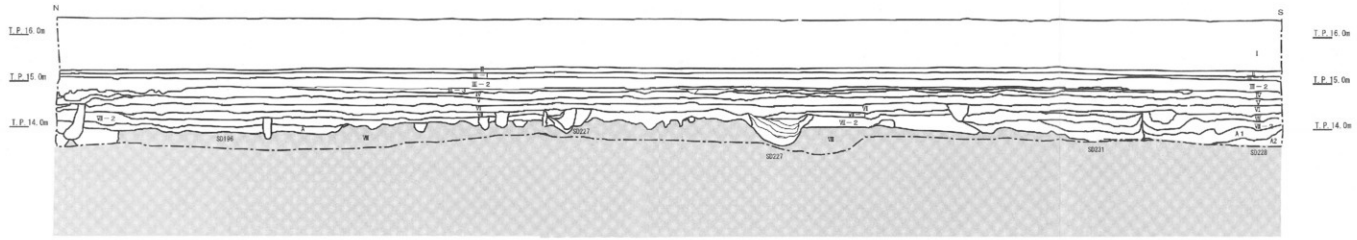


断面I



第6図　調査区断面図(2)

調査区東半部　東壁断面(2) J



基本層序
Ⅰ層：Sic10YR6/8（明黄褐色砂礫層）
Ⅱ層：Sil10YR4/1（褐灰色シルト層）
Ⅲ-1層：Sil7.5GY6/1,Sil5Y6/8(緑灰色シルト層)
Ⅲ-2層：Sil5GY6/1,Sil5Y6/8(オリーブ灰シルト層)
Ⅲ-3層：Sil2.5GY6/1,Sil5Y6/8(オリーブ灰シルト層)中世遺物包含層
Ⅳ層：Sic10YR3/3,Sil N 6/0 0.3～1cm大ブロック30% 中-硬 密。（暗褐色土に灰色シルトブロック含。）中世遺物包含層。
Ⅳ-2：Sic2.5Y5/2,Sic10YR4/3 絵 10-15% 中-軟 中-密 1～5cm大レキ少量含。
Ⅴ層：Sic10YR3/3,Sil10YR5/8 ～0.5cm大ブロック 40-50% 中-硬 密 0.5～1cm大炭化物少量含。（暗褐色土に黄褐色シルト含）土器出土。
Ⅵ層：Sic10YR3/2,HC10YR5/1～6/1 0.5～1cm大ブロック 30-40% 中-硬 密 Sil5YR5/8 ～0.3cm大焼土粒およびO.5～1cm大炭化物。1～3cm大レキやや多く含。土器多量出土。（黒褐色土に褐灰色粘土含。）
Ⅶ層：Sic10YR2/2～3/2,Sil10YR6/1 0.5cm大 5-10% Sil5YR5/8 0.3cm大焼土粒少量含。中-軟 中-密 土器やや多く出土。（黒褐色土）
Ⅷ-2層：Sic10YR2/2,Sil10YR5/6 絵 5% 中-軟 中-疎 Sil5YR5/8 0.5cm大焼土粒およびO.5cm大レキ多量に含。土器出土。
Ⅷ層：Sil10YR7/8,0.5～1cm大ブロック 30-40% 中-軟 密。（地山）

第7図　調査区断面図（3）

2. 基本層序

当調査地は東西に約 80m、南北に約 60m で、調査区断面はすべての面で記録した。それによると、基本層序は概ね普遍的に見られる 8 層とした。

第Ⅰ層：盛土。　（明黄褐色砂礫層）　0.9 ～ 1.5m

第Ⅱ層：旧耕土。　（褐灰色シルト層）　0.1 ～ 0.3m

第Ⅲ層：中世～近世遺物包含層。および耕作土層。第 III 層は III-1 ～ III-3 層まで細分できることから、複数回の耕作がみられる。

（緑灰色シルト・オリーブ灰シルト層）　0.15 ～ 0.38m

第Ⅳ層上面にて中世（第 1 面）遺構面検出。

第Ⅳ層：中世遺物包含層。第 IV 層も IV - 1 ～ IV - 2 層まで細分できる。また、調査区北東部において、この第Ⅳ層は確認されていないため削平を受けたのであろう。したがって、第 V 層上面で中世（第 1 面）遺構面の検出を行っている。

（灰色シルトブロック含む暗褐色土層。）　0.1 ～ 0.2m

第Ⅴ層：古代～中世遺物包含層。調査区南西部では確認されておらず、削平された可能性が高い。

（黄褐色シルトを含む暗褐色土層。）　0.1 ～ 0.3m

第Ⅵ層：弥生時代後期～古墳時代遺物包含層。調査区南西部では確認されておらず、削平された可能性が高い。

（褐灰色粘土を多く含む黒褐色土層）　0.1 ～ 0.3m

第Ⅶ層上面にて弥生時代中期～古代（第 2 面）遺構面検出。

第Ⅶ層：弥生時代中期・後期遺物包含層。Ⅶ-1 ～Ⅶ-2 層まで細分できる。調査区西半部では確認されておらず、削平された可能性が高い。

（黒褐色上層。）　0.1 ～ 0.4m

第Ⅷ層：地山（黄橙色シルト層）基本的に調査区全域がこの地山面であるが、調査区北西端に限って、青灰～紫灰色を呈した粘土面が地山面となる。

第 1 遺構面と第 2 遺構面の検出面の標高は、中世（第 1 面）は調査区北西部が標高 14.9m、調査区南東部で標高 14.6m、と南東部に向かって緩やかな斜面となっている。また、弥生時代中期～古代（第 2 面）では調査区北西部が標高 14.8m、調査区南東部が 14.2m となっており、中世面と同様に南東部に向かって斜面となっている。第 2 面では比高差 0.6m に対して第 1 面では 0.3m となっていることから、時代の経過とともに北西部から南東部にむかって自然の堆積作用が働いていたことを示している。

さらに、調査区北東部において青灰～紫灰色粘土層の地山が確認されているが、これは遺跡の東端部にあたり、現在はやや北側を流れる茨木川ではあるが、当時はすぐ東側を茨木川が流れていたものと思われ、蛇行による流れによって形成されたものと見られる。その粘土地山面では弥生時代中期頃の方形周溝墓が検出されており、この弥生時代中期以前に紫灰色を呈する粘土面が形成されたことが窺える。

3. 古代以前の遺構と遺物

(1) 弥生時代

(I) 方形周溝墓 (SZ)1～3

方形周溝墓 1(第 8～11 図)

位置 調査区北西隅。 **平面形** 方形。 **軸方向** N10° E。 **規模** 南北 8.5m、東西 5.5m～。 **墳丘規模** 南北 5.0m、東西 4.8m～。 **主体部** 不明。 **陸橋** 不明。 **周溝の幅** 1.6～2.2m **深さ** 0.27～0.33m。 **断面形** 皿形～逆台形を呈する。**溝の共有** SZ2(SD65)

重複関係 SI(竪穴住居跡)1・SK(土壙)23 に切られ、SZ2 を切る。 **掘込面** 削平。 **検出面** VII 層上面。

埋土 SD64 は A～C 層の大きく 3 層に大別され、A 層は黒褐色土に黄褐色シルトを含む。B 層は暗褐色土に黄褐色シルトを含む。C1 層は暗褐色土に明黄褐色シルトを含む。C2 層は明黄褐色シルトに暗褐色土を含む。SD65 は方形周溝墓 (SZ)2 と共有しており、A～B 層の 2 層に大別され、A1 層は灰黄褐色土に黄褐色シルトを含む。A2・3 層は暗褐色土に褐色シルトを含む。B1 層は黄色シルトに褐灰色シルトを含む。

壁の状態 緩やかに立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦。

出土遺物 SD64 の周溝内から数個体分の弥生土器甕が出土した。(第 9・11 図・表 1)1～5 はいずれも口縁部が短く外反し、体部上半に膨らみをもち、底部は平底を呈する。口縁外面はヨコナデ、体部は平行タタキを施す。弥生時代後期後半～古墳時代初期頃(庄内併行期古段階)に属するものと思われる。

方形周溝墓 2(第 8～10・12 図)

位置 調査区北西隅。SZ1 の南側。 **平面形** 方形。 **軸方向** N10° E。 **規模** 南北 9.9m、東西 6.5m～。 **墳丘規模** 南北 7.0m、東西 6.4m～。 **主体部** 不明。 **陸橋** 南東隅。 **周溝の幅** 0.8～2.0m。 **深さ** 0.27～0.4m。 **断面形** SD66 は U 字形、SD65・67 は逆台形を呈する。 **溝の共有** SZ1(SD65)・SZ3(SD67)

重複関係 SK(土壙)23 に切られる。 **掘込面** 削平。 **検出面** VII 層上面。

埋土 SD66 は A～B 層の 2 層に大別され、A1～A3 層は黒褐色土に褐灰色シルトを含む。また、土器も多く含む。B1 層はにぶい黄褐色土に明黄褐色シルトを含む。SD67 ①は A～C 層の 3 層に大別され、A～B 層は黒褐色土に褐色シルトを含み、A 層には土器を多く含む。C 層は黒褐色土に褐色シルトブロックを多く含む。

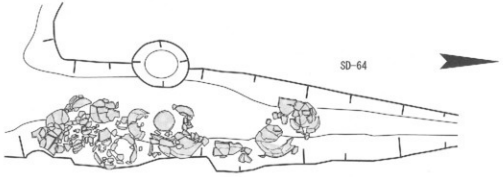
壁の状態 SD67 はややきつく立ち上がる。 **底の状態** 溝の共有が見られる部分はほぼ平坦であるが、SD66 では溝底面が少し窪む。

出土遺物(第 12 図・表 1) SD66・67 ①の断面 A 層に土器が見られる。SD66 は SZ2 固有の周溝で、他の周溝墓との共有は見られないもので、この溝からは弥生土器高坏の円盤充填法が施された受部～底部、水平口縁の高坏、甕口～体部片、壺が出土。概ね畿内 III 様式に属する。また、第 12 図 7 は小型有孔鉢の完形品である。口縁に平行沈線を廻らし、焼成前穿孔で 30 箇所の孔があけられている。SD67 からも甕・壺・鉢等の破片が出土している。

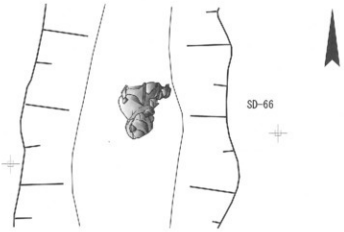
第8図　方形周溝墓1～3平面図

0　1:100　5m

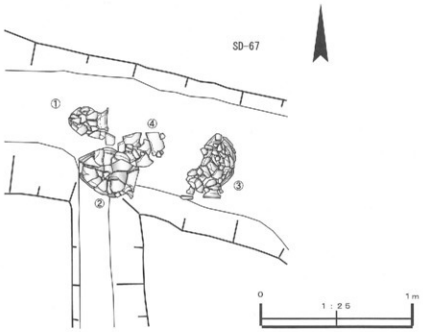
出土状況①



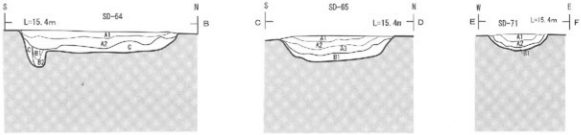
出土状況②



出土状況③



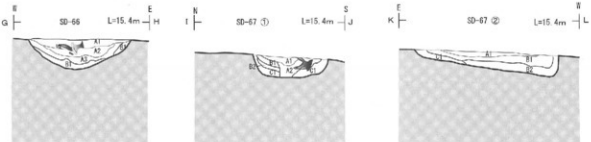
第９図　方形周溝墓１～３遺物出土状況図



SD-64
A1:5Y3/2,5Y10YR5/8 0.2-1cm大 15% 中-軟 密 0.3cm大白色粒多
A2:5Y3/2,5Y10YR5/8 0.2-5cm大 30% 中-軟 中密 1cm大白色粒中 0.2-0.5cmﾎﾟﾝ少
B1:5Y3/3,5Y10YR5/6 粒～1cm大 20% 中-軟 中-疎
B2:5Y3/3,5Y10YR5/6 粒～2cm大 40% 軟 疎 0.5cm大ﾎﾟﾝ少
C1:5Y3/3,5Y10YR5/6 粒～1cm大 50-60% 中-軟 中-緻
C2:5Y10YR6/6,5Y10YR3/3 0.5-1cm大 15% Hc10YR8/1 1-3cm大 15-20% 中-軟 密

SD-65
A1:5Y10YR4/2,5Y10YR5/6 粒～0.5cm大 40-50% 中-軟 中-密 1cm大礫少
A2:5Y10YR3/2,5Y10YR4/6 粒～0.5cm大 30% 中-軟 密 ～0.3cm大ﾎﾟﾝ少 P少
A3:5Y10YR3/3,5Y10YR4/6 粒～0.5cm大 20-30% 中-軟 密 ～0.3cm大ﾎﾟﾝ少
B1:5Y12.5Y7/8,5Y10YR5/1 粘 30-40% Si17.5YR5/8 粒30% 0.5cm大ﾎﾟﾝ少

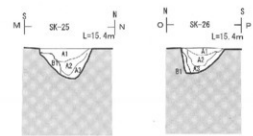
SD-71
A1:5Y3/2,5Y10YR5/6 0.5cm大 30% ～0.2cm大ﾎﾟﾝ微 中-軟 中～密
A2:5Y10YR3/2,5Y10YR5/6 0.5cm大 10-15% ～0.2cm大ﾎﾟﾝ 中～ﾝ質 中-密
B1:5Y10YR5/6,5Y10YR3/3 1cm大 30% Hc10YR6/1 ～1cm大 20% 中 中



SD-66
A1:5Y3/2,5Y10YR5/1 粒～ 30-40% 中-軟 中-密 土器多 ～0.3cm大ﾎﾟﾝ少
A2:5Y3/2,5Y10YR5/1 粒～ 15-20% 中-軟 中-密 土器中 ～0.3cm大ﾎﾟﾝ少
A3:5Y3/2,5Y10YR5/1 粒～ 50-60% 軟 中-疎 ～0.3cm大ﾎﾟﾝ少
B1:5Y10YR4/3,5Y10YR6/8 0.5-1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 30% 中-緻 密 ～0.3cm大ﾎﾟﾝ微

SD-67 ①
A1:5Y10YR2/2,5Y10YR4/6 ～0.3cm大 5-7% 中-硬 密 土器少量出土。
A2:5Y10YR2/2,5Y10YR4/6 ～0.5cm大 15-20% 中-硬 密 土器多量出土。
B1:5Y10YR2/3,5Y10YR4/6 粒20% 中-軟 中-密
B2:5Y10YR2/3,5Y10YR4/6 粒15-20% 中-軟 中-密
C1:5Y10YR2/3,5Y10YR4/6 1-2cmﾌﾞﾛｯｸ10-40% 中-軟 中

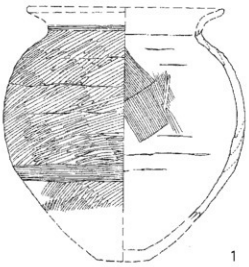
SD-67 ②
A1:5Y10YR4/1,5Y10YR5/6 粒～0.5cm大ﾌﾞﾛｯｸ 30-40% 中-軟 中-密 土器少量出土。
B1:5Y10YR3/2,5Y10YR5/6 粒～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10% 中-軟 中-密 土器多量出土。
B2:5Y10YR3/2,5Y10YR5/6 粒～1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 30% 中-軟 中-密
C1:5Y10YR5/8,Hc10YR5/1-6/1 0.5-1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 30% Sic11YR3/2 1cm大ﾌﾞﾛｯｸ15% 中-軟 中-密

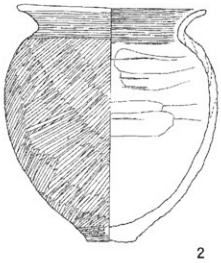


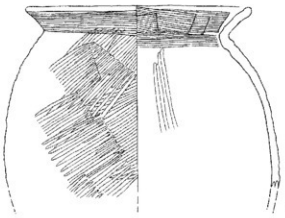
SK-25
A1:5Y10YR2/2,5Y10YR5/6 粒～0.5cm大 10% 中-軟 中-緻 ～0.2cm大ﾎﾟﾝ少
A2:5Y10YR2/2,5Y10YR5/6 粒～3cm大 20% 中-軟 中-疎 ～0.2cm大ﾎﾟﾝ少
A3:5Y10YR2/2,5Y10YR5/6 粒～1cm大 5-7% 中-軟 中-密 ～0.2cm大ﾎﾟﾝ少 Si17.5YR5/8 ～0.3cm大 少(焼土粒)
B1:5Y10YR2/3,5Y10YR5/8 粒 30-40% 中-軟 中-密 ～0.2cm大白色粒多

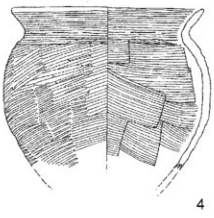
SK-26
A1:5Y10YR3/3,5Y10YR4/6 ～0.5cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10-15% 中-軟 中-密
A2:5Y10YR3/3,5Y10YR4/6 1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 10% 中-軟 中-疎
A3:5Y10YR3/3,5Y10YR4/6 1cm大ﾌﾞﾛｯｸ 25-30% 中-軟 中-緻
B1:5Y10YR5/6,5Y10YR3/3 粒 20% 中-軟 中-疎

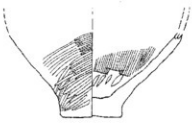
第10図　方形周溝墓1～3断面図



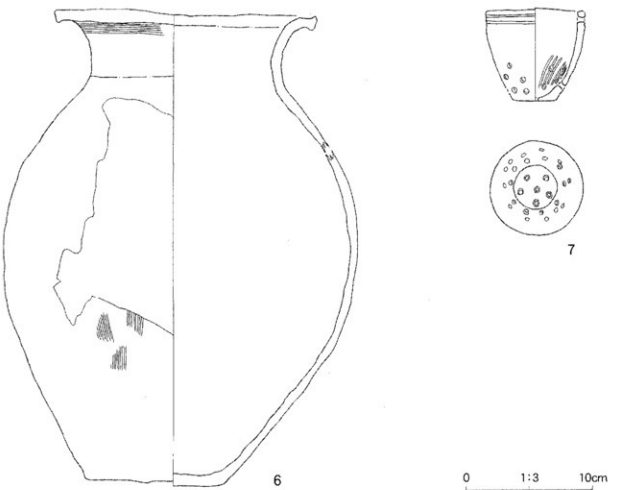








第 11 図　方形周溝墓 1（SD64）出土遺物



第 12 図　方形周溝墓 2・3（SD66・67）出土遺物

方形周溝墓 3（第 8 ～ 10・12 図）

位置 調査区北西隅。SZ2 の南側。 **平面形** 方形。 **軸方向** N11° E。 **規模** 南北 5.6m、東西 2.5m ～、**墳丘規模** 南北 3.6m、東西 2.1m ～ **主体部** 不明。 **陸橋** 不明。 **周溝の幅** 0.8 ～ 1.0m。 **深さ** 0.1 ～ 0.26m。 **断面形** 逆台形。 **溝の共有** SZ2(SD67) **重複関係** SD521 に切られる。 **掘込面** 削平。 **検出面** Ⅶ層上面。

埋土 SD-67 ②は A ～ C 層の 3 層に大別され、A1 層は褐灰色土に黄褐色シルトを含み、土器を少量含む。B1・B2 層は黒褐色土に明黄褐色シルトブロックを含む。B1 層に土器を多く含む。C1 層は明黄褐色土に褐灰色粘土ブロックを含む。

壁の状態 ややきつく立ち上がる。 **底の状態** 墳丘側に傾斜があり深くなる。

出土遺物（第 12 図・表 1） SZ2 と周溝を共有する部分 (SD67) からまとまって 4 個体分の弥生土器広口壺が倒壊した状態で出土している。その内、第 12 図 6 は弥生時代中期中葉の Ⅲ 様式に属し、器高 37.4cm、口径 20.9cm、体部最大径 27.9cm を測る。体部最大径は体部中央にあり、卵型を呈する。内外面ともに摩滅が著しいが、ナデやハケメが一部見られる。また、凹線文の入った広口壺の口縁や鉢といった中期後葉 (Ⅳ - 1・2 様式）の土器も出土している。

(II) 方形周溝墓 (SZ)4・5

方形周溝墓 4(第 13 ～ 14 図)

位置 調査区中央西側。 **平面形** 方形。 **軸方向** N39° E。 **規模** 北西 - 南東 9.4m、南西 - 北東 7.4m。 **墳丘規模** 北西 - 南東 7.5m、南西 - 北東 5.6m。 **主体部** 隅丸長方形土壙 2 基。(SW-NE) 棺 1 長軸 2.2m ×短軸 1.0m・棺 2 長軸 2.0m ×短軸 0.8m を測り、長軸上には両端にピットを掘り込んでいる。 **陸橋** 西に開口。 **周溝の幅** 0.4 ～ 1.8m。 **深さ** 0.16 ～ 0.3m。 **断面形** 北西辺のみ逆台形を呈し、他は U 字形を呈する。 **溝の共有** なし。 **重複関係** SK21・SD87 に切られる。 **掘込面** 削平。**検出面** VII 層上面。

主体部埋土 棺 1 は深さが 0.1m、ピット部分でも 0.18m ほどで底面はほぼ平坦である。埋土は A ～ B 層に分けられ、A1・2 層は暗褐色土に褐色シルトを含み、B 層はピット部分の堆積で褐灰色粘土に暗褐色土を含む。棺 2 は深さが 0.1m、ピット部分では 0.28m を測り、底面はほぼ平坦である。埋土は A ～ B 層に分けられ、A1・2 層は黒色土に褐色シルトや褐灰色粘土を含み、ピットの B 層は灰色粘土や灰白色粘土である。

周溝埋土 SD-80 ①～④は A ～ B 層に大別され、A1 ～ A3 層は黒褐色土に褐色シルトを含む。B1 ～ B3 層は暗褐色土に黄褐色シルトや褐灰色粘土を含む。

壁の状態 緩く立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦。 **出土遺物** SD80 の北東から北部にかけて弥生時代中期中葉頃 (第 III 様式) の広口壷や無頸壷、小型の甕、高坏の破片が出土している。東側では底部 3 点、水差の半環状把手が出土している。さらにアゼ内からは櫛描平行文・波状文を施した無頸壷、鉢や円形浮文の生駒西麓産の土器がある。棺 1 でも体部破片が、棺 2 ではやや摩滅しているが胎土がチョコレート色を呈する生駒西麓産と思われる体部破片が出土しているが、図化には至っていない。

方形周溝墓 5(第 13 ～ 16 図)

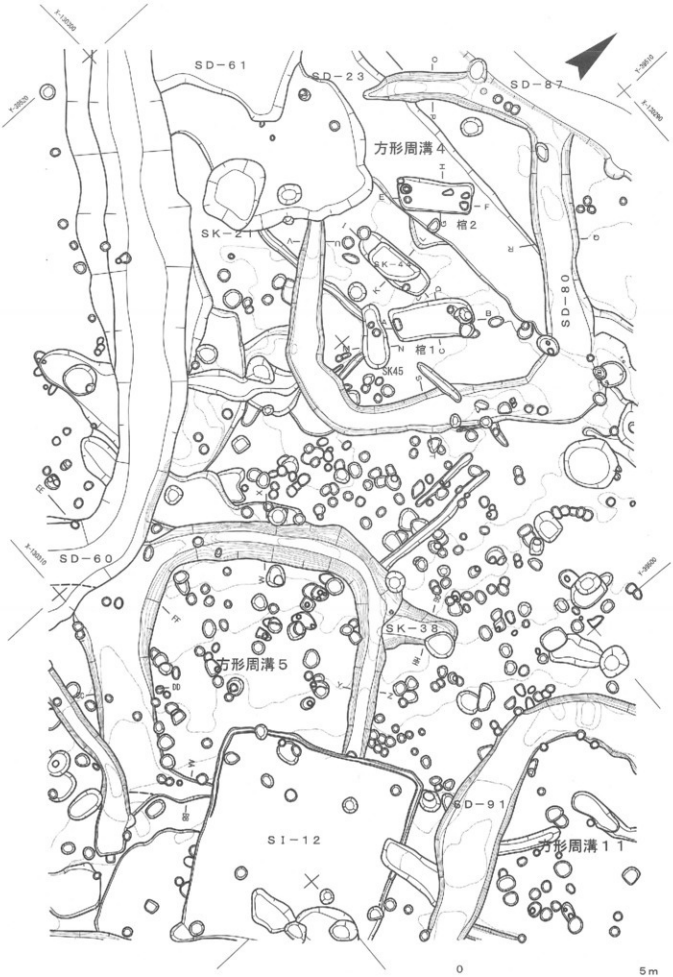
位置 調査区南西部。SZ4 の南側。 **平面形** 方形。 **軸方向** N46° E

規模 北西 - 南東 7.8m、南西 - 北東 7.2m。 **墳丘規模** 北西 - 南東 5.9m、南西 - 北東 5.4m。 **主体部** なし。 **陸橋** 不明。(東 ?) **周溝の幅** 0.7 ～ 2.2m。 **深さ** 0.13 ～ 0.46m。 **断面形** 南側は逆台形を呈し、他は U 字形を呈する。 **溝の共有** SZ6(SD83 - ④)。 **重複関係** SD60・SI12 に切られ、SK38 を切る。 **掘込面** 削平。**検出面** 地山面。

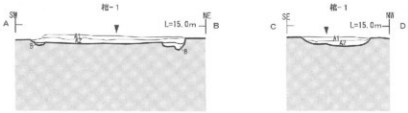
埋土 SD-83 ①～③は A ～ B 層に大別され、A1 ～ A5 層は黒褐色土に明黄褐色シルトを含む。B1 ～ B3 層は暗褐色土に黄褐色シルトブロックを含む。また、SZ6 と共有する SD83 ④は C ～ E 層の 3 層に大別され、C1・2 層は黒褐色土に明黄褐色シルトや黄褐色土、褐灰色粘土を含む。D1 ～ 3 層は黒褐色土に褐色シルトを含む。E1・2 層は黒褐色土ににぶい黄褐色シルトを含む。SD83 ⑤は A 層が①～③と、D 層が⑤と共通する。

壁の状態 ややきつく立ち上がる。 **底の状態** 周溝南半部はほぼ平坦であるが、北半部は底面が狭くやや窪む。

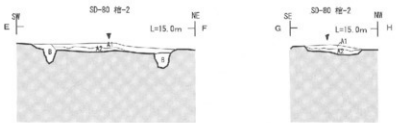
出土遺物 (第 16 図・表 1) 8 は SD83 南部で出土した広口壷で、器高は 37.6cm ～、復元口径 31.2cm、体部最大径 24.7cm を測る。その器形は丸く卵状の体部に軽くくしまった頸部から大きくラッパ状に口縁が開くことから、弥生時代中期中葉 (第 III 様式) 頃のものと思われる。器面は内外面ともに摩滅が著しいが、一部ハケメが体部外面に見られる。口縁端部～内面に赤彩の痕跡が認められる。9 は台形上器で、全体がほぼ黒化しており、外面は太めのヘラミガキ、ヨコナデ、内面はヘラミガキ、ナデを施す。他に甕、底部 2 点、南西側で蓋や壷・甕体部破片が出土している。



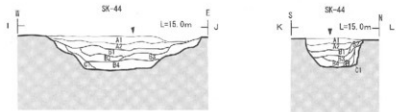
第13図　方形周溝墓4・5平面図



柱-1
A1: Sic110YR3/3, Sil10YR4/6 超～0.3cm大 30～40% 中硬 密 ～0.3cm大白色粒少量含。
A2: Sic110YR3/3, Sil10YR4/6 超～0.3cm大 15～20% 中軟 中密 ～0.1cm大白色粒多量に含。
B1: HC10YR5/1, Sic110YR3/3 超～0.5cm大 20% 中軟 密。

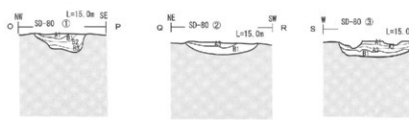


柱-2
A1: Sic110YR2/1, Sil10YR4/4 ～0.5cm大 15～20% HC10YR4/1 粉 30% 中軟 密 0.3～1cm大白色レキ多量に含。
A2: Sic110YR2/1, Sil10YR4/4 ～0.5cm大 7～10% HC10YR4/1 粉 15% 中軟 中踏 0.3～1cm大白色レキやや多く含。
B1: HC N4/0, HC N8/0 粉 15～20% 中軟 密。



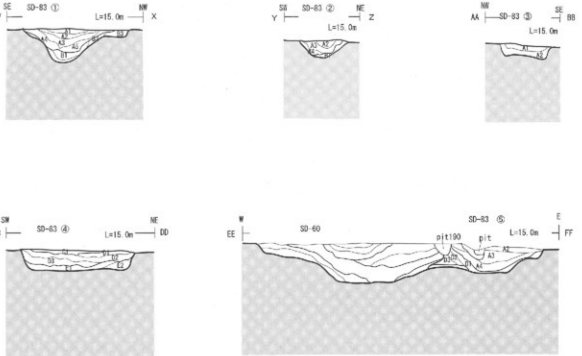
SK-44
A1: Sic110YR3/2, Sil10YR4/6 ～0.5cm大 30% 中硬 密 ～1cm大レキおよび0.2cm大焼化物少量含。
A2: Sic110YR3/2, Sil10YR4/6 ～0.5cm大 20% 中軟 密 ～1cm大レキおよび0.2cm大焼化物微量に含。
B1: Sic110YR3/2, Sil10YR4/4 1cm大ブロック 10～15% 中軟 中密 ～0.5cm大白色レキやや多含。Sil5YR5/8 ～0.3cm大焼土粒少量含。
B2: Sic110YR3/2, Sil10YR4/4 1～3cm大ブロック 15% 中軟 中密 ～0.5cm大白色レキやや多含。Sil5YR5/8 ～0.3cm大焼土粒少量含。
B3: Sic110YR3/2, Sil10YR4/6 0.5～1cm大ブロック 20% 軟 密 1cm大白色レキ少量含。Sil5YR5/8 ～0.3cm大焼土粒少量含。
B4: Sic110YR3/2, Sil10YR4/6 1～2cm大ブロック 10% 軟 中踏 1cm大白色レキ少量含。Sil5YR5/8 ～0.3cm大焼土粒少量含。
C1: Sic110YR3/2, Sil10YR7/6 1～3cm大ブロック 40% 中軟 踏 1cm大白色レキ微量に含。

SK-45
A1: Sic110YR3/1, Sil10YR4/6 0.5cm大 20～30% 中硬 中密 ～0.3cm大炭化物およびO.3～1cm大レキやや多く含。
A2: Sic110YR3/1, Sil10YR4/6 0.5cm大 15% 中軟 中密 ～0.3cm大炭化物やや多く含。0.3～1cm大レキ少量含。
B1: SL10YR5/6, HC10YR6/1 0.5cm大 30% 軟 中踏 5cm大レキ多量に含。



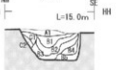
SD-80
A1: Sic110YR3/2, Sil10YR4/6 0.5cm大 10% 中硬 中密 ～0.3cm大炭化物少量含。
A2: Sic110YR3/2, Sil10YR4/6 0.5cm大 10～20% 中硬 中密 ～0.3cm大炭化物少量含。
A3: Sic110YR3/2, Sil10YR4/6 0.5cm大 20～30% 中硬 中密 ～0.3cm大炭化物およびO.3～5cm大レキ少量含。
B1: Sic110YR3/4, Sil10YR5/6 0.5cm大 20% HC10YR5/1 20% 中軟 中踏。
B2: Sic110YR3/4, Sil10YR5/6 0.5cm大 30% HC10YR5/1 30% 中軟 中踏 3～5cm大レキ少量含。
B3: Sic110YR3/4, Sil10YR5/6 0.5cm大 30～40% HC10YR5/1 15～20% 軟 踏。

第14図 方形周溝墓4・5断面図(1)



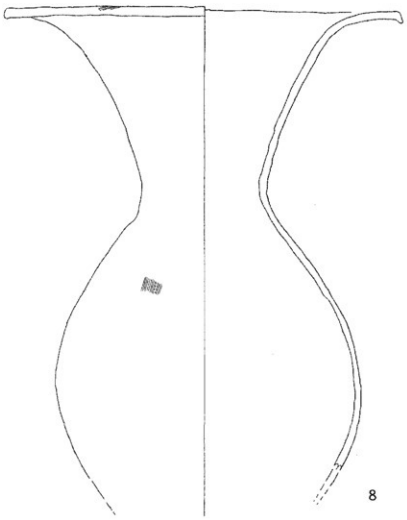
SD-83 ①～③
A1: Sic110YR2/2,Si110YR6/8 粘 10% 中-硬 密。
A2: Sic110YR2/2,Si110YR6/8 粘 15% 中-硬 密。
A3: Sic110YR2/2,Si110YR6/8 粘 20% 中-硬 密。
A4: Sic110YR3/2,Si110YR6/8 粘 40～50% 中-硬 中-密。
A5: Sic110YR2/2,Si110YR6/8 粘 20～30% 中-硬 中-密。
B1: Sic110YR3/3,Si110YR5/6 0.5～1cm大ブロック 30～40% 中-軟 中-密。
B2: Sic110YR3/3,Si110YR5/6 0.5～1cm大ブロック 50～60% 中-軟 中-密。
B3: Sic110YR3/3,Si110YR5/6 0.5～1cm大ブロック 20～30% 中-軟 中-疎。

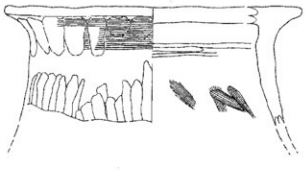
SD-83 ④・⑤
C1: Sic110YR2/3,Si110YR6/6 0.5cm大 15～20% 中-軟 中-密 ～0.5cm大白色レキ多量に含，0.5cm大炭化物少量含。
C2: Sic110YR2/3,Sic10YR5/8 ～0.3cm大 20% HC10YR5/1 粒 30% 中-軟 中-疎 ～0.3cm大炭化物少量含。
D1: Sic110YR2/2,Si110YR4/4 細 15% 中-軟 中-密 ～0.3cm大白色粒やや多く含 ～0.2cm大炭化物少量含。
D2: Sic110YR2/3,Si110YR4/4 細 15～20% 中-軟 中-密 ～0.3cm大白色粒やや多く含 ～0.2cm大炭化物少量含。
D3: Sic110YR3/2,Si110YR4/4 細～0.5cm大 20% 中-軟 中-密 ～0.3cm大白色粒やや多く含 ～0.2cm大炭化物少量含。
E1: Sic110YR3/1,Si110YR5/3 ～0.3cm大 30% 中-硬 中-密 ～0.1cm大白色粒少量含。
E2: Sic110YR3/1,Si110YR5/3 ～0.3cm大 50% 中-硬 中-密 ～0.1cm大白色粒少量含。

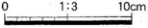


SK-38
A1: Sic110YR2/2,Si110YR5/6 0.2～0.3cm大 20% 中-硬 中-密。
B1: Sic110YR2/2,Si110YR4/6 0.5cm大 20% 中-硬 密 1cm大炭化物少量含，土器出土。
B2: Sic110YR3/2,Si110YR4/6 0.5cm大 15% 中-硬 密。
B3: Sic110YR3/2,Si110YR4/6 0.5cm大 30% 中-硬 密。
B4: Sic110YR3/2,Si110YR5/6 0.5cm大 30～40% 中-軟 中-密 0.5cm大炭化物少量含。
B5: Sic110YR3/2,Si110YR4/6 0.5cm大 40～50% 中-軟 中-密 0.5cm大炭化物微量に含。
C1: Si110YR7/8,Sic110YR2/2 1～3cm大ブロック 20% 中-硬 中-密。
C2: Si110YR7/8,Sic110YR2/2 1～3cm大ブロック 40～50% 中-硬 中-緻。

第 15 図　方形周溝墓 4・5 断面図 (2)







第 16 図　方形周溝墓 5・6(SD83) 出土遺物

土壙 (SK)44(第 13・14 図)

位置 SZ4 の墳丘上。 **平面形** 長方形。 **軸方向** ほぼ東西方向。 **規模** 東西 2.1m、南北 0.8m。 **深さ** ～ 0.4m。 **断面形** 逆台形。 **重複関係** なし。 **検出面** VII 層上面。 **底の状態** 底面はほぼ平らであるが、長軸で 0.9m、短軸 0.5m で、長軸方向の壁が緩く立ち上がる。 **埋土** A～C 層の 3 層に大別され、A1・2 層は黒褐色土に褐色シルトを含む。B1～4 層は黒褐色土に褐色シルトおよび明赤褐色の焼土粒を含む。C 層は黒褐色土に明黄褐色シルトブロックを含む。 **出土遺物** なし。

土壙 (SK)45(第 13・14 図)

位置 SZ4 の墳丘上。 **平面形** 長楕円形。 **軸方向** N46° E。 **規模** 長軸 1.7m、短軸 0.45～0.7m。 **深さ** 0.18m。 **断面形** 皿形。 重複関係 なし。 **検出面** VII 層上面。 **埋土** A～B 層に大別され、A1・2 層は黒褐色土に褐色シルトを含む。B1 層は黄褐色砂に褐灰色粘土を含む。 **出土遺物** なし。

(III) 方形周溝墓 6

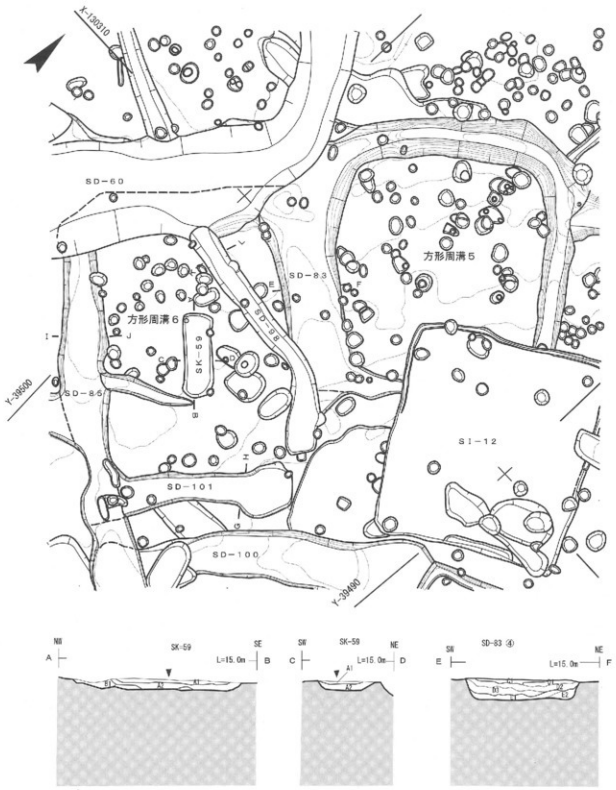
方形周溝墓 6(第 17・18 図)

位置 調査区南西部。 **平面形** 長方形。 **軸方向** N50° W。 **規模** 北西-南東 8.0m、南西-北東 7.4m。 **墳丘規模** 北西-南東 6.2m～、南西-北東 4.8m。 **主体部** 隅丸長方形土壙 1 基。(SK59-NW-SE) 長軸 2.2m ×短軸 0.75m を測る。 **陸橋** 東に開口。 **周溝の幅** 0.7～1.7m。 **深さ** 0.07～0.28m。 **断面形** 逆台形。 **溝の共有** SZ5(SD83)。 **重複関係** SD60・98 に切られる。 **掘込面** 削平。 **検出面** 地山面。

主体部埋土 (SK59) 深さが 0.12m で、底面はほぼ平坦である。埋土は A～B 層に分けられ、A1・2 層は黒褐色土に黄褐色シルトを含み、B 層は黒褐色土に灰黄褐色粘土や明赤褐色の焼土粒を含む。

周溝埋土 SD-85 は A～B 層に大別され、A1～2 層は暗褐色土に黄褐色シルトを含む。B1 層は黄橙色シルトに暗褐色シルトや灰黄褐色粗砂を含む。SD101 は C 層の単層で SZ5 と溝を共有する SD83 に類似した堆積である。黒褐色土に明黄褐色シルト、黄褐色土、褐灰色粘土を含む。

壁の状態 緩く立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦。 **出土遺物** SD83 から弥生時代の壺・甕の体部破片と赤彩された破片が出土。

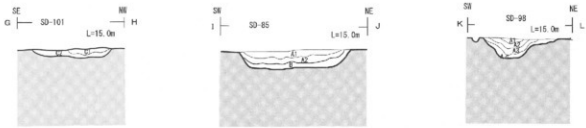


SK-59
A1: SiCl10YR3/2,SiCl10YR5/6 0.3～0.5cm大 20% 中～硬 密 ～0.2cm大白色粒やや多く含。
A2: SiCl10YR3/2,SiCl10YR5/6 0.3～0.5cm大 40% 中～硬 密 ～0.5cm大白色レキ多量に含。
B1: SiCl10YR3/2,HC10YR5/2 粗 40～50% SiL2.5YR5/8 0.5cm大満土粗 7% 中～軟 中～密 ～0.2cm大白色粒少量含。

※ 断面図は１：５０

0 5m
１：１００

第 17 図　方形周溝墓 6 平面図



SD-83／SD-101
C1：Sicl10YR2/3,Si110YR6/6 0.5cm大 15～20% 中-軟　中-密　～0.5cm大白色レキ多量に含、0.5cm大炭化物少量含。
C2：Sicl10YR2/3,Sic10YR5/8 ～0.3cm大 20% HC10YR5/1 粉 30% 中-軟　中-堅　～0.3cm大炭化物少量含。
D1：Sicl10YR2/2,Si110YR4/4 細 15% 中-軟　中-密　～0.3cm大白色粒ややや多く含、～0.2cm大炭化物少量含。
D2：Sicl10YR2/3,Si110YR4/4 細 15～20% 中-軟　中-密　～0.3cm大白色粒ややや多く含、～0.2cm大炭化物少量含。
D3：Sicl10YR3/2,Si110YR4/4 細～5 5cm大 20% 中-軟　中-密　～0.3cm大白色粒ややや多く含、～3.2cm大炭化物少量含。
E1：Sicl10YR3/1,Si110YR5/3 ～0.3cm大 30% 中-堅　中-密　～0.1cm大白色粒少量含。
E2：Sicl10YR3/1,Si110YR5/3 ～0.3cm大 50% 中-堅　中-密　～0.1cm大白色粒少量含。

SD-85
A1：Sicl10YR3/3,Si110YR5/8　～0.5cm大10%　礫粒～0.2cm大多　中-軟　密
A2：Sicl10YR3/3,Si110YR5/8　～0.5cm大15-20%　微粒～0.2cm大中　中-軟　密
B1：Si110YR7/8,Si110YR3/3　粘　20%　SL10YR5/2　～0.2cm大20%　～2センチ大礫中　中-軟　中-硬

SD-98
A1：Sicl10YR3/2,Si110YR5/6　～0.5cm大25-30%
A2：Sicl10YR3/2,Si110YR5/8　～0.5cm大25-30%
A3・4：Sicl10YR3/2,Si110YR65/8　～0.5cm大25-30%

第 18 図　方形周溝墓 6 断面図

(IV) 方形周溝墓 7

方形周溝墓 7(第 19・20 図)

位置 調査区南西隅。 **平面形** 方形。西半部は調査区外へとのびる。 **軸方向** N42° E。 **規模** 北西 - 南東 8.3m ～、南西 - 北東 8.3m ～ **墳丘規模** 北西 - 南東 7.0m ～、南西 - 北東 7.0m ～。 **主体部** 不明。 **陸橋** 東に開口。 **周溝の幅** 1.3 ～ 1.9m。 **深さ** 0.8 ～ 0.92m。 **断面形** 逆台形。 **溝の共有** 不明。 **重複関係** SK56・SD58 に切られ、SK17 を切る。 **掘込面** 削平。 **検出面** 地山面。

埋土 SD57 は A ～ E 層の 5 層に大別され、A1 ～ 3 層は黒褐色土ににぶい黄橙色シルトや黄褐色シルトを含む。また、A3 層には焼土粒が含まれる。C1 層は暗褐色土に明黄褐色シルトを含み、土器を多く含む。D1・2 層は褐灰色粘土に暗褐色土や明黄褐色シルトを多量に含む。E1 層は明黄褐色シルトににぶい黄褐色ブロック土と褐灰色粘土ブロックを多量に含む。SD59 は A ～ G 層の 7 層に大別され、A1 ～ A3 層は灰黄褐色シルトに黄褐色シルトを含む。B1 層は黄褐色シルトに褐色土を含む。C1 層は灰黄褐色土に明黄褐色シルトブロックを含む。D1 層は明黄褐色シルトににぶい黄褐色シルト質埴土を含む。E1 層は暗褐色土に明黄褐色シルトを含み、土器を少量含む。F1 層は褐灰色粘土に黄褐色シルトを含む。G1 層は褐灰色粘土ににぶい黄橙色シルトを多量に含む。 **壁の状態** ややきつく立ち上がる。 **底の状態** やや狭く平坦である。

出土遺物(第 20 図・表 1) 10 は SD59 の C 層から出土した完形の弥生土器広口壺である。器高 27.8cm、口径 14.6cm、最大径 16.8cm を測り、最大径を体部に有する。器形は口縁がやや開き、頸部に向かって直線的に下り、体部は玉ねぎ状に丸く大きく張る。口縁と体部の高さはほぼ同じである。外面の器面調整は、口縁部にハケメを施した後に、3 条 1 対の櫛描直線文が 7 段施され、その下に櫛描波状文を施す。体部下半はヘラミガキ、下端はヘラケズリを施す。内面はハケメ、ナデを施す。弥生時代中期前葉(第Ⅱ -3 様式)頃のものと思われる。その他に甕の口縁部や SD57 からも広口壺や、くの字口縁甕(第 IV - 1 様式)などが出土している。また、5 世紀後半代の須恵器を多量に包含する SD58 と切りあっている事から、SD57・59 の埋土上層に須恵器が混入する。さらに、SD60・63 の古墳時代とした隅丸長方形区画と主軸および陸橋部、埋土の深さ等が類似することから、関連性も視野に入れておきたい。

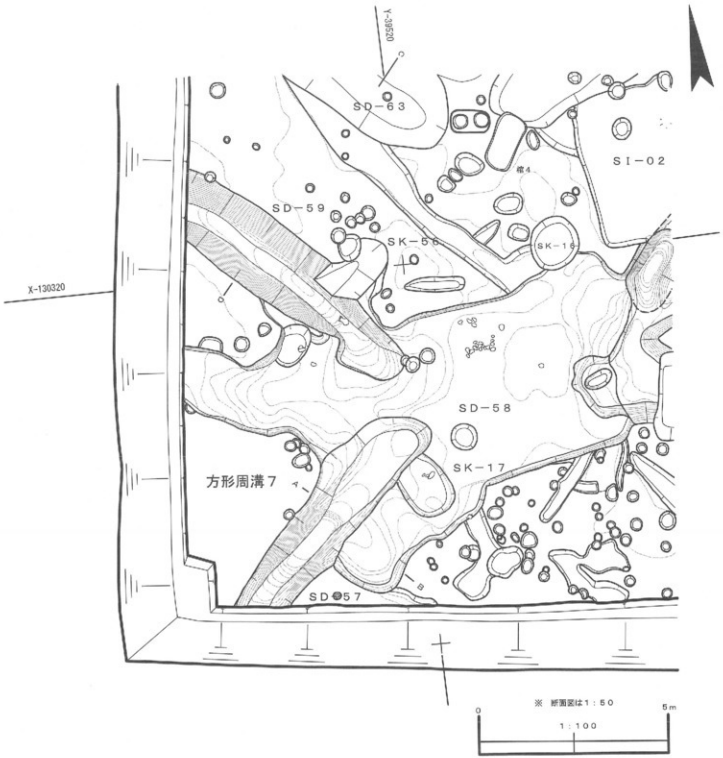
(V) 方形周溝墓 8

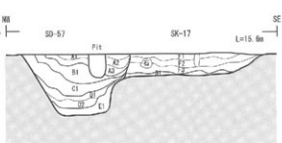
方形周溝墓 8(第 21・22 図)

位置 調査区西側南端。 **平面形** 方形。 **軸方向** N44° E **規模** 北西 - 南東 12.9m、南西 - 北東 11.0m。 **墳丘規模** 北西 - 南東 9.6m、南西 - 北東 7.0m。 **主体部** なし。 **陸橋** 不明。(北?) **周溝の幅** 1.0 ～ 2.1m。 **深さ** 0.1 ～ 0.33m。 **断面形** 逆台形。 **溝の共有** SZ6(SD85)・SZ9・10(SD99)。 **重複関係** SI11・15・SD58・SK25 に切られ、SK17 を切る。 **掘込面** 削平。 **検出面** 地山面。

埋土 SZ9 と共有する SD99(A-B 断面)は A ～ C 層の 3 層に大別され、A1 層は黒褐色土に多量の黄褐色シルトを含む。B1 ～ 2 層は黒褐色土に黄褐色シルトを含む。C1 層は明黄褐色シルトに黒褐色ブロック土や礫をやや多く含む。SZ10 と共有する SD99(C-D 断面)は C ～ D 層に大別され、C1 層は黒褐色土に黄褐色シルトや礫が多量に含まれる。D1 層は褐灰色粘土に多量の褐色シルトを含む。SD62(E-F 断面)は SZ8 固有の周溝で A ～ B 層に大別され、A1 層は黒褐色土に黄褐色シルトを含む。B1 層は暗褐色土に黄褐色シルトブロックを含む。B2 層は暗褐色土に明黄褐色シルトブロックを含む。SD-86(I-J 断面)も SZ8 固有の周溝で A ～ B 層に大別され、A1 ～ 2 層は暗褐色土に黄褐色シルトを含む。B1 層は黄橙色シルトに暗褐色シルトや灰黄褐色粗砂を含む。 **壁の状態** きつく立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦。

出土遺物 SD62 から弥生土器口縁部が 6 点、底部 3 点、円形浮文が付された口縁部、口唇部に刻目のある甕が出土。須恵器坏身、甕、高坏の破片が流入。SD86 からは弥生土器甕の口縁部が出土。

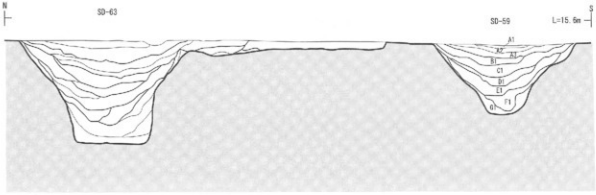




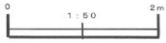
SD-57
A1：Sic110YR3/2,Si110YR6/3 粒 30～40% 中 硬 密。
A2：Sic110YR3/2,Si110YR6/3 粒 15～20% 硬 密 ～0.5cm大炭化物少量含
A3：Sic110YR3/2,Si110YR5/6 粒 10% 中～硬 密 ～0.5cm大炭化物少量含. 漸土粒多量に含。
B1：Si110YR7/8,Sic10YR4/3 0.5cm大 30% 中 散 中 密。
C1：Sic110YR3/3,Si110YR6/6 粒 10～15% 中 散 中 密 土器多く出土。
D1：HC10YR5/1,Sic110YR3/4 0.5cm大 40% Si110YR6/6 粒 40% 中 軟 中～密
D2：HC10YR5/1,Sic110YR3/4 0.5cm大 30～40% Si110YR6/6 粒 20% 軟中～密
E1：Si110YR6/8,Sic110YR4/3 1～5cm大ブロック 40～50% 軟 中～疎
HC10YR5/1 1～3cm大ブロック20%

SK-17
F1：Sic110YR2/2,Si110YR5/8 粒 20～30% 中 散 密 土器やや多く出土。
F2：Sic110YR2/3,Si110YR5/8 粒 10% 中～硬 密 土器多量出土。
F3：Sic110YR2/3,Si110YR5/8 3～8cm大ブロック 20% 中～軟 密 土器やや多く出土。
G1：Si110YR6/8,Sic110YR3/2 1～5cm大ブロック 40% 軟 中～疎。

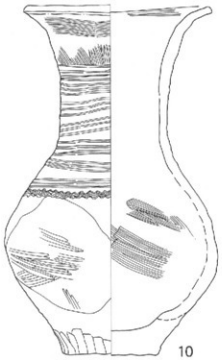
第19図　方形周溝墓7平面図



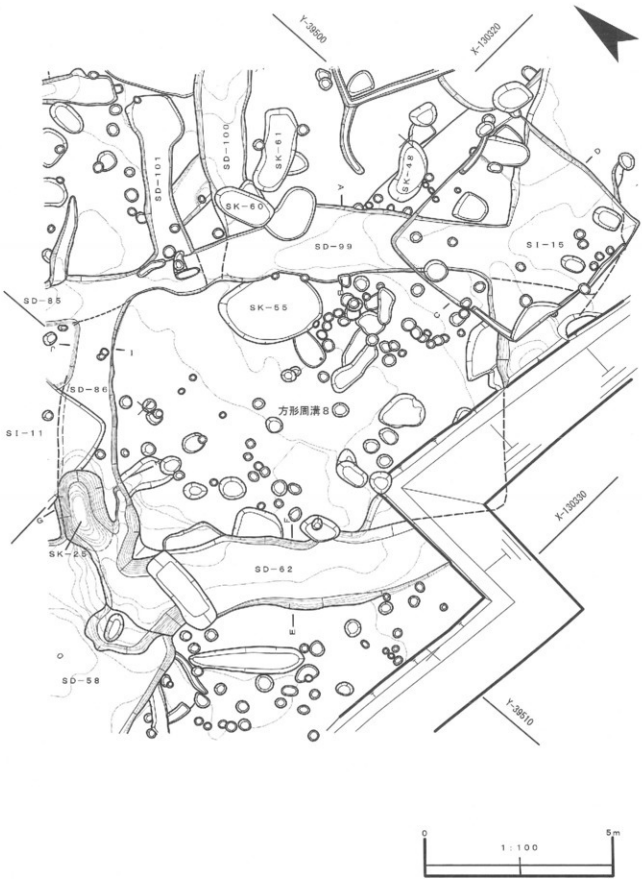
SD-59
A1: Sic10YR4/2,Sil10YR5/6 絶 20% 中-硬 密 ～0.2cm大白色粒少量含。
A2: Sic10YR4/2,Sil10YR5/6 絶 30～40% 中-硬 密 ～0.5cm大白色レキやや多く含。
A3: Sic10YR4/2,Sil10YR5/6 絶 30% 中-硬 密 ～0.5cm大白色レキやや多く含。
B1: Sil10YR5/6,Sic10YR4/4 粒 25～30% 中-軟 中-密 0.5cm大白色レキやや多く含。
C1: Sic10YR4/2,Sil10YR6/6 1cm大ブロック 20% 中-軟 中-密。
D1: Sil10YR7/6,Sic10YR4/3 粒 15～20% 軟 中-緑。
E1: Sic10YR3/3,Sil10YR6/6 粒 10% 軟 中-緑 土器少量出土。
F1: HC10YR6/1,Sil10YR5/6 粒 30% 軟 密。
G1: HC10YR6/1,Sil10YR6/4 粒 50～60% 軟 中-緑。



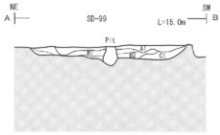
第 20 図　方形周溝墓 7 断面図



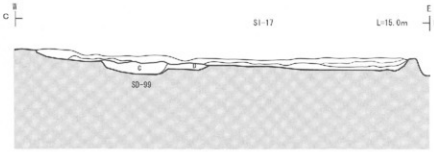
第 20 図　方形周溝墓 7(SD59) 出土遺物



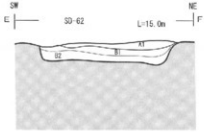
第 21 図　方形周溝墓 8 平面図



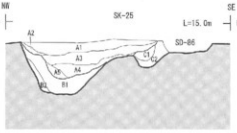
SD-99
A1: Sic110YR3/2, Si110YR5/6 0.5cm大 40~50% 中-軟 中-密 0.5~2cm大レキ多量に含、~0.3cm大炭化物やや多く含。
B1: Sic110YR3/2, Si110YR5/6 0.5cm大 10~15% 中-軟 中-密 2cm大レキおよび~0.3cm大炭化物多量に含。
B2: Sic110YR3/2, Si110YR5/6 0.5cm大 20~25% 中-軟 中-密 2cm大レキ少量含、~0.3cm大炭化物やや多く含。
C1: Si110YR6/6, Sic110YR3/2 0.5~1cm大ブロック 30% 中-軟 中-緑 0.2~0.7cm大レキやや多く含。



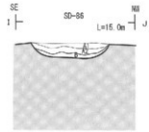
SD-99
C1:Sic110YR3/2 Si110YR5/6 0.2~0.3cm大 40~50% 0.3~0.5cm大白色漂多 中~緑 密
D1:HC10YR5/1 Si110YR4/4 粒 40% 硬-密 0.5~1cm大漂少



SD-62
A1: Sic110YR3/2, Si110YR5/8 ~0.5cm大 15% 中-軟 中-密。
B1: Sic110YR3/3, Si110YR5/8 ~1cm大ブロック 中-軟 中-緑。
B2: Sic110YR3/3, Si110YR6/8 ~1cm大ブロック 中-軟 中-緑。



SK-25
A1:Sic110YR2/2, Si110YR5/1 粒~0.5cm大 20~30% SL0.5-1cm大多 中-軟 中-密
A2:Sic110YR2/2, Si110YR5/1 粒~0.5cm大 10% SL0.5-1cm大中 中-軟 中-密
A3:Sic110YR3/3, Si110YR5/1 粒~1cm大 30~40% SL1-5cm大中 中-軟 中-密
A4:Sic110YR3/3, Si110YR5/1 粒~1cm大 60% SL1-5cm大中 中-軟 中-密
A5:Sic110YR3/3, Sic110YR5/1 粒~1cm大 40% 中-軟 中-緑
B1:Hc10YR4/1-5/1, SL10YR4/6 0.1-0.5cm大 40% LS0.5-1cm大漂多 中-軟 中-緑
B2:Hc10YR4/1-5/1, Sic10YR4/6 0.1-0.2cm大 60% LS0.5-1cm大漂少 中-軟 中-緑
C1:Sic110YR2/2, Si110YR4/4 粒 20% 中-軟 密 ~0.3cm大漂少
C2:Hc10YR4/6, Sic110YR3/3 粒 10~15% 中-軟 中-密 ~1cm大漂少



SD-86
A1:Sic110YR3/3, Si110YR5/8 ~0.5cm大10% 微粒~0.2cm大多 中-軟 密
A2:Sic110YR3/3, Si110YR5/8 ~0.5cm大15~20% 微粒~0.2cm大中 中-軟 密
B1:Si110YR7/8, Si110YR3/3 粒 20% SL10YR5/2 ~0.2cm大20% ~2cm
大硬中 中-軟 中-緑

第22図　方形周溝墓8断面図

土壙 (SK)25(第 21・22 図)

位置 SZ8(SD86) の周溝に重なる。 **平面形** 楕円形。 **軸方向** N44° E。 **規模** 長軸 2.15m、短軸 1.2m。 **深さ** 0.7m。 **断面形** 逆台形。 **検出面** SZ8 検出面。 **重複関係** SZ8(SD86) を切る。 **壁の状態** きつく立ち上がる。 **底の状態** 底面はほぼ平ら。 **埋土** A～B 層に大別され、A1～2 層は黒褐色土に褐灰色シルトおよび粗砂～礫を多く含む。A3～5 層は暗褐色土に褐灰色シルトブロックおよび砂礫を多く含む。B1～2 層は褐灰色粘土に褐色細砂～砂礫を多量に含む。 **出土遺物** 遺物出土はない。

(VI) 方形周溝墓 9

方形周溝墓 9(第 23・24 図)

位置 調査区中央南端。 **平面形** 方形。 **軸方向** N55° E。 **規模** 北東 - 南西 13.3m、北西 - 南東 11.6m。 **墳丘規模** 北東 - 南西 10.0m、北西 - 南東 7.4m。 **主体部** なし。 **陸橋** 東に開口。 **周溝の幅** 0.9～2.9m。 **深さ** 0.1～0.23m。 **断面形** 逆台形。 **溝の共有** SZ8(SD99)・SZ10(SD97)・SZ12(SD95)。 **重複関係** SI13・15・SZ8 に切られる。 **掘込面** 削平。 **検出面** VII 層上面。

埋土 SD100(A-B 断面) は SZ9 固有の周溝で、A～B 層に大別され A1～2 層は黒褐色土に褐色シルトを含む。B1～2 層は褐灰色粘土に褐色シルトを含む。SD95(C-D 断面) は A～B 層に大別され A1 層は黒褐色土に黄褐色シルトを含む。B1 層は暗褐色土に明黄褐色シルトを含む。SD97(E-F 断面) も A～B 層に大別され、A1 層が褐灰色粘土に黄褐色土や礫を多く含む。B1 層は褐灰色粘土に黄褐色ブロック土や礫を含む。SD99(G-H 断面) は A～C 層の 3 層に大別され、A1 層は黒褐色土に黄褐色シルトや礫、炭化物を多量に含む。B1～B2 層は黒褐色土に黄褐色シルトや礫を含み、炭化物を多量に含む。C1 層は明黄褐色シルトに黒褐色ブロック土や礫をやや多く含む。

壁の状態 ややきつく立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦。

出土遺物 SZ12 と共有する SD95 から無文の弥生土器体部破片が出土。SZ10 と共有する SD97 からは弥生時代前期 (第 I 様式) と思われる広口壺の口縁部が 1 点と底部、体部破片、高坏受部が出土。SZ8 と共有する SD99 からは体部破片が出土し SD100 からの出土遺物はない。

土壙 (SK)48(第 23・24 図)

位置 SZ9 の墳丘南側。 **平面形** 楕円形。 **軸方向** N57° E。(ほぼ SZ9 と同じ。)

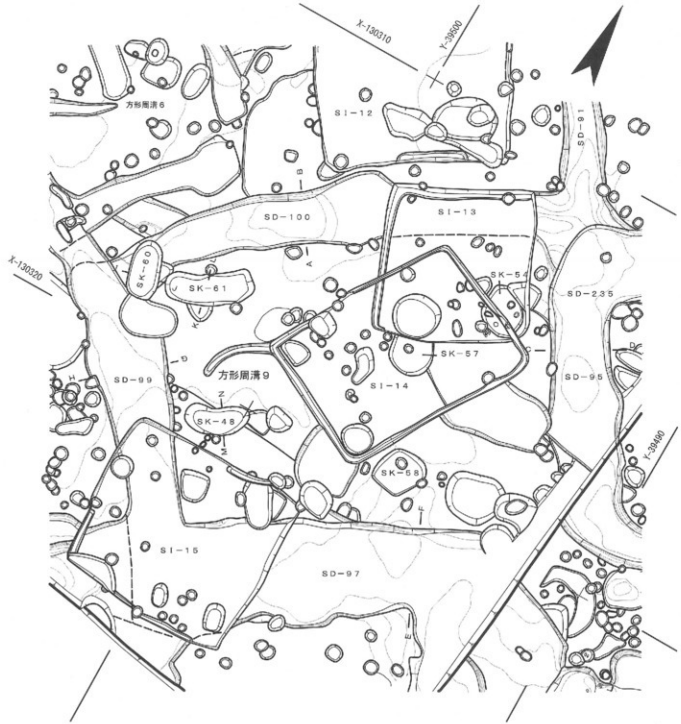
規模 長軸 1.7m、短軸 0.7m。 **深さ** 0.4m。 **断面形** やや逆台形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** 不明。 **壁の状態** きつく立ち上がる。 **底の状態** 底面は北側で深くなる。

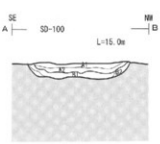
埋土 A～B 層に大別され、A1～3 層は黒褐色土に褐色シルトブロックを含み、A4 層は黒褐色土に黄褐色シルトを含む。B1 層は黄褐色シルトに黒褐色ブロック土を含む。 **出土遺物** なし。

土壙 (SK)60(第 23・24 図)

位置 SZ9 の西側。SD100 に重複。 **平面形** 楕円形。 **軸方向** N16° W。 **規模** 長軸 1.6m、短軸 0.81m。 **深さ** 0.17m。 **断面形** 皿形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** SD100 を切る。 **壁の状態** 緩く立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦。

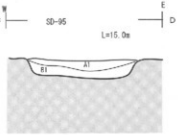
埋土 A～B 層に大別され、A1 層は暗褐色土に褐色シルトを含み、礫を多く含む。B1 層は黄褐色シルトに黒褐色土と礫を多量に含む。 **出土遺物** なし。



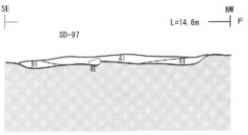


SD-100
A1：SiCl10YR2/3.SiI10YR4/6 0.3cm大 15～20% 中～軟 中～密 ～0.2cm大白色粒やや多く含、～0.5cm大レキ少量含。
A2：SiCl10YR2/3.SiI10YR4/6 0.3cm大 30% 中～軟 中～密 ～0.2cm大白色粒少量含。
B1：HC10YR5/1.SiI10YR4/4 0.5cm大 20% 軟 中～雄 ～0.3cm大炭化物やや多く含。
B2：HC10YR5/1.SiI10YR4/4 0.5cm大 5～7% 軟 雄 0.5～3cm大レキやや多く含。

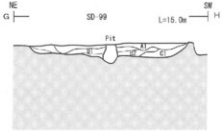
第 23 図　方形周溝墓 9 平面図



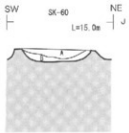
SD-95
A1: Sic110YR3/2,Sil10YR5/6 0.5cm大 15% 中-砂 中-密。
B1: Sic110YR3/3,Sil10YR5/8 ~0.5cm大 25% 中-砂 中-緑。



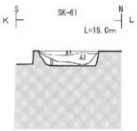
SD-97
A1: HC10YR5/1,Sic110YR5/6 0.3~0.5cm大 30~40% 中-軟 密
~0.2cm大白色粒少量含。3~10cm大レキやや多く含。
B1: HC10YR5/1,Sic110YR5/6 1cm大ブロック 15% 軟 中-密
~0.2cm大白色粒少量含。5~10cm大レキやや多く含。



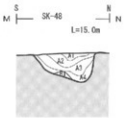
SD-99
A1: Sic110YR3/2,Sil10YR5/6 0.5cm大 40~50% 中-軟 中-密 0.5~2cm大レキ多量に含。
~0.3cm大炭化物やや多く含。
B1: Sic110YR3/2,Sil10YR5/6 0.5cm大 10~15% 中-軟 中-密 2cm大レキおよび~0.3cm
大炭化物多量に含。
B2: Sic110YR3/2,Sil10YR5/6 0.5cm大 20~25% 中-軟 中-密 2cm大レキ少量含。~0.3
cm大炭化物やや多く含。
C1: Sil10YR6/6,Sic110YR3/2 0.5~1cm大ブロック 30% 中-軟 中-緑 0.2~0.7cm大レキ
やや多く含。



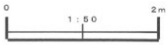
SK-60
A1: Sic110YR3/3,Sil10YR4/6 ~0.2cm大 30~40% 硬 密
~0.5cm大白色レキ多量に含。
B1: Sil10YR5/6,Sic10YR2/2 粒 30~40% 中-硬 中-緑
0.5~5cm大レキ多量に含。



SK-61
A1:Sic110YR3/3 Sil10YR4/6 15% ~0.1cm白色粒少 0.5~1cm
大白色線少 中~軟 密
A2:Sic110YR3/3 Sil10YR4/6 25~30% 0.2~0.5cm大白色線中~
多 ~0.5cm大ﾄﾞｼﾞｮｳ小~中 中-砂 密
B1:Sic110YR3/3 Sil10YR4/6 40~50% ~0.1cm大白色線少
5~10cm線多 中-軟 中-密



SK-48
A1: Sic110YR2/3,Sil10YR4/6 0.5~1cm大 20~25% 中-硬 密
A2: Sic110YR2/3,Sil10YR4/6 0.5~1cm大 15~20% 中-硬 密
A3: Sic110YR2/3,Sil10YR4/6 1cm大 15% 中-軟 中-密
A4: Sic110YR2/3,Sil10YR5/6 1cm大 10% 軟 中-緑
B1: Sil10YR5/8,Sic110YR2/3 0.5~1cm大 20% 中-軟 中-密



第24図　方形周溝墓9断面図

土壙 (SK)61 (第 23・24 図)

位置 SZ9 の墳丘西側。 **平面形** 長方形。 **軸方向** N60° E。 **規模** 長軸 2.35m、短軸 0.83m。 **深さ** 0.2m。 **断面形** 逆台形。 **検出面** VII 層上面。 **壁の状態** きつく立ち上がる。 **底の状態** 平坦。

埋土 A ～ B 層に大別され、A1 ～ 2 層は暗褐色土に褐色シルトを含む。A2 層は礫および炭化物をやや多く含む。B1 層は暗褐色土に褐色シルトと礫を多量に含む。 **出土遺物** なし。

(VII) 方形周溝墓 10

方形周溝墓 10(第 25 図)

位置 調査区中央南端。 **平面形** 方形。 **軸方向** N55° E。 **規模** 南西 - 北東 9.6m、北西 - 南東 8.1m ～。 **墳丘規模** 南西 - 北東 6.0m、南東 - 北西 6.0m ～。 **主体部** 不明。 **陸橋** 不明。 **周溝の幅** 1.8 ～ 2.9m。 **深さ** 0.1 ～ 0.48m。 **断面形** 逆台形。 **溝の共有** SZ9(SD97)。 **重複関係** SI15・SK133 に切られる。 **掘込面** 削平。 **検出面** VII 層上面。

埋土 SZ9 と共有する SD97(A-B 断面) は A ～ B 層に大別され、A1 層が褐灰色粘土に黄褐色土や礫を多く含む。B1 層は褐灰色粘土に黄褐色ブロック土や礫を含む。SD245(C-D 断面) は A ～ D 層の 4 層に大別され、A1 ～ 2 層は暗褐色土に黄褐色シルトを含む。B1 層は黒褐色土に黄褐色シルトを含む。C1 ～ C3 層はにぶい黄褐色土に明黄褐色シルトブロックを含む。D1 層は褐灰色粘土に明黄褐色シルトブロックを多く含む。

壁の状態 ややきつく立ち上がる。 **底の状態** 平坦。

出土遺物 SD245 の北西部から赤彩された高坏口縁部が出土、ほかに体部破片が数点出土。

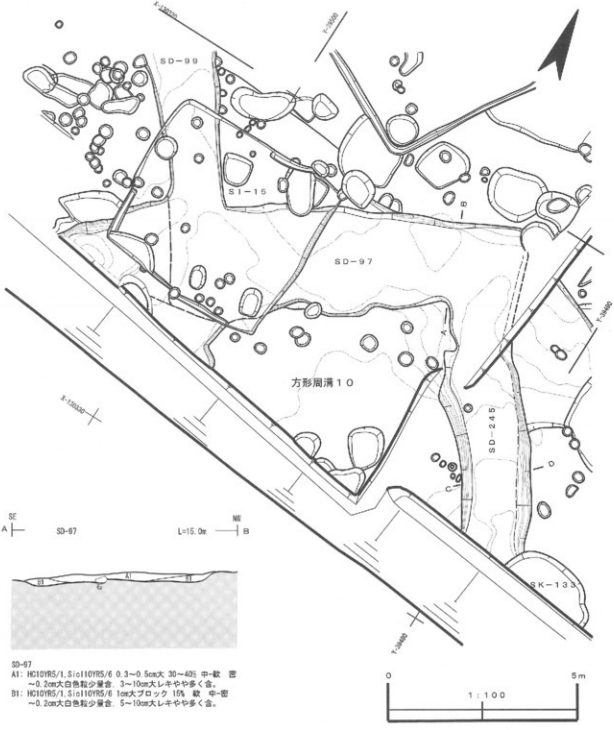
(VIII) 方形周溝墓 11・12

方形周溝墓 11(第 26 ～ 28・34 図)

位置 調査区中央南側。 **平面形** 方形。 **軸方向** N60° E。 **規模** 北西 - 南東 13.0m、南西 - 北東 10.3m。 **墳丘規模** 北西 - 南東 9.5m、南西 - 北東 7.4m。 **主体部** 不明。(SK41・46?) **陸橋** 北 ?。(やや周溝が細くなり、途切れかけ。) **周溝の幅** 1.0 ～ 2.0m。 **深さ** 0.12 ～ 0.6m。 **断面形** (E-F 断面) のみ逆台形。ほかはU字形。 **溝の共有** SZ12(SD235)・SZ14(SD223)。 **重複関係** SI18 に切られる。 **掘込面** 削平。 **検出面** VII 層上面。

埋土 SD223 ② (A-B 断面) は SZ14 と共有しており、A ～ D 層の 4 層に大別され A1 ～ 4 層は黒褐色土ににぶい黄褐色シルトを含む。A2 層以外から土器が出土する。B1 層は黒褐色上に明黄褐色シルトや褐灰色粘土ブロック、礫、土器を含む。B2 層は黒褐色土に黄橙色シルトや褐灰色粘土ブロック、礫を含む。C1 層は褐灰色粘土ににぶい黄橙色シルトや黒褐色土、礫を含む。D1 層は褐灰色粘土ににぶい黄橙色シルトを多く含む。また、明赤褐色の焼土粒を少量含む。D2 層は灰褐色シルトに褐灰色粘土ブロックを含み、礫を多く含む。SZ12 と共有する SD235(C-D 断面) は A ～ C 層の 3 層に大別され、A1 ～ 2 層は黒褐色土ににぶい黄褐色シルトを含む。B1 ～ 3 層は黒褐色土に褐色シルトや炭化物を含む。C1 ～ 2 層は黄褐色シルトに暗褐色土を多く含み、礫を少量含む。SZ11 固有の SD-91 ② (E-F 断面)/SD-91 ① (G-H 断面) は A1 ～ 2 層は黒褐色土に黄褐色シルトを含む。B1 ～ 2 層も黒褐色土に黄褐色シルトを多く含む。B3 層は黒褐色土に褐色シルトを含む。C1 層は黄褐色シルトに暗褐色土を含む。 **壁の状態** ややきつく立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦であるが、北東辺の SD223 は底面がやや窪んでいる。

出土遺物 (第 34 図・表 1) SD91 からは SI12 ～ 14 から流れ込んだと考えられる須恵器坏身、甕、土師器壷口縁部、体部破片等多数が出土している。また、北東側では生駒西麓産と考えられる後期の弥生土器片が出土している。SD-91 ① (G-H 断面) のアゼ内からは、弥生土器と考えられる壷の体部破片が出土している。SZ12 と共有する SD235 のアゼからは体部上半に櫛描平行文を施した卵形で完形の無頸壷が出土した。(第



SD-97
A1: HC10YR5/1,SiCl10YR5/6 0.3～0.5cm大 30～40% 中-軟 密
～0.2cm大白色粒少量含. 3～10cm大レキやや多く含。
B1: HC10YR5/1,SiCl10YR5/6 1cm大ブロック 15% 軟 中-密
～0.2cm大白色粒少量含. 5～10cm大レキやや多く含。

SD-245
A1: SiCl10YR3/3,SiCl10YR5/6 0.5cm大 30% 硬 密 ～0.2cm大白色粒少量含。
A2: SiCl10YR3/3,SiCl10YR5/6 0.5cm大 15% 硬 密 ～0.2cm大白色粒微量に含. 1～3cm大レキ少量含。
B1: SiCl10YR3/2,SiCl10YR5/6 ～0.3cm大 20% 中-硬 中-密 ～0.2cm大白色粒少量含. 3～10cm大レキやや多く含。
C1: SiCl10YR4/3,SiCl10YR6/8 0.5～1cm大ブロック 30% 中-硬 中-密 ～0.2cm大白色粒微量に含。
C2: SiCl10YR4/3,SiCl10YR6/8 0.5～1cm大ブロック 15～20% 中-硬 中-密 ～0.2cm大白色粒微量に含. 5cm大レキ少量含。
C3: SiCl10YR4/3,SiCl10YR6/8 0.5～1cm大ブロック 50～60% 中-軟 中-密 ～0.2cm大白色粒微量に含。
D1: HC10YR5/1,SiCl10YR6/6 ～1cm大ブロック 30～40% 中-軟 中-密。

第 25 図　方形周溝墓 10 平面図

34 図 14) この無頸壺は器高 22.2cm、口径 9.0cm、体部最大径 19.0cm、底径 6.6cm を測り、調整は外面が口縁～体部上半に櫛描直線文を 7 段施し、体部下半は縦方向のヘラミガキを施す。内面はハケメで、色調は浅黄橙色を呈する。体部中央および口唇部に径 1.5 ～ 1.8cm の焼成後穿孔された人為欠損が認められる。さらに外面体部下端に赤彩痕跡が認められる。これらの特徴から供献土器と考えられるが、SZ11・12 のどちらに供献した土器かは不明である。時期はおおよそ弥生時代中期中葉 (第 III 様式) 頃と考えられる。また、(第 34 図 15・16) は SD223 から出土した土器であるが、15 は弥生時代中期後葉 (第 IV-2 様式) 頃の広口壺口縁部で、口縁端部には凹線文、頸部には櫛描直線文が施される。口縁部内面には刺突による列点文が施される。復元口径 23.5cm を測る。16 は土師器小型壺で SI19 から流入したものと思われる。時期は概ね 5 世紀後半と考えられる。また、SD223 南東側からは弥生土器の壺・甕の体部破片や底部が数点出土し、他にも高坏や器台等の破片が出土した。

土壙 (SK)41(第 26・28 図)

位置 SZ11 の墳丘西側。 **平面形** 楕円形。 **軸方向** N82° E。 **規模** 長軸 1.45m、短軸 0.48m。 **深さ** 0.21m。 **断面形** U 字形。 **検出面** VII 層上面。 **壁の状態** ややきつく立ち上がる。 **底の状態** 底面は皿状に窪む。 **埋土** A1 層は黒褐色土に褐色シルトブロックを含み、A2 層は暗褐色土に褐色シルトブロックを多く含む。 **出土遺物** なし。

土壙 (SK)45(第 26・28 図)

位置 SZ9 の南西辺外側。 **平面形** 長楕円形。 **軸方向** N74° E。 **規模** 長軸 1.9m ～、短軸 0.7m。 **深さ** 0.23m。 **断面形** やや逆台形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** SZ9(SD91) に切られる。 **壁の状態** きつく立ち上がる。 **底の状態** 平坦。 **埋土** A ～ B 層に大別され、A1 ～ 3 層は黒褐色土に黄褐色シルトブロックを含む。B1 ～ 2 層は黒褐色土に黄褐色シルトブロックを多量に含む。 **出土遺物** なし。

土壙 (SK)46(第 26・28 図)

位置 SZ9 の墳丘内南側。 **平面形** 長楕円形。 **軸方向** N38° E。 **規模** 長軸 2.1m、短軸 0.65m。 **深さ** 0.24m。 **断面形** U 字形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** なし。 **壁の状態** 緩く立ち上がる。 **底の状態** やや窪む。 **埋土** A1 層は暗褐色土に明黄褐色シルトブロックを含む。A2 層は暗褐色土に明黄褐色シルトブロックや赤褐色の焼土を含む。 **出土遺物** なし。

土壙 (SK)47(第 26・28 図)

位置 SZ9 の墳丘内南西辺。 **平面形** 長楕円形。 **軸方向** N59° E。(ほぼ SZ11 と同じ。) **規模** 長軸 1.8m ～、短軸 0.7m。 **深さ** 0.28m。 **断面形** 逆台形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** SZ9(SD91) に切られる。 **壁の状態** きつく立ち上がる。 **底の状態** やや窪む。 **埋土** A ～ B 層に大別され、A1 ～ 2 層は黒褐色土ににぶい黄褐色シルトや炭化物を含む。B1 層は黄褐色シルトに黒褐色ブロック土を含む。 **出土遺物** なし。

溝 (SD)92(第 26・28 図)

位置 SZ9 の墳丘内南西辺。 **規模** **全長** 2.0m ～。**幅** 0.37m。**深さ** 0.2m。 **断面形** U 字形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** SZ9(SD91) に切られる。 **壁の状態** きつく立ち上がる。 **底の状態** やや窪む。 **埋土** 単層で褐灰色土に黄褐色シルトブロックを多量に含み、明赤褐色の焼土を含む。 **出土遺物** なし。

溝 (SD)93(第 26・28 図)

位置 SZ9 の墳丘内南西辺。 **規模** **全長** 1.8m ～。**幅** 0.36m。 **深さ** 0.2m。 **断面形** V 字形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** SZ9(SD91) に切られる。 **壁の状態** きつく立ち上がる。 **埋土** A1 層は黒褐色土に黄褐

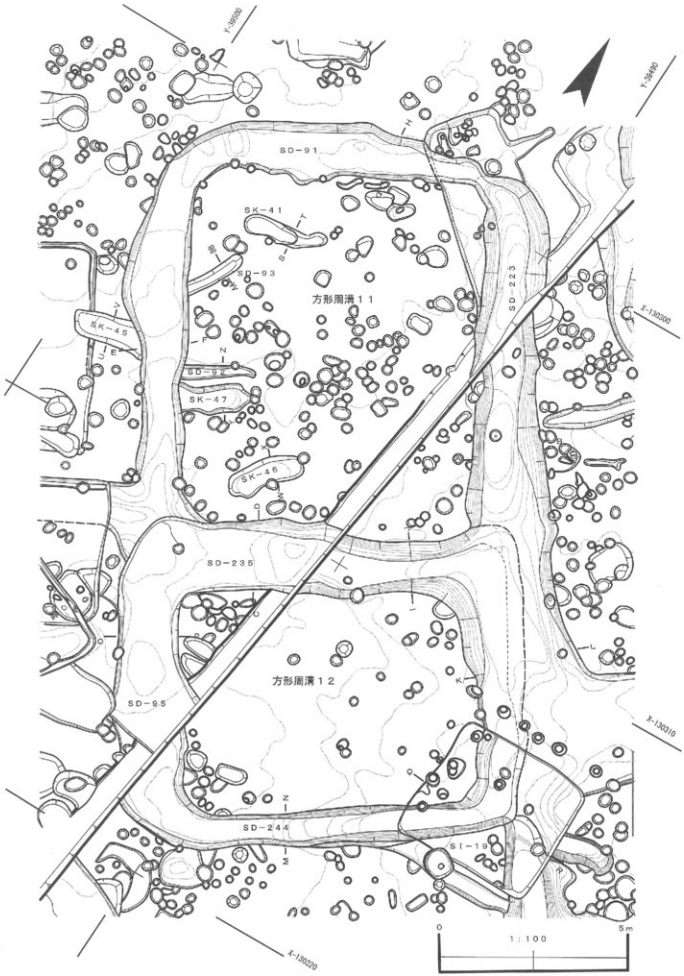
色シルトブロックや炭化物を含む。B 層は黄褐色シルトに黒褐色土を含む。 **出土遺物** なし。

方形周溝墓 12(第 26 ～ 28・34 図)

位置 調査区中央南側。 **平面形** 長方形。 軸方向 N55° E。 **規模** 南西 - 北東 10.5m、北西 - 南東 8.9m。 **墳丘規模** 南西 - 北東 7.4m、北西 - 南東 5.9m。 **主体部** なし。 **陸橋** なし。 **周溝の幅** 0.8 ～ 2.0m。 **深さ** 0.2 ～ 0.42m。 **断面形** 逆台形。 **溝の共有** SZ9(SD95)・SZ12(SD235)・SZ14(SD223)。 **重複関係** SI19 に切られる。SZ11・14 を切る。 **掘込面** 削平。 **検出面** VII 層上面。

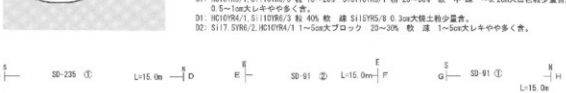
埋土 SZ11 と共有する SD235 ② (I-J 断面) は西側 C-D 断面とは異なった土層を示す。A ～ D 層の 4 層に大別され、A1 ～ 2 層はにぶい黄褐色土に黄褐色シルトを含み、礫を少量含む。B1 層は暗褐色土に黄褐色シルトを含む。C1 層は黒褐色土に黄褐色シルトや褐灰色シルトブロックを含む。C2 層は黒褐色土に明黄褐色シルトブロックや褐灰色シルトブロックを含む。D1 層は褐灰色粘土に明黄褐色シルトブロックを含む。SZ12 の北東辺 SD223(K-L 断面) は SZ14 と共有しているが SZ14 より後から掘り込こまれており、A ～ C 層の 3 層に大別される。A1 ～ 2 層は黒褐色土ににぶい黄褐色シルトを含む。B1 層は黒褐色土に明黄褐色シルトや褐灰色粘土ブロックを含む。B2 層は黒褐色土に黄橙色シルトや褐灰色粘土ブロックを含む。C1 層は褐灰色粘土ににぶい黄橙シルトや黒褐色土を含む。SD244(M-N 断面) は SZ12 単独固有の溝で A ～ C 層の 3 層に大別され、A1 ～ 2 層は暗褐色土に黄褐色シルトを含む。B1・B3 層は黒褐色土に褐灰色粘土ブロックや炭化物を含む。B2 層は黒褐色土に褐灰色粘土ブロックや明褐色の焼土粒を含む。C1 層は黒褐色土に明黄褐色シルトブロックを多く含む。SD95(O-P 断面) は SZ9 と共有しており、A1 層は黒褐色土に黄褐色シルト、B1 層は暗褐色土に明黄褐色シルトを含む。 **壁の状態** ややきつく立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦。

出土遺物 SZ11 で上述。



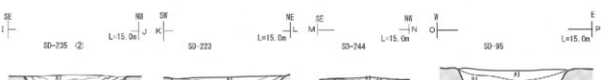
第 26 図　方形周溝墓 11・12 平面図

SD-223 ②
A1: Sic1OYR2/2,Si1OYR5/4 粒 20~25% 硬 密 ~0.5cm大白色レキおよび~1cm大レキ多量に含，土器少量出土。
A2: Sic1OYR2/2,Si1OYR5/4 粒 20% 中~硬 中~密 ~0.2cm大白色粒やや多く含，~1cm大レキ少量含。
A3: Sic1OYR2/2,Si1OYR5/4 粒 5~10% 中~軟 中~密 1~2cm大レキやや多く含，土器出土。
A4: Sic1OYR2/2,Si1OYR5/4 粒 10~15% 粒 中~密 1~3cm大レキやや多く含，土器出土。
B1: Sic1OYR3/2,Si1OYR6/6,HC1OYR4/1 粒~0.5cm大 15% 0.5~1cm大ブロック 15~20% 中~粒 中~密 1~2cm大レキやや多く含，土器出土。
B2: Sic1OYR3/2,Si1OYK7/8,HC1OYR4/1 粒~0.5cm大 10% 0.5~1cm大ブロック 20~30% 粒 中~密 1~2cm大レキ少量含。
C1: HC1OYR5/1,Si1OYR6/3 粒 15~20% Sic1OYR3/1 粒 20~30% 粒 中~締 ~0.2cm大白色粒少量含，0.5~1cm大レキやや多く含。
D1: HC1OYR4/1,Si1OYR6/3 粒 40% 軟 締 Si1OYR5/8 0.3cm大焼土粒少量含。
D2: Si17.5YR6/2,HC1OYR4/1 1~5cm大ブロック 20~30% 粒 締 1~5cm大レキやや多く含。



SD-235 ①
A1: Sic1OYR2/3,Si1OYR5/4 ~0.3cm大 15% 中~粒 中~密 ~0.2cm大白色粒礫量に含。
A2: Sic1OYR2/3,Si1OYR5/4 ~0.3cm大 20~30% 中~硬 中~密 ~0.2cm大白色粒少量含。
B1: Sic1OYR3/2,Si1OYR4/4 ~0.5cm大 15~20% 中~硬 中~密 ~0.2cm大白色粒礫量に含，0.5cm大炭化物少量含。
B2: Sic1OYR3/2,Si1OYR4/4 ~0.5cm大 10% 中~硬 中~密 ~0.2cm大白色粒礫量に含，0.5cm大炭化物やや多く含。
B3: Sic1OYR3/2,Si1OYR4/4 ~0.2cm大 20% 中~硬 中~密 ~0.2cm大白色粒礫量に含，0.5cm大炭化物少量含。
C1: Si1OYR5/6,Sic1OYR3/3 粒 30~40% 中~粒 中~締 SL ~0.5cm大レキ少量含。
C2: Si1OYR5/6,Sic1OYR3/3 粒 50~60% 粒 中~締 SL ~0.5cm大レキ少量含。

SD-91 ① ②
A1: Sic1OYR3/2,Si1OYR5/8 0.5~1cm大ブロック 5~7% 中~粒 中~密 ~0.2cm大白色粒少量含。
A2: Sic1OYR3/2,Si1OYR5/8 0.5~1cm大ブロック 15~20% 中~粒 密 ~0.2cm大白色粒やや多く含。
A3: Sic1OYR3/2,Si1OYR5/8 0.5~1cm大ブロック 20~30% 粒 密 ~0.5cm大白色粒少量含。
B1: Sic1OYR3/2,Si1OYR6/6 1~2cm大ブロック 30% 中~粒 中~締。
B2: Sic1OYR3/2,Si1OYR6/6 1~3cm大ブロック 40~60% 中~硬 中~密。
C1: Si1OYR5/6,Sic1OYR3/3 粒 30~40% 中~軟 中~締 SL ~0.5cm大レキ少量含。

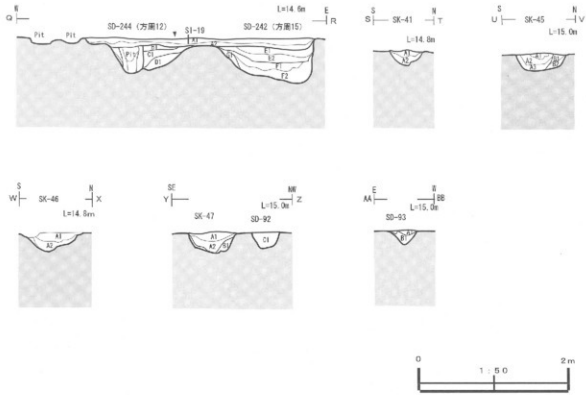


SD-235 ②
A1: Sic1OYR4/3,Si1OYR5/6 ~0.5cm大 20% 中~硬 密 ~0.1cm大白色粒およびφ0.5cm大レキ少量含。
A2: Sic1OYR4/3,Si1OYR5/6 ~0.5cm大 10~15% 中~粒 密 ~0.1cm大白色粒少量含，0.5cm以下礫量に含。
B1: Sic1OYR2/3,Si1OYR5/6 0.5cm大 20~25% 中~軟 中~密 0.5~1cm大レキ少量含。
C1: Sic1OYR2/2,Si1OYR5/6~5/8 0.5cm大 20% 中~軟 中~密 ~0.2cm大白色粒少量含，Si1OYR5/1 1~2cm大ブロック 20%含。
C2: Si1OYR5/6,Sic1OYR6/8 1cm大ブロック 30~40% 中~硬 中~密 ~0.2cm大白色粒少量含，Si1OYR5/1 1~2cm大ブロック 5~7%含。
D1: HC1OYR4/1,Si1OYR6/8 1cm大ブロック 40% 軟 中~締 0.5~1cm大レキ少量含。

SD-244
A1: Sic1OYR3/3,Si1OYR5/8 0.2~0.3cm大 20~25% 硬 密 1~3cm大レキ少量含。
A2: Sic1OYR3/3,Si1OYR5/8 0.2~0.3cm大 40% 硬 密 1~3cm大レキやや多く含。
B1: Sic1OYR3/2,HC1OYR4/1 ~1cm大ブロック 20% 中~硬 密 ~0.5cm大炭化物やや多く含，~0.3cm大白色レキ少量含。
B2: Sic1OYR3/2,HC1OYR4/1 ~1cm大ブロック 10~15% 中~軟 密 ~0.5cm大炭化物および~0.1cm大白色レキ少量含，Si15YR5/8 0.5cm大焼土粒少量含。
B3: Sic1OYR3/2,HC1OYR4/1 ~1cm大ブロック 10% 中~軟 密 ~0.5cm大炭化物やや多く含，~0.5cm大白色レキおよび1~2cm大レキ少量含。
C1: Sic1OYR3/2,Si1OYR6/8 0.5~1cm大ブロック 40~50% 中~軟 密 ~0.3cm大白色粒および5cm大レキ少量含。

SD-95
A1: Sic1OYR3/2,Si1OYR5/6 0.5cm大 15% 中~粒 中~密。
B1: Sic1OYR3/3,Si1OYR6/8 ~0.5cm大 25% 中~軟 中~締。

第 27 図　方形周溝墓 11・12 断面図



SD-244
B1: Sic1 10YR3/2, Si1 10YR4/4 1cm大ブロック 20～30% 中-散 中-密 ～0.2cm大白色粒やや多く含，1cm大レキ少量含。
C1: HC1 10YR3/3, Si1 10YR4/1 1cm大ブロック 40% 中-散 中-密 ～0.2cm大白色粒やや多く含，1cm大レキ少量含。
C2: HC1 10YR3/3, Si1 10YR4/1 1cm大ブロック 20～30% 軟 密 ～0.2cm大白色細少量含。土器出土。
D1: HC1 10YR4/1, Sic1 10YR5/6 1cm大ブロック 20% 中-軟 密 ～0.2cm大白色細少量含。

SK-41
A1: Sic1 10YR2/2, Si1 10YR4/6 1cm大ブロック 15～20% 中-硬 密。
A2: Sic1 10YR3/3, Si1 10YR4/6 1cm大ブロック 30～40% 中-散 密。

SK-45
A1: Sic1 10YR3/2, Si1 10YR5/8 0.5～1cm大 5～7% 中-硬 中-密 ～0.2cm大白色レキ少量含。
A2: Sic1 10YR3/2, Si1 10YR5/8 0.5～1cm大 15～20% 中-硬 密 ～0.2cm大白色レキやや多く含。
A3: Sic1 10YR3/2, Si1 10YR5/8 0.5～1cm大 20～30% 散 密 ～0.2cm大白色レキ少量含。
B1: Sic1 10YR2/2, Si1 10YR5/6 1～2cm大ブロック 30% 中-散 中-締
B2: Sic1 10YR3/2, Si1 10YR5/6 1～3cm大ブロック 40～60% 中-散 中-密

SK-46
A1: Sic1 10YR3/3, Si1 10YR5/6 0.5～1cm大ブロック 15～20% 中-硬 密 0.5cm大白色レキ微量に含。
A2: Sic1 10YR3/3, Si1 10YR5/6 0.5～1cm大ブロック 40～50% 中-散 中-締 Si1 5YR4/6 0.5～3cm大領土ブロック 15%程度含。

SK-47
A1: Sic1 10YR2/2, Si1 10YR4/3 0.5cm大 10% 中-硬 中-密 ～0.2cm大炭化物少量含。
A2: Sic1 10YR2/2, Si1 10YR4/3 0.5cm大 20～25% 中-散 中-密 ～0.2cm大炭化物少量含。
B1: Si1 10YR5/6, Sic1 10YR3/2 地～1cm大ブロック 30% 中-散 中-密。

SD-92
C1: Sic1 10YR4/1, Si1 10YR5/6 1cm大ブロック 40～50% 中-堅 中-密 Si1 5YR5/8 0.5cm大領土粒および0.2cm大炭化物少量含。

SD-93
A1: Sic1 10YR3/2, Si1 10YR5/6 0.2～1cm大ブロック 20% 中-堅 密 0.2cm大炭化物少量含。
B1: Si1 10YR5/6, Sic1 10YR3/2 0.5cm大 15～20% 堅 密。

第 28 図　方形周溝墓 11・12 断面図 (2)

方形周溝墓 13(第 29 ～ 33 図)

位置 調査区中央。 **平面形** 長方形。 **軸方向** N70° E。 **規模** 東西 12.5m、南北 10.3m。 **墳丘規模** 東西 10.0m、南北 6.7m。 **主体部** なし。 **陸橋** 北東?。 **周溝の幅** 0.6 ～ 2.0m。 **深さ** 0.25 ～ 0.5m。 **断面形** 逆台形および U 字形。 **溝の共有** SZ14(SD202・231)。 **重複関係** SI16 ～ 18・25 に切られる。SZ14(SD231) を切る。 **掘込面** 削平。 **検出面** VII 層上面。

埋土 北辺の SD202 ① (C-D 断面)-B ～ D 層の 3 層に大別され、A1 層は SI25 の埋土である。B1 層は暗褐色土に褐灰色粘土を含む。B2 層は暗褐色土に褐灰色粘土や黒褐色ブロック土を含む。C1 層は明黄褐色シルトに褐灰色粘土ブロックと黒褐色ブロック土を含む。D1 層は褐灰色粘土に暗褐色シルトを多量に含み、明黄褐色シルトも含む。東辺の SD202 ② (E-F 断面) は A ～ C 層の 3 層に大別され、A1 層は灰黄褐色粘土に暗褐色シルトや明赤褐色の焼土を含む。A2 層は灰黄褐色粘土に暗褐色シルトや礫を多量に含む。また、土器も含む。B1 層は褐灰色粘土に黒褐色シルトを含む。B2 ～ 3 層は褐灰色粘土に黄褐色シルトを含む。C1 層は褐灰色粘土に黄褐色土を含む。南辺の SD202 ③ (G-H 断面) および西辺の SD202 ④ (I-J 断面) は A ～ C 層の 3 層に大別され、A1 ～ 2 層は黒褐色土に褐色シルトや褐灰色粘土を含む。B1 層は黒褐色土に暗褐色シルトや褐灰色粘土ブロックを含む。C1 ～ 2 層は黒褐色土ににぶい黄橙色シルトを含む。同じく南辺の SD202 ⑤ (M-N 断面) は A ～ B 層に大別され、6 層に細分される。A1 ～ 3 層は黒褐色土に灰黄褐色シルトや明赤褐色の焼土粒を含む。B1 ～ 2 層は黒色粘土に灰黄褐色シルトや礫を多量に含む。B3 層は黒色粘土ににぶい黄橙色シルトを含む。

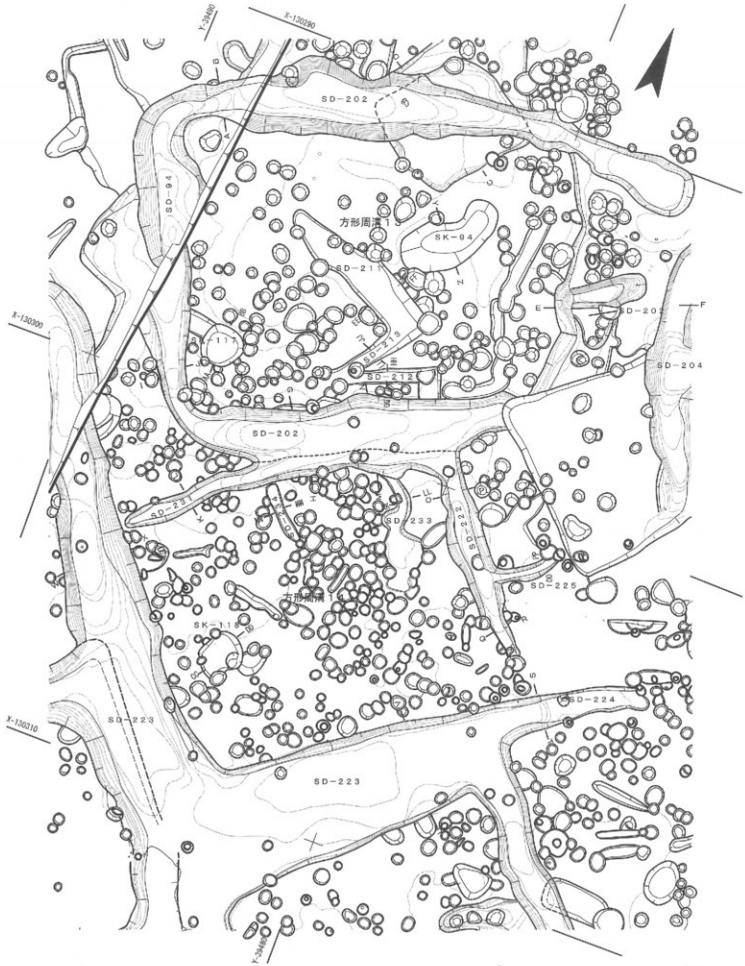
壁の状態 ゆるく立ち上がる。 **底の状態** やや皿状に窪む。

出土遺物 (第 33 図・表 1・10) 南西辺の SD94 からは弥生土器の壺口縁部や甕の口縁部 (第 IV-1 様式)、底部 4 点、体部破片が 50 点ほど出土し、櫛描直線文による格子目文を施した壺 (第 III-1 様式) や円形浮文等が見られる。SD202 からは凹線文の入った広口壺の口縁部や体部破片が出土している。SZ13 固有の北辺の SD202 からは木葉痕の見られる底部や高坏が出土した他に、第 33 図 11 ～ 13 が出土した。11 は高坏で器高 18.8cm、口径 22.5cm、底径 13.7cm を測り、その器形は碗形の大きな坏部で口縁部が水平近くまで外反し、脚部は中実の柱状部と小さく裾部が開く。調整は内外面ともにハケメを施す。これらの特徴から弥生時代中期前葉 (II 様式) 頃のものと思われる。12 は甕で器高 23.4 ～ 24.2cm、口径 17.5cm、最大径 17.9cm、底径 6.1cm を測り、その器形は胴部が丸みを持ち、やや張り出しが強く、口縁部と径が近い。摂津型 a の特徴である口縁部内面のヨコハケがみられる。11 と同様、弥生時代中期前葉頃と考えられる。13 は円柱状を呈する石灰岩であるが、用途不明である。両端は磨面があり 4 段に整形している。全長は 11.7cm、径 5.5 ～ 7.1cm、重さ 316g を測る。

方形周溝墓 14(第 29 ～ 33・34 図)

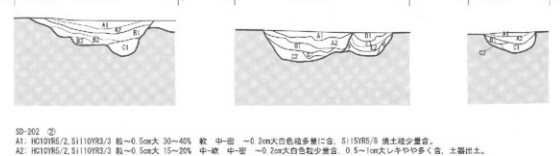
位置 調査区中央。 **平面形** 方形。 **軸方向** N54° E。 **規模** 南西 - 北東 11.2m、北西 - 南東 10.4m。 **墳丘規模** 南西 - 北東 8.1m、北西 - 南東 6.9m。 **主体部** なし。 **陸橋** 東に開口。 **周溝の幅** 0.3 ～ 3.2m。 **深さ** 0.17 ～ 0.61m。 **断面形** 逆台形および U 字形。 **溝の共有** SZ11・12(SD223)・SZ13(SD202・231)・SZ15(SD223)・SZ16(SD224)。 **重複関係** SZ11・SZ12(SD223)・13(SD202) に切られる。 **掘込面** 削平。 **検出面** VII 層上面。

埋土 北西辺 SD231 は SZ13(SD202) に切られ、SD231 ① (G-H 断面) および SD231 ② (K-L 断面) は D ～ G 層の 4 層に大別される。D1 層は黒褐色土に暗褐色シルトや灰色粘土ブロックを含む。E1 ～ 2 層は黒褐色粘土に暗褐色ブロック土を多量に含む。F1 層は黄灰色粘土に黒褐色ブロック土を含む。G1 層は灰オリーブ色シルト質壌土に褐灰色粘土ブロックや暗褐色ブロック土を含む。北東辺 SD-222 ① (O-P 断面)/SD-222 ② (Q-R 断面) は A ～ B 層に大別され、A1 ～ 4 層は暗褐色土に褐灰色粘土ブロックを含む。さらに、A4 層



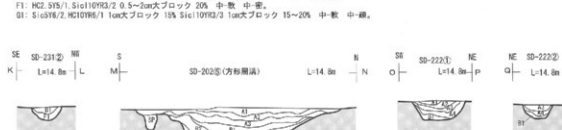
第 29 図　方形周溝墓 13・14 平面図

SD-202 ①
B1: Sic10YR3/3,HC10YR5/1 1～2cm大 20% ～0.1cm大白色粒やや多く含，硬 密。
B2: Sic10YR3/3,HC10YR5/1 1～2cm大 30～40% ～0.3cm大白色粒多量に含，堅 密 Sic10YR3/1 3～5cm大ブロック 30%含。
B3: Sic10YR3/3,HC10YR5/1 1～2cm大 15% ～0.3cm大白色粒やや多く含，中～軟 中～密 Sic10YR3/1 3～5cm大ブロック 15%含。
C1: Sic10YR5/8,HC10YR5/1 1～3cm大 30% Sic10YR3/1 0.5～2cm大 15～20% 中～軟 中～密 3cm大レキ少量含。
D1: HC10YR5/1,Si110YR3/4 粒 40% Si11OYR8/6 粉 15% 中～軟 密。



SD-202 ②
A1: HC10YR5/2,Si110YR3/3 粒～0.5cm大 30～40% 軟 中密 ～0.3cm大白色粒多量に含，Si15YR5/8 焼土粒少量含。
A2: HC10YR5/2,Si110YR3/3 粒～0.5cm大 15～20% 中～軟 中～密 ～0.2cm大白色粒少量含，0.5～1cm大レキややま多く含，土器出土。
B1: HC10YR4/1,Si110YR3/2 粒 30% 中～軟 中～密 ～0.2cm大白色粒多量に含，3～5cm大レキ少量含。
B2: HC10YR4/1,Si110YR5/6 粒 20～30% 中～軟 中～緻 ～0.2cm大白色粒少量含，0.5～1cm大レキ少量含。
B3: HC10YR5/1,Si110YR5/6 粒 50～60% 中～軟 中～密 0.5cm大レキやや多く含。
C1: HC10YR4/1,Sic10YR5/6 粒 20% 中～軟 中～緻 3～5cm大レキやや多く含。

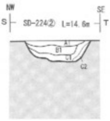
SD-202 ③・④
A1: Sic10YR2/2,Si110YR4/4 0.3cm大 30% HC10YR5/1 0.5cm大 15% 中～軟 中～密 0.5～1cm大レキ少量含。
A2: Sic10YR2/2,Si110YR4/4 ～0.5cm大 15% HC10YR5/1 0.5～1cm大ブロック 20～25% 軟 中～密 0.5～1cm大レキ少量含。
B1: Sic10YR3/1,Si110YR3/4 0.5cm大 20～30% HC10YR5/1 0.5～1cm大 20% 中～軟 密 0.5～1cm大レキ微量に含。
C1: Sic10YR2/2,Si11OY7/2 粒 15～20% 軟 中～緻。
C2: Sic10YR2/2,Si11OY7/2 粒 40～50% 軟 緻。
D1: Sic10YR2/2,Si110YR3/4 粒 20% HC7.5Y5/1 1cm大ブロック 15% 中～軟 中～密。
E1: HC10YR3/1,Sic10YR3/4 1cm大ブロック 50～60% 中～軟 中～密 0.3～0.5cm大レキ少量含。
E2: HC10YR3/1,Sic10YR3/4 1cm大ブロック 40% 中～軟 中～密 0.3～0.5cm大レキ少量含。
F1: HC2.5Y5/1,Sic10YR3/2 0.5～2cm大ブロック 20% 中～軟 中～密。
G1: Sic5YR6/2,HC10YR6/1 1cm大ブロック 15% Sic110YR3/3 1cm大ブロック 15～20% 中～軟 中～緻。

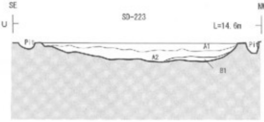


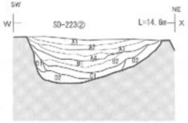
SD-202 ⑤
A1: Sic10YR2/2,Si110YR6/2 0.3cm大 10% 軟 密 1cm大レキややま多く含，Si15YR5/8 0.5cm大焼土粒少量含。
A2: Sic10YR2/2,Si110YR6/2 0.3cm大 20% 軟 密 1cm大レキ少量含，5～10cm大レキややま多く含，Si15YR5/8 0.5cm大焼土粒少量含。
A3: Sic10YR2/2,Si110YR6/2 0.5cm大 15% 軟 密 1cm大レキ少量含，5～10cm大レキ縦里に含，Si15YR5/8 0.5cm大焼土粒少量含。
B1: HC10YR2/1,Si110YR6/2 0.5cm大 15～20% 軟 中～密 0.5cm大白色レキ少量含，2～5cm大レキ多量に含。
B2: HC10YR2/1,Si110YR6/2 0.5cm大 10% 軟 中～密 ～0.2cm大白色レキおよび2～5cm大レキやや多く含。
B3: HC10YR2/1,Si110YR7/3 0.5cm大 20～30% 中～軟 中～密 2～5cm大レキ多量に含。
Pit:HC10YR3/1,Si110YR4/6 粒～0.5cm大 20～30% 中～軟 密。

SD-222①・②
A1: Sic10YR3/3,HC10YR5/1 0.5～1cm大ブロック 30% 中～軟 中～密 ～0.1cm大白色粒少量含。
A2: Sic10YR3/3,HC10YR5/1 0.5～1cm大ブロック 30～40% 中～軟 中～密 ～1cm大レキ少量含。
A3: Sic10YR3/3,HC10YR5/1 0.5～1cm大ブロック 20～30% 中～軟 中～密 ～1cm大レキおよび0.2cm大炭化物少量含。
A4: Sic10YR3/3,HC10YR5/1 0.5～1cm大ブロック 40% 中～軟 中～密 Si110YR5/6 0.5～1cm大ブロック 10% Si5YR5/8 0.2cm大焼土粒および0.3cm大炭化物少量含。
B1: HC10YR4/1～5/1,Si110YR5/8 粒 40% 中～軟 中～密 0.2cm大炭化物少量含。

第 30 図　方形周溝墓 13・14 断面図 (1)



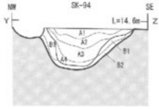


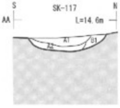


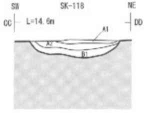
SD-224 ②
A1: Sicl10YR3/3, Sil10YR5/1 粒～1cm大ブロック 30% 中-硬 中-密 ～0.3cm大白色粒やや多く含. 2～5cm大レキ多量に含。
B1: Sicl10YR4/1, Sil10YR5/6 0.5～1cm大ブロック 30% 中-軟 中-疎 3～5cm大レキ多量に含。
C1: Sicl10YR4/1, Sil10YR4/4 粒 20～30% 中-軟 中-密 3～5cm大レキやや多く含。
C2: Sicl10YR4/1, Sil10YR4/4 粒 15% 中-軟 中-密 ～1cm大レキやや多く含。

SD-223
A1: Sicl10YR2/2, Sil10YR6/8 ～0.5cm大 10～15% 中-軟 中-密 ～0.5cm大白色レキ多量に含. 1～3cm大レキやや多く含. Sil5YR6/8 0.3cm大焼土粒少量含。
A2: Sicl10YR2/2, Sil10YR6/8 ～0.5cm大 30% 中-軟 中-疎 ～0.5cm大白色レキ多量に含. 1～5cm大レキやや多く含. Sil5YR6/8 0.3cm大焼土粒少量含。
B1: Sicl10YR4/3, Sil10YR7/8 粒～1cm大ブロック 30～40% 軟 中-疎 2～5cm大レキやや多く含。

SD-223 ②
A1: Sicl10YR2/2, Sil10YR5/4 粒 20～25% 硬 密 ～0.5cm大白色レキおよび～1cm大レキ多量に含. 土器少量出土。
A2: Sicl10YR2/2, Sil10YR5/4 粒 20% 中-硬 中-密 ～0.2cm大白色粒やや多く含. ～1cm大レキ少量含。
A3: Sicl10YR2/2, Sil10YR5/4 粒 5～10% 中-軟 中-密 1～2cm大レキやや多く含. 土器出土。
A4: Sicl10YR2/2, Sil10YR5/4 粒 10～15% 軟 中-密 1～3cm大レキやや多く含. 土器出土。
B1: Sicl10YR3/2, Sil10YR6/6, HC10YR4/1 粉～0.5cm大 15% 0.5～1cm大ブロック 15～20% 中-軟 中-密 1～2cm大レキやや多く含. 土器出土。
B2: Sicl10YR3/2, Sil10YR7/8, HC10YR4/1 粉～0.5cm大 10% 0.5～1cm大ブロック 20～30% 軟 中-密 1～2cm大レキ少量含。
C1: HC10YR5/1, Sil10YR6/3 粒 15～20% Sicl10YR3/1 粉 20～30% 軟 中-疎 ～0.2cm大白色粒少量含. 0.5～1cm大レキやや多く含。
D1: HC10YR4/1, Sil10YR6/3 粒 40% 軟 疎 Sil5YR5/8 0.3cm大焼土粒少量含。
D2: Sil7.5YR6/2, HC10YR4/1 1～5cm大ブロック 20～30% 軟 疎 1～5cm大レキやや多く含。







SK-94
A1: Sicl10YR2/2, Sil10YR4/4 粒 30% 中-硬 密 ～0.3cm大白色粒やや多く含. 0.3～1cm大炭化物および土器少量出土。
A2: Sicl10YR2/2, Sil10YR4/4 粒 15～20% 中-硬 中-密 ～0.3cm大白色粒やや多く含. 0.3cm大炭化物少量含。
A3: Sicl10YR2/2, Sil10YR4/4 粒 10% 中-硬 中-密 ～0.1cm大白色粒多量に含. 1cm大炭化物やや多く含。
A4: Sicl10YR2/2, Sil10YR4/4 粒 30～40% 中-軟 中-疎 ～0.3cm大白色粒やや多く含。
B1: Sicl10YR3/2, Sil2.5Y5/4 粒 20～25% 軟 中-疎 ～0.5cm大白色レキやや多く含。
B2: Sicl10YR3/2, Sil2.5Y5/4 粒 40% 中-軟 中-密 ～0.1cm大白色レキ少量含。

SK-117
A1: Sicl10YR2/1, HC10YR5/1 ～0.5cm大 20～25% 中-軟 中-密 ～0.1cm大白色粒少量含. ～0.5cm大レキやや多く含。
A2: Sicl10YR2/1, HC10YR5/1 ～0.5cm大 15% 中-軟 中-疎 ～0.1cm大白色粒および～0.5cm大レキ少量含。
B1: Sicl10YR3/1, Sic10YR6/1 粒～0.5cm大 20～30% 中-軟 中-疎 ～0.3cm大白色レキおよび1cm大レキやや多く含。

SK-118
A1: Sicl10YR2/3, Sil10YR6/6 粉～粒 5～7% Sil10YR5/1 ～0.3cm大 10% 中-硬 中-密 ～0.2cm大白色粒やや多く含。
A2: Sicl10YR2/3, Sil10YR6/6 粉～粒 10～15% Sil10YR5/1 0.5～1cm大ブロック 20% 中-硬 中-密 ～0.2cm大白色粒やや多く含. 1cm大レキ少量含。
B1: Sicl10YR2/1, Sil10YR6/6 粒 20～30% 中-軟 中-密 ～0.2cm大白色粒および2～5cm大レキ少量含。

SD-211
A1: Sicl10YR3/2, Sil10YR5/3 粒 10～15% 中-硬 中-密 ～0.2cm大白色レキ少量含。
A2: Sicl10YR3/2, Sil10YR5/3 粒 10～15% 中-硬 中-密 ～0.2cm大白色レキ少量含。
B1: Sicl10YR3/2, Sil10YR5/2 粒 30% 中-軟 中-密 1cm大レキ少量。
B2: Sicl10YR3/2, Sil10YR5/2 粒 50～60% 軟 中-疎 1～3cm大レキ少量含。
C1: HC10YR2/2, Sil10YR5/3 粒～1cm大ブロック 15% HC10YR6/1 1～3cm大ブロック 30% 中-軟 密 ～0.2cm大白色レキ少量含。
D1: HC10YR3/2, HC10YR6/2 3～5cm大ブロック 30～40% Sil10YR6/6 粒～1cm大ブロック 15% 中-軟 中-密 1cm大レキ少量含。

第31図　方形周溝墓13・14断面図(2)

は黄褐色シルトブロックと明赤褐色シルトの焼土を含む。B1 層は褐灰色粘土に黄褐色シルトを含む。南東辺 SD223 の先端、東に開口した陸橋部の入り口付近から北東へ延び、SZ16 と共有する SD224 ②（S-T 断面）は A ～ C 層の 3 層に大別される。A1 層は暗褐色土に褐灰色シルトブロックや多量の礫を含む。B1 層は褐灰色土に黄褐色シルトブロックや多量の礫を含む。C1 ～ 2 層は褐灰色土に褐色シルトとやや多く礫を含む。南東辺の SD223(U-V 断面）は A ～ B 層に大別され、A1 ～ 2 層は黒褐色土に明黄褐色シルトと多量の礫を含み、橙色の焼土粒も少量含む。B1 層はにぶい黄褐色土に黄橙色シルトブロックと礫を多量に含む。南西辺の SD223 ②（W-X 断面）は A ～ D 層の 4 層に大別され、9 層に細分される。A1 ～ 4 層は黒褐色土ににぶい黄褐色シルトや礫を含む。また、A2 層以外は土器を含む。B1 層は黒褐色土に明黄褐色シルトや褐灰色粘土ブロック、礫、土器等を含む。B2 層は黒褐色土に黄橙色シルトや褐灰色粘土ブロック、礫を含む。C1 層は褐灰色粘土ににぶい黄橙色シルトや黒褐色土、礫を含む。D1 層は褐灰色粘土に多量のにぶい黄橙色シルトや明赤褐色の焼土粒を含む。D2 層は灰褐色シルトに褐灰色粘土ブロックや礫を含む。

壁の状態 ややきつく立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦。

出土遺物 北西辺の SD231 から弥生土器の底部と櫛描直線文の入った広口壺体部破片が出土している。また、SZ11・12 と共有する SD223 から凹線文や櫛描直線文の見られる、弥生時代中期後葉（IV 様式）頃の広口壺や器台破片が出土している。しかし、切り合いから SZ12 や SZ13 よりも先行することが判明していることから、弥生時代中期前葉（II 様式）頃の造墓と推察される。

土壙 (SK)94（第 29・31 図）

位置 SZ13 の墳丘内中央。 **平面形** 長楕円形。 **軸方向** 大きく東に振れる。 **規模** 長軸 2.8m、短軸 0.9 ～ 1.35m。 **深さ** 0.55m。 **断面形** やや逆台形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** なし。 **壁の状態** やや緩く立ち上がる。 **底の状態** やや窪む。 **埋土** A ～ B 層に大別され、A1 ～ 4 層は黒褐色土に褐色シルトや炭化物を含む。B1 ～ 2 層は黒褐色土に黄褐色シルトを含む。 **出土遺物** なし。

土壙 (SK)117（第 29・31 図）

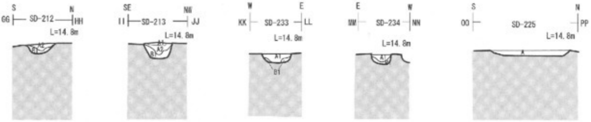
位置 SZ13 の墳丘内南隅。 **平面形** 楕円形。 **規模** 径 1.05m。 深さ 0.19m。 **断面形** U 字形。 **検出面** VII 層上面。 **壁の状態** 緩く立ち上がる。 **底の状態** やや窪む。 **埋土** A ～ B 層に大別され、A1 ～ 2 層は黒色土に褐灰色粘土、B1 層は黒褐色土に褐灰色シルトを含む。 **出土遺物** なし。

土壙 (SK)118（第 29・31 図）

位置 SZ14 の墳丘内南側。 **平面形** 楕円形。 **規模** 長軸 1.25m、短軸 0.9m。 **深さ** 0.23m。 **断面形** U 字形。 **検出面** VII 層上面。 **壁の状態** 緩く立ち上がる。 **底の状態** やや窪む。 **埋土** A ～ B 層に大別され、A1 ～ 2 層は黒褐色土に明黄褐色シルトや褐灰色シルトを含む。B1 層は黒色土に明黄褐色シルトを含む。 **出土遺物** なし。

溝 (SD)211（第 29・31 図）

位置 SZ13 の墳丘内中央。 **主軸** N66° W。 **規模** **全長** 4.65m ～。 **幅** 1.05m。 **深さ** 0.52m。 **断面形** 逆台形。 **検出面** VII 層上面。 **壁の状態** きつく立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦。 **埋土** A ～ D 層の 4 層に大別され、A1 ～ 2 層は黒褐色土ににぶい黄褐色シルトを含む。B1 ～ 2 層は黒褐色土に灰黄褐色シルトや礫を含む。C1 層は黒褐色粘土ににぶい黄褐色シルトブロックや褐灰色粘土ブロックを含む。D1 層は黒褐色粘土に灰黄褐色粘土ブロックや明黄褐色シルトブロック、礫を含む。 **出土遺物** なし。

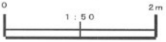


SD-212/213
A1: Sicl10YR2/1, Sil10YR5/4 0.5cm大 20% HC10YR6/1 0.5~2cm大ブロック 20% 中-硬 中-密 ~0.1cm大白色粒少量含。
A2: Sicl10YR2/1, Sil10YR5/4 0.5cm大 10% HC10YR6/1 0.5~1cm大ブロック 30% 中-硬 中-密 ~0.1cm大白色粒微量に含。
B1: Sicl10YR2/2, Sil10YR6/1 ~1cm大ブロック 30~40% 中-軟 中-密。

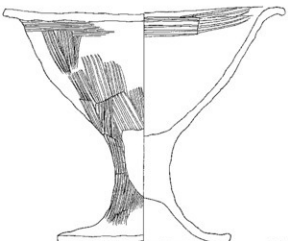
SD-233
A1: Sicl10YR3/2, Sil10YR5/6 粒~1cm大ブロック 20~25% 中-硬 密 ~0.2cm大白色粒やや多く含。
B1: Sicl10YR3/2, Sil10YR5/6 1~5cm大ブロック 40~50% 中-軟 中-密 ~0.2cm大白色粒微量に含。

SD-234
A1: Sicl10YR3/2, Sil10YR5/6 粒~1cm大ブロック 20~25% 中-硬 密 ~0.2cm大白色粒やや多く含。
B1: Sicl10YR3/2, Sil10YR5/6 1~5cm大ブロック 40~50% 中-軟 中-密 ~0.2cm大白色粒微量に含。

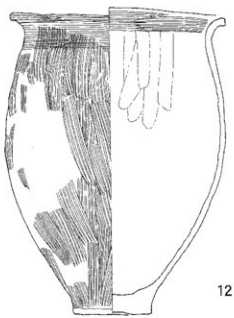
SD-225
A1: Sicl10YR3/2, Sil10YR5/6 粒~2cm大ブロック 40~50% 中-硬 中-密 ~0.2cm大白色粒および2~5cm大レキ少量含。



第32図　方形周溝墓13・14断面図(3)



11

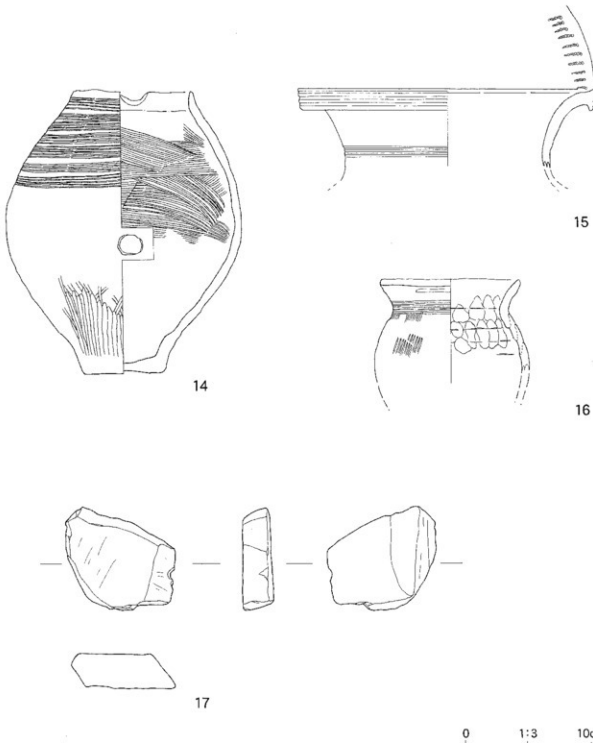


12

13

0 1:3 10cm

第 33 図　方形周溝墓 13(SD202) 出土遺物



第 34 図　方形周溝墓 11・12・14・15・17(SD235・223・221) 出土遺物

(X) 方形周溝墓 15・16

方形周溝墓 15(第 35 ～ 38 図)

位置 調査区南東。 **平面形** 方形。 **軸方向** N49° E。 **規模** 北西 - 南東 13.2m、南西 - 北東 10.5m。 **墳丘規模** 北西 - 南東 9.7m、南西 - 北東 7.9m。**主体部** 隅丸長方形土壙 2 基?。 (SK123-N46° W。) 長軸 2.23m ×短軸 0.88m を測る。 (SK125-N64° E。) 長軸 2.2m ×短軸 0.8 ～ 1.0m を測る。 **陸橋** 南に開口。 **周溝の幅** 0.5 ～ 2.15m。 **深さ** 0.22 ～ 0.6m。 **断面形** 逆台形一部 U 字形。 **溝の共有** SZ14(SD223)・SZ16(SD224)。 **重複関係** SI19・20 に切られる。SZ16(SD224) に切られる。 **掘込面** 削平。 **検出面** VII 層上面。

主体部埋土 (SK123) 深さが 0.19m で、底面はほぼ平坦である。埋土は C ～ E 層の 3 層に分けられ、C1 層は暗褐色土に明黄褐色シルトブロックや礫を含む。D1 層は暗褐色土に明黄褐色シルトブロックを多量に含む。E1 層は明黄褐色シルトに褐灰色粘土ブロックを含む。(SK125) 深さが 0.24m で、底面はやや皿状にくぼむ。埋土は A ～ B 層に分かれ、A1 ～ 2 層は黒褐色土に褐灰色粘土ブロックや礫を含む。B1 層は黒褐色土に黄褐色シルトブロックと礫を含む。

周溝埋土 北西辺の SZ14 と共有する SD223(A-B 断面) は幅が広く、2.6m ほどある。A ～ B 層に分けられ、A1 ～ 2 層は黒褐色土に明黄褐色シルトや多量の礫を含み、橙色の焼土粒を含む。B1 層はにぶい黄褐色土に黄橙色シルトブロックと礫を多量に含む。北東辺の SZ16 と共有する SD224 ① (E-F 断面) および②・③は A ～ C 層に大別されるが、SD224 ①は A ～ B 層で C 層は認められない。A1 ～ 2 層は黒褐色土に褐灰色粘土を含む。B1 ～ 2 層は黒褐色土に褐灰色シルトブロックと礫を多量に含む。同じく北東辺の SD238(I-J 断面) は SD224 に比べて溝幅が 2 倍の 1.8m ほどあり、A ～ B 層に大別され A1 層は黒褐色土ににぶい黄褐色シルトや礫を多量に含む。A2 ～ 3 層は黒褐色土に褐灰色シルトや礫を多く含む。B1 層は黒褐色シルト質埴土に黄褐色砂壌土と礫を多量に含む。南西辺の SD-242 ① (M-N 断面) は B ～ E 層の 4 層に大別され、A 層は SI(竪穴住居跡)20 の埋土である。B1 層は黒褐色土に褐色シルトブロックや礫を多量に含む。C1 層は黒褐色粘土に褐色シルトブロックや礫を含む。D1 層は褐灰色粘土ににぶい黄褐色シルトブロックや礫をやや多く含む。E1 ～ 2 層は黒褐色粘土にオリーブ灰色シルト質埴土や礫を多量に含む。SD-242 ② (O-P 断面) は E ～ G 層の 3 層に大別され、E1 ～ 2 層はにぶい黄褐色土に褐灰色粘土を含む。F1 ～ 2 層は黒褐色土に褐色シルトや礫を含む。G1 層は暗褐色土に黄褐色シルトブロックを含む。

壁の状態 一部壁が崩れて緩く立ち上がる箇所も見られるが、墳丘側の壁の方がきつく立ち上がる。

底の状態 ほぼ平坦。 **出土遺物** 南西辺の SD242 西コーナー部において弥生中期中葉 (III 様式) 頃の土器の壺体部破片 (櫛描直線文による格子目文) や赤彩された高坏の坏部が出土した。北東辺の SD238 からは摩滅した体部破片のみである。

方形周溝墓 16(第 35 ～ 38 図)

位置 調査区南東側。 **平面形** 方形。 **軸方向** N57° E。 **規模** 北西 - 南東 8.3m、南西 - 北東 8.1m。 **墳丘規模** 北西 - 南東 6.8m、南西 - 北東 5.8m。 **主体部** なし。 **陸橋** 北に開口。 **周溝の幅** 0.6 ～ 1.4m。 **深さ** 0.28 ～ 0.34m。 **断面形** 逆台形。 **溝の共有** SZ15(SD224)・SZ17(SD221)。 **重複関係** SZ15(SD238) を切る。 **掘込面** 削平。**検出面** VII 層上面。

埋土 北西辺 SD224 ② (C-D 断面) は A ～ C 層の 3 層に大別され、A1 層は暗褐色土に褐灰色シルトブロックや多量の礫を含む。B1 層は褐灰色土に黄褐色シルトブロックと多量の礫を含む。C1 ～ 2 層は褐灰色土に褐色シルトや礫を多く含む。南西辺・南東辺の SD224 ① (E-F 断面)・SD224 ③ (G-H 断面) は A ～ C 層の 3 層に大別され、A1 ～ 3 層は黒褐色土に褐灰色粘土ブロックと多量の礫を含む。B1 ～ 2 層は黒褐色土に多量の褐灰色シルトブロックと多量の礫を含む。C1 層は明黄褐色シルトに褐灰色シルトを含む。北東辺の

SZ17と共有するSD221は方形周溝墓17で記述。**壁の状態** ややきつく立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦。**出土遺物** 南東辺 SD224 から摩滅した体部破片が数点出土したのみである。

溝 (SD)239(第 36・37 図)

位置 SZ15 の墳丘内東側。 **主軸** N53° E。**規模** **全長** 3.7m ～。**幅** 0.8 ～ 2.05m。**深さ** 0.15m。 **断面形** 逆台形。 **検出面** VII 層上面。 **壁の状態** 緩く立ち上がる。**底の状態** ほぼ平坦。**重複関係** 北東辺 SD238 に切られる。 **埋土** A ～ B 層に分けられ、A1 層は黒褐色土に褐灰色粘土ブロックと多量の礫を含む。B1 層は褐灰色シルトに黒褐色土と礫を含む。 **出土遺物** なし。

土壙 (SK)107(第 36・37 図)

位置 SZ16 の墳丘内東側。 **平面形** 楕円形。 **軸方向** ほぼ SZ16 と同じ。 **規模** 長軸 1.1m、短軸 0.9m。**深さ** 0.37m。 **断面形** U 字形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** なし。 **壁の状態** きつく立ち上がる。**底の状態** やや窪む。 **埋土** A ～ C 層に大別され、A1 層は黒褐色土に褐色シルトを含む。B1 層は黒褐色土に褐灰色シルトや褐色シルトを含む。C1 層は黒褐色土に明黄褐色シルトブロックや明赤褐色の焼土ブロックを含む。 **出土遺物** なし。

土壙 (SK)108(第 36・37 図)

位置 SZ16 の墳丘内中央。 **平面形** 楕円形。 **軸方向** N8° E。 **規模** 長軸 1.2m、短軸 0.9m。 **深さ** 0.23m。 **断面形** U 字形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** なし。 **壁の状態** 緩く立ち上がる。**底の状態** ほぼ平坦。 **埋土** A ～ E 層の 5 層に大別され、A1 層は褐灰色粘土に黄褐色シルトを含む。B1 層は黄橙色シルト質埴土に褐灰色粘土ブロックを含む。C1 層は黒褐色土に浅黄色シルト質埴土を含む。D1 層は B 層に類似。E1 層は褐灰色粘土に黄褐色シルトブロックを含む。 **出土遺物** なし。

土壙 (SK)109(第 36・37 図)

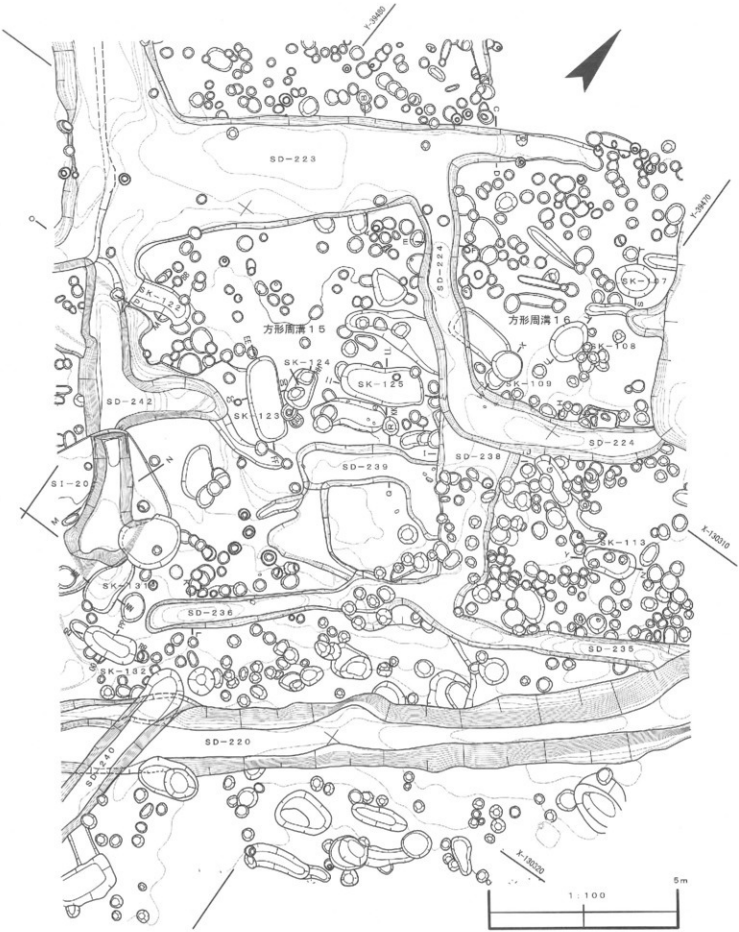
位置 SZ16 の墳丘内南側。 **平面形** 円形。 **規模** 径 0.8m。 **深さ** 0.25m。 **断面形** U 字形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** 長方形土壙を切る。 **壁の状態** 緩く立ち上がる。
底の状態 やや窪む。 **埋土** A ～ B 層に別れ、A1 ～ 2 層は黒褐色土に褐灰色粘土を含む。B1 層はにぶい黄褐色土に褐灰色粘土ブロックを含む。 **出土遺物** なし。

土壙 (SK)113(第 36・37 図)

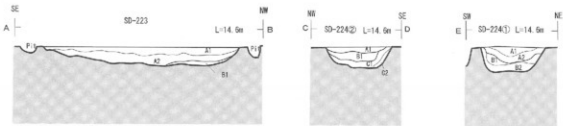
位置 SZ16 の南東側。 **平面形** 長方形。 **軸方向** N67° E。 **規模** 長軸 1.4m、短軸 0.7m。 **深さ** 0.27m。 **断面形** やや逆台形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** なし。 **壁の状態** 緩く立ち上がる。 **底の状態** やや窪む。 **埋土** A ～ B 層に分けられ、A1 ～ 2 層は暗褐色土に褐灰色シルトブロックや礫を含む。A3 層は暗褐色土に褐灰色シルトブロックや黒褐色シルトおよび多量の礫を含む。B1 層は褐灰色粘土に多量の褐色シルトを含む。 **出土遺物** なし。

土壙 (SK)122(第 36・37 図)

位置 SZ15 の墳丘内西コーナー。 **平面形** 長楕円形。 **軸方向** N82° E。 **規模** 長軸 1.5m ～、短軸 0.7m。**深さ** 0.5m。 **断面形** 逆台形。 **検出面** VII 層上面。**重複関係** 南西辺 (SD242) に切られる。 **壁の状態** きつく立ち上がる。**底の状態** 北側が深くなる。 **埋土** A ～ E 層の 5 層に大別され、A1 層はにぶい黄褐色土に褐色シルトや礫を多く含む。B1 層は黒褐色土に褐色シルトや礫を含む。C1 層は黒褐色土に褐灰色シルトブロックを含む。D1 層は褐灰色土に明黄褐色シルトブロックを含む。E1 ～ 3 層は黒褐色土ににぶい黄褐色シルトや褐灰色シルトブロックを含む。**出土遺物** なし。

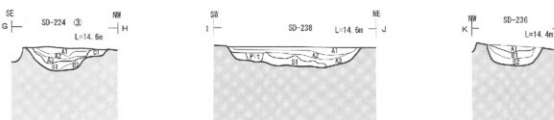


第35図　方形周溝墓15・16平面図



SD-223
A1: Sic1OYR2/2,Si1OYR6/8 ～0.5cm大 10～15% 中-散 中-密 ～0.5cm大白色レキ多量に含，1～3cm大レキやや多く含，Si5YR6/8 0.3cm大橙土粒少量含。
A2: Sic1OYR2/2,Si1OYR6/8 ～0.5cm大 30% 中-散 中-緻 ～0.5cm大白色レキ多量に含，1～5cm大レキやや多く含，Si5YR6/8 0.3cm大橙土粒少量含。
B1: Sic1OYR4/3,Si1OYR7/8 粗～1cm大ブロック 30～40% 散 中-緻 2～5cm大レキやや多く含。

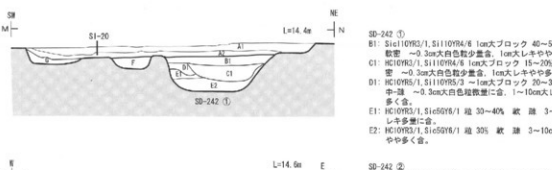
SD-224 ②
A1: Sic1OYR3/3,Si1OYR5/1 軟～1cm大ブロック 30% 中-疎 中-密 ～0.3cm大白色粒やや多く含，2～5cm大レキ多量に含。
B1: Sic1OYR4/1,Si1OYR6/6 0.5～1cm大ブロック 30% 中-散 中-緻 3～5cm大レキ多量に含。
C1: Sic1OYR4/1,Si1OYR4/4 粗 20～30% 中-散 中-密 3～5cm大レキややや多く含。
C2: Sic1OYR4/1,Si1OYR4/4 粗 15% 中-散 中-密 ～1cm大レキややや多く含。



SD-224 ①・③
A1: Sic1OYR3/2,HC1OYR5/1 1cm大ブロック 15% 中-散 中-密 ～0.1cm大白色粒少量含，0.2～0.5cm大レキやや多く含。
A2: Sic1OYR3/2,HC1OYR5/1 1cm大ブロック 20～25% 中-散 中-密 ～0.1cm大白色粒少量含，0.2～0.5cm大レキやや多く含。
A3: Sic1OYR3/2,HC1OYR5/1 1cm大ブロック 40% 散 中-密 ～0.1cm大白色粒微量に含，0.2～0.5cm大レキやや多く含。
B1: Sic1OYR3/2,Si1OYR4/1 粗～1cm大ブロック 50% 軟 疎 0.5～3cm大レキ多量に含。
B2: Sic1OYR3/2,Si1OYR4/1 粗～1cm大ブロック 50～60% 散 中-疎 1～5cm大レキ多量に含。
C1: Si1OYR6/8,Si1OYR5/1 粗 30～40% 中-軟 中-密。

SD-226
A1: Sic1OYR3/2,HC1OYR5/1 0.5～1cm大ブロック 15～20% 散 中-密 ～0.3cm大白色粒やや多く含，2～5cm大レキ少量含。
A2: Sic1OYR3/2,HC1OYR5/1 0.5～1cm大ブロック 20～30% 中-散 中-緻 ～0.5cm大白色粒やや多く含，2～5cm大レキ少量含。
B1: Sic1OYR3/2,Si1OYR5/6 0.5～1cm大ブロック 30% 散 中-緻 1～5cm大レキ少量含。

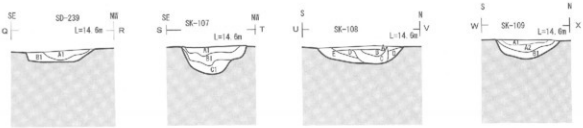
SD-238
A1: Sic1OYR2/2,Si1OYR4/3 粒～0.3cm大 15% 硬 密 ～0.1cm大白色粒多量に含，1～5cm大レキやや多く含。
A2: Sic1OYR2/2,Si1OYR4/1 ～0.5cm大 20% 中-軟 中-密 ～0.1cm大白色粒多量に含，1～5cm大レキやや多く含。
A3: Sic1OYR2/2,Si1OYR4/1 ～0.5cm大 30～40% 中-軟 中-密 ～0.1cm大白色粒少量含，1～5cm大レキ多量に含。
B1: Sic1OYR3/2,SL1OYR5/6 粒～0.5cm大 30% 軟 疎 ～0.5cm大白色レキややや多く含，1～5cm大レキ多量に含。



SD-242 ①
B1: Sic1OYR3/1,Si1OYR4/6 1cm大ブロック 40～50% 中-散密 ～0.3cm大白色粒少量含，1cm大レキやや多く含。
C1: HC1OYR3/1,Si1OYR4/6 1cmブロック 15～20% 中-軟 密 ～0.3cm大白色粒少量含，1cm大レキやや多く含。
D1: HC1OYR5/1,Si1OYR5/3 ～1cm大ブロック 20～30% 軟 中-疎 ～0.3cm大白色粒微量に含，1～10cm大レキやや多く含。
E1: HC1OYR3/1,Sic50Y8/1 粗 30～40% 軟 疎 3～10cm大レキ多量に含。
E2: HC1OYR3/1,Sic50Y8/1 粗 30% 軟 疎 3～10cm大レキややや多く含。

SD-242 ②
E1: Sic1OYR4/3,HC1OYR4/1 ～0.3cm大 20～30% 中-散 中-密 ～0.1cm大白色粒少量含。
E2: Sic1OYR4/3,HC1OYR4/1 ～0.3cm大 30～40% 中-軟 中-密 ～0.1cm大白色粒微量に含。
F1: Sic1OYR3/2,Si1OYR4/6 ～0.3cm大 10% 硬 密 ～0.5cm大白色レキややや多く含，1cmレキ少量含。
F2: Sic1OYR3/2,Si1OYR4/6 ～1cm大ブロック 20～30% 硬 密 ～0.5cm大白色レキおよび1cmレキややや多く含。
G1: Sic1OYR3/3,Si1OYR5/6 0.5～1cm大ブロック 30% 中-軟 中-疎 ～0.3cm大白色粒ややや多く含。

第 36 図　方形周溝墓 15・16 断面図 (1)

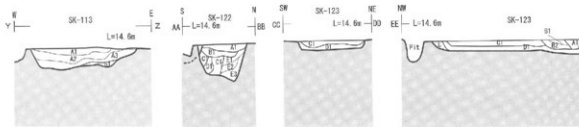


SD-239
A1: Sic10YR3/2,HC10YR5/1 1cm大ブロック 20～25% 中-軟 中-疎 ～0.2cm大白色粒少量含, 3～5cm大レキ多量に含。
B1: Si110YR5/1,Sic10YR3/2 粒～0.2cm大 20% 中-軟 中-疎 ～0.2cm大白色粒少量含, 3～10cm大レキ多量に含。

SK-107
A1: Sic10YR2/2,Si110YR4/4 粒～0.3cm大 15～20% 中-軟 中-密 ～0.2cm大白色粒少量含。
B1: Sic10YR3/2,Si110YR5/1 0.5cm大 20% Sic10YR4/4 0.5cm大 15～20% 軟 中-疎 ～0.2cm大白色粒少量含。
C1: Sic10YR2/2,Si110YR6/6 0.5～1cm大ブロック 20% 軟 疎 2～10cm大レキ少量含, Si15YR5/8 1cm大湯土ブロック少量含。

SK-108
A:Hc10YR4/1,Si110yr5-8 0.5cm大 10-15% 中-軟 中-密 0.5cm大白色硬少-中
B:Sic10YR7/8,Hc10YR5/1-6/1 1-3cm大ブロック 15-20% 軟 中-疎
C:Sic10YR3/1,Sic5Y7/3 粒～0.2cm大 20-25% 中-軟 中-疎 0.3cm大白色硬少-中 1-3cm大硬少
D:焦熱に遠似
E:HC10YR4/1,Si12.5Y5/6 0.5-1cm大ブロック 25-30% 中-軟 中-密 ～0.2cm大白色硬中 1cm大硬少-中

SK-109
A1:Sic110YR3/2,HC10YR5/1 0.5cm大 30% 中-軟
A2:Sic110YR3/2,HC10YR5/1 1cm大 40-50% 中-軟
B1:Sic110YR4/3,HC10YR5/1 1-3cm 20% 中-軟

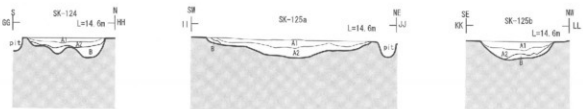


SK-113
A1: Sic10YR3/3,Si110YR5/1 0.5～2cm大ブロック 15～20% 中-軟 中-密 ～0.2cm大白色粒やや多く含, 1cm大レキ少量含。
A2: Sic10YR3/3,Si110YR5/1 0.5～2cm大ブロック 20～25% 中-軟 中-密 ～0.2cm大白色粒少量含, 1～3cm大レキ少量含。
A3: Sic10YR3/3,Si110YR5/1 0.5～2cm大ブロック 30～40% 軟 中-密 ～0.2cm大白色粒少量含, 1～5cm大レキやや多く含, Si110YR3/1 粉 15%。
B1: HC10YR5/1,Si110YR4/6 粒 40～50% 軟 疎 3cm大レキ少量含。

SK-122
A1: Sic10YR4/3,Si110YR4/6 1cm大 30～40% 硬 密 ～0.2cm大レキ少量, 1～3cm大レキやや多く含。
B1: Sic110YR3/1,Si110YR4/4 0.5cm大 20% 硬 中-密 ～0.2cm大レキやや多く含, 1cm大レキ少量含。
C1: Sic10YR3/2,Si110YR4/1 1cm大 40% 中-軟 中-疎 1cm大レキ少量含。
D1: Sic10YR4/1,Si110YR6/6 0.5～1cm大 30～40% 軟 中-疎 ～0.2cm大白色粒少量含。
E1: Sic10YR3/1,Si110YR5/3 0.5cm大 20～30% Si110YR5/1 1cm大 30% 中-軟 中-密。
E2: Sic10YR3/1,Si110YR5/3 0.5cm大 15% Si110YR5/1 1cm大 30～40% 中-軟 中-密。
E3: Sic10YR3/1,Si110YR5/3 0.5cm大 10～15% Si110YR5/1 1cm大 50～60% 軟 中-密。

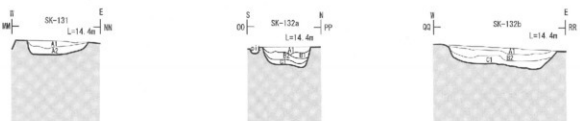
SK-123
A1: Sic10YR3/2,Si110YR5/6 粒～0.5cm大 15～20% 中-軟 中-疎 ～0.2cm大白色粒少量含。
B1: Sic10YR3/2,Si110YR5/6 1cm大ブロック 20% 中-軟 中-密。
B2: Sic10YR3/2,Si110YR5/6 1cm大ブロック 30～40% 中-軟 中-密 ～0.1cm大白色粒および1～2cm大レキ少量含。
C1: Sic10YR3/3,Si110YR6/6 粒～1cm大ブロック 20% 中-硬 中-密 0.1～0.5cm大白色レキやや多く含, 2～3cm大レキ少量含。
D1: Sic10YR3/3,Si110YR6/8 ～2cm大ブロック 50～60% 中-軟 中-密 0.1～0.5cm大白色レキ少量含。
E1: Si110YR6/6～6/8,HC10YR5/1 1～3cm大ブロック 20～30% 中-軟 中-密 0.5cm大白色レキやや多く含。

第 37 図　方形周溝墓 15・16 断面図 (2)



SK-124
A1: Sic110YR3/2,Si110YR5/1 0.5～3cm大ブロック 20% 中-硬 中-密 ～0.3cm白色粒少量含．1～3cm大レキややや多く含．Si15YR5/8 0.5cm大焼土粒少量含．
A2: Sic110YR3/2,Si110YR5/1 0.5～3cm大ブロック 30～40% 中-硬 中-密 ～0.3cm白色粒少量含．1～3cm大レキややや多く含．Si15YR5/8 0.5cm大焼土粒少量含．
B1: Sic110YR3/2,Si110YR5/6 1～5cm大ブロック 30% 中-軟 中-疎 3～5cm大レキややや多く含．

SK-125
A1: Sic110YR3/2,HC10YR5/1 0.5～1cm大ブロック 15～20% 中-軟 中-密 ～0.3cm大白色粒ややや多く含．3～5cm大レキ少量含．
A2: Sic110YR3/2,HC10YR5/1 0.5～1cm大ブロック 20～30% 中-軟 中-密 ～0.5cm大白色粒およびA3～5cm大レキややや多く含．
B1: Sic110YR3/2,Si110YR5/6 0.5～1cm大ブロック 30% 軟 中-疎 1～5cm大レキ少量含．



SK-131
A1: Sic110YR3/3,HC10YR5/1 1～2cm大 30～40% 疎 密 ～0.2cm大白色粒およびA2～5cm大レキややや多く含．
A2: Sic110YR3/3,HC10YR4/1 ～0.5cm大 20% 中-疎 中-密 ～0.2cm大白色粒ややや多く含．2～5cm大レキ少量含．

SK-132
A1: Sic110YR4/1,Si110YR3/4 粒～塊 20% 中-軟 密 ～0.2cm大白色粒少量含．1cm大レキややや多く含．
B1: HC10YR4/1,Si110YR4/6 0.5cm大 30% 軟 中-疎 0.3～1cm大レキ少量含．
B2: HC10YR4/1,Si110YR4/6 1cm大 30～40% 中-軟 中-密 0.5cm大レキ少量含．
C1: HC10YR3/1,Si110YR8/8 0.5～1cm大 40% 軟 中-密 ～0.3cm大レキ少量含．

第 38 図　方形周溝墓 15・16 断面図 (3)

土壙 (SK)124(第 36・38 図)

位置 SZ15の墳丘内中央。**平面形** 方形。**軸方向** N12° W。**規模** 長軸1.1m、短軸0.7m。**深さ** 0.25m。**断面形** 不整形。**検出面** VII 層上面。**底の状態** 凹凸が顕著。**埋土** A～B 層に分けられ、A1～2 層は黒褐色土に褐灰色シルトブロックや明赤褐色の焼土粒、多量の礫を含む。B1 層は黒褐色土に黄褐色シルトブロックや礫を多く含む。
出土遺物 体部外面にタタキ調整を施した甕や蓋壺の破片が出土している。

土壙 (SK)131(第 36・38 図)

位置 SZ15 の陸橋部。**平面形** 長楕円形。**軸方向** N11° E。**規模** 長軸 1.6m ～、短軸 0.9m。**深さ** 0.18m。**断面形** 逆台形。**検出面** VII 層上面。**重複関係** 南西辺 (SD242) や SK に切られる。**壁の状態** ややきつく立ち上がる。**底の状態** ほぼ平坦。**埋土** A 層の単層で A1～2 層は暗褐色土に褐灰色粘土や礫を含む。**出土遺物** なし。

土壙 (SK)132(第 36・38 図)

位置 SZ15 の陸橋部南側。 **平面形** 長楕円形。 **軸方向** N81° E。 **規模** 長軸 1.45m、短軸 0.7m。 **深さ** 0.28m。 **断面形** 逆台形。 **検出面** VII 層上面。 **壁の状態** きつく立ち上がる。 **底の状態** 北・東側がやや深くなる。 **埋土** A ～ C 層の 3 層に大別され、A1 層は褐灰色土に暗褐色シルトブロックや礫を含む。B1 ～ 2 層は褐灰色粘土に褐色シルトを含む。C1 層は黒褐色粘土に黄褐色シルトブロックを含む。 **出土遺物** なし。

(XI) 方形周溝墓 17

方形周溝墓 17(第 34・39 ～ 41 図)

位置 調査区中央東側。 **平面形** 方形。 **軸方向** N60° E。 **規模** 北東 - 南西 8.3m、北西 - 南東 8.0m。 **墳丘規模** 北東 - 南西 6.0m、北西 - 南東 5.5m。 **主体部** なし。 **陸橋** 北および南東に開口。 **周溝の幅** 0.7 ～ 1.7m。 **深さ** 0.23 ～ 0.64m。 **断面形** (A-B 断面)・(C-D 断面)・(I-J 断面)逆台形。(E-F 断面)V 字形。(G-H 断面)U 字形。 **溝の共有** SZ16(SD221)。南東辺の SD219 は SZ17 と軸方向を同じくし、SD221 に 1m の間をあけて並走している。SZ17 の南西辺から延びてくる SD221 が南で屈曲して短く北東に延びる。このため南東辺側が 4.8m と大きく開口する。この大きく開いた空間と 1m あけて並走する溝の空間は墓道としての機能が考えられる。 **重複関係** SZ19(SD221)・23(SD205)に切られる。SZ16(SD224)に取り付く。

掘込面 削平。 **検出面** VII 層上面。

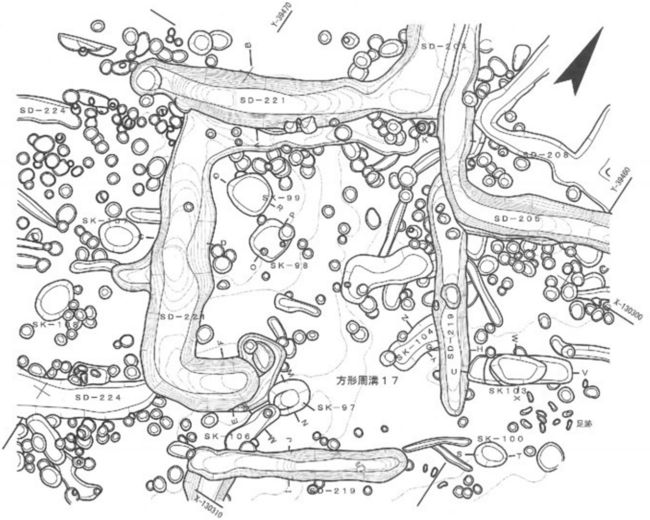
埋土 北西辺 SD-221 ① (A-B 断面)は A ～ I 層の 9 層に大別できるが、A ～ E 層までは SZ19 の埋土である。(SZ19 で記載。)したがって、F ～ I 層の 4 層が該当する。F1 層は黒褐色土に褐灰色粘土ブロックを多く含む。G1 層は黒褐色土に黄色シルトと褐灰色粘土ブロックを含む。H1 ～ 2 層は黒色土に明黄褐色シルトブロックと灰白色粘土ブロックを含む。I1 層は黒色土に明黄褐色シルトブロックと灰白色粘土ブロックを含み、橙色の焼土を含む。南西辺 SD-221 ② (C-D 断面)は A ～ B 層に分けられ、A1 ～ 2 層は黒褐色土に褐灰色粘土ブロックと礫を含む。B1 ～ 3 層は暗褐色土に褐灰色粘土ブロックと多量の礫を含む。さらに B1・B3 層は明黄褐色砂壌土を少量含む。南東辺 SD-221 ③ (E-F 断面)は断面形が唯一 V 字形を呈する箇所で、A ～ E 層の 5 層に大別され 9 層に細分される。A1 ～ 5 層は黒色土に灰黄褐色シルトと褐灰色粘土ブロック、多量の礫を含み、さらに A1 ～ 2 層は黄橙色の焼土を少量含む。B1・C1 層は黒褐色土に灰黄褐色粘土ブロックや礫を含む。D1 層は褐灰色粘土に黒色粘土と褐色シルトを含む。E1 層は灰黄褐色砂壌土ににぶい黄褐色シルトと礫を多量に含む。北東辺 SD-219 ① (G-H 断面)と南東辺 SD219(I-J 断面)は埋土が類似しており、A ～ C 層の 3 層に大別される。A1 ～ 2 層は黒褐色土に黄褐色シルトや礫を含む。B1 層は黒褐色土に黄褐色シルトと褐灰色粘土、炭化物を含む。C1 層は褐灰色シルトに黄褐色シルトを多く含む。

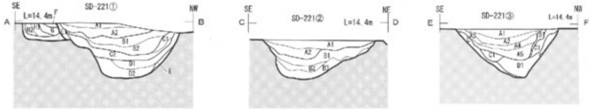
壁の状態 きつく立ち上がる。 **底の状態** 所々でややくぼむ。

出土遺物 南東辺 SD219 から弥生土器で指頭圧痕による波状口縁が施された広口壷、体部破片が出土している。SD221 南コーナーからは赤彩された壷の体部破片が出土している。 **その他** 北側陸橋部は 0.8m の幅がある。

土壙 (SK)97(第 39・40 図)

位置 SZ17 の墳丘内南東辺。 **平面形** 楕円形。 **軸方向** N38° E。 **規模** 長軸 1.1m、短軸 0.85m。 **深さ** 0.22m。 **断面形** 逆台形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** SK106 に切られる。 **壁の状態** ゆるく立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦。 **埋土** A ～ B 層に分けられ、A1 層は黒褐色土に黄褐色シルトを含み、赤褐色の焼土と多量の礫を含む。B1 層は黒褐色土に褐灰色シルトブロックや礫を含み、明赤褐色の焼土ブロックや土器を含む。 **出土遺物** 弥生土器の口縁部や体部破片が出土しているが、時期は不明である。





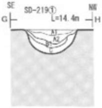
SD-221 ①
A1: Sicl10YR2/2, Sil10YR4/4 粒 10% Sil10YR6/2 1cm大ブロック 20% 中-軟 中-密 ~0.1cm大白色粒少量含。
A2: Sicl10YR2/2, Sil10YR4/4 粒 15~20% Sil10YR6/2 1cm大ブロック 30% 中-軟 中-密 ~0.1cm大白色粒やや多く含, 1cm大レキ少量含。
B1: Sicl10YR3/2, Sil10YR5/4 粒 20~30% HC10YR6/1 1cm大ブロック 15~20% 軟 中-密 1~3cm大レキやや多く含。
B2: Sicl10YR3/2, Sil10YR5/4 粒 10% HC10YR6/1 1cm大ブロック 20~30% 軟 中-密 1~3cm大レキ少量含。
C1: Sicl10YR3/3, Sil10YR5/4 粉~粒 15~20% HC10YR6/1 1~5cm大ブロック 20% 軟 中-疎。
C2: Sicl10YR3/3, Sil10YR5/6 粉~粒 10% HC10YR6/1 1~3cm大ブロック 30~40% 軟 中-密 ~1cm大レキやや多く含。
D1: Sicl10YR2/1, HC10YR4/1 20% Sil10YR5/8 粒~0.5cm大 10% 軟 中-密 ~0.3cm大白色粒および2~3cm大レキ少量含。
D2: Sicl10YR2/1, HC10YR4/1 40% Sil10YR5/8 粒~0.5cm大 10% Sil5Y6/2 粒~0.2cm大 30% 軟 中-疎 3~5cm大レキ少量含。
E1: Sicl10YR4/2, Sil5Y7/4 粒~1cm大ブロック 20~30% 中-軟 中-疎 HC10YR6/1 0.5cm大 20~30%含。
F1: Sicl10YR3/2, HC10YR5/1 1cm大ブロック 30~40% 軟 密。
G1: Sicl10YR2/2, Sil2.5Y8/8 粒~0.5cm大 15% HC10YR6/1 1cm大ブロック 30% 中-硬 中-密 ~0.2cm大白色粒少量含。
H1: Sicl10YR2/1, Sil2.5Y7/6 ~1cm大ブロック 15~20% HC10YR7/1 1cm大ブロック 30% 中-硬 中-密 ~0.2cm大白色粒やや多く含。
H2: Sicl10YR2/1, Sil2.5Y7/6 ~3cm大ブロック 10~15% HC10YR7/1 1cm大ブロック 20~25% 中-軟 中-密 ~0.2cm大白色粒少量含。
I1: Sicl10YR2/1, Sil2.5Y7/6 0.5~3cm大ブロック 40~50% HC10YR7/1 1cm大ブロック 10~15% 軟 疎 Sil2.5YR6/8 0.5cm大焼土粒少量含。

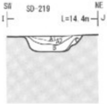
SD-221 ②
A1: Sicl10YR2/2, HC10YR5/1 0.5~1cm大ブロック 40% 中-軟 中-密 ~0.3cm大白色粒および1~3cm大レキ多量に含。
A2: Sicl10YR2/2, HC10YR5/1 0.5~1cm大ブロック 20~30% 中-軟 中-疎 ~0.3cm大白色粒少量含, 1cm大レキやや多く含。
B1: Sicl10YR3/3, HC10YR4/1 1cm大ブロック 20% 中-軟 中-疎 ~0.2cm大白色粒少量含, 1~5cm大レキ多量に含, SL2.5Y6/8 粒 5%含。
B2: Sicl10YR3/2, HC10YR4/1 1cm大ブロック 10~15% 中-軟 疎 ~0.2cm大白色粒少量含, ~1cm大レキやや多く含。
B3: Sicl10YR3/2, HC10YR5/1 1cm大ブロック 10% 軟 疎 SL2.5Y7/6 粒~0.2cm大 15% 2~3cm大レキやや多く含。

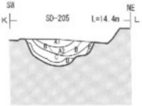
※断面図は1：50

第39図　方形周溝墓17平・断面図

SD-221 ③
A1: Sicl10YR2/1, Sil10YR4/2 粒 15~20% HC10YR5/1 1cm大ブロック 10% 中-硬 中-密 0.2~0.5cm大白色レキおよび2~5cm大レキ多量に含。Sil7.5YR7/8 0.5cm大焼土粒少量含。
A2: Sicl10YR2/1, Sil10YR4/2 粒 5~7% HC10YR5/1 1~3cm大ブロック 30% 中-軟 中-密 0.2~0.5cm大白色レキやや多く含。1cm大レキ多量に含。Sil7.5YR7/8 0.2cm大焼土粒少量含。
A3: Sicl10YR2/1, Sil10YR4/2 粒 30% HC10YR5/1 1cm大ブロック 15% 中-軟 中-密 0.2~0.5cm大白色レキおよび1cm大レキ少量含。
A4: Sicl10YR2/1, Sil10YR4/2 粒 5% HC10YR5/1 1~3cm大ブロック 20~30% 軟 中-密 0.2~0.5cm大白色レキおよび1~3cm大レキ少量含。
A5: Sicl10YR2/1, Sil10YR4/2 粒 2% HC10YR5/1 1~3cm大ブロック 30~40% 軟 中-疎。
B1: Sicl10YR3/2, HC10YR5/2 1~5cm大ブロック 30% 軟 密 ~0.3cm大白色粒やや多く含。1~2cm大レキ少量含。
C1: Sicl10YR2/2, HC10YR6/2 1~5cm大ブロック 15% 中-軟 密 0.5cm大白色レキ少量含。
D1: HC10YR4/1, HC10YR2/1 粉 20% Sil10YR4/6 粒 20% 軟 密 ~0.5cm大白色レキ少量含。
E1: SL10YR5/2, Sic10YR5/4 粒~0.2cm大 40% 軟 疎 1~10cm大レキ多量に含。

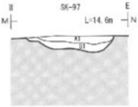


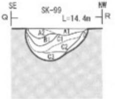


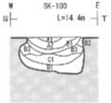


SD-219①
A1:Sicl10YR2/2, Sil10YR5/6 ~0.3cm大20% 中-軟 中-密 1cm大礫少
A2:Sicl10YR2/2, Sil10YR5/6 ~0.3cm大10-15% 中-軟 中-密 1-3cm大礫少 Ⅲ~Ⅳ様式対応層
B1:Sicl10YR2/3, Sil10YR5/8-5/6 粒~0.5cm大20-30% 軟 中-疎 HC10YR5/1 0.5-1cm大 15% 0.2cm大カーボン粒少
C1:Sil10YR5/1, Sil10YR5/8 0.3-1cm大 30-40% 中-軟 中-密

SD-205
A1:Sicl10YR3/2, Sil10YR5/4 粒 20-30% HC10YR6/1 1-5cm 15-20% 中-軟
A2:Sicl10YR3/2, Sil10YR5/4 粒 15% HC10YR6/1 1-5cm5% 軟
B1:Sicl10YR3/2, Sil10YR5/4 粒 5% HC10YR6/1 1-5cm 30% 軟
C1:Sicl10YR2/1, Sil10YR5/4 粒 10% 中-軟 中-疎 ~0.1cm白色粒少 1cm大礫少
D1:Sicl10YR2/1, HC10YR6/1 ~5cm大 20% 軟 中 3-5センチ大礫少
E1:Sicl2.5Y7/3, Sicl10YR3/2 ~0.5cm大 50% 軟 中(壁崩落土)







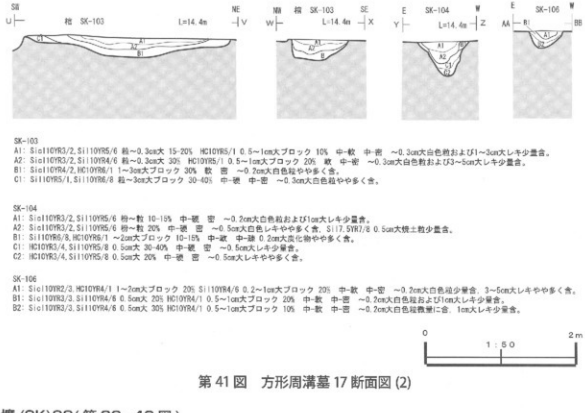
SK-97
A:Sicl10YR2/2, Sil10YR5/6 0.5cm大 15% 0.1-0.3cm大白色礫中 Sil5YR4/8 2cm大焼土中 2-3cm大礫中-多
B:Sicl10YR2/2, Sil10YR5/1 0.5-1cm大ブロック 30% 中-軟 中-疎 0.1-0.3cm大白色礫少 Sil5YR5/8 1cm大少 土器出土。

SK-98
A1:Sicl10YR2/2, Sil10YR5/8 0.3-1cm大ブロック 20% 中-軟 中-密 0.1-0.3cm大白色粒やや多く含。0.5cm大炭化物少量含。Sil5YR5/8 0.5cm大焼土粒少量含。
A2:Sicl10YR2/2, Sil10YR6/8 0.3-1cm大ブロック 20-30% 中-軟 中-密 0.1cm大白色粒および1cm大炭化物少量含。
B1:HC10YR6/1, Sicl10YR2/2 1cm大ブロック 20% 中-軟 密 0.1~0.3cm大白色粒やや多く含。
C1:Sicl10YR2/2, Sil10YR6/6 0.3~1cm大ブロック 10-15% 中-軟 中-疎 焼土粒少量含。
D1:Sicl10YR2/2, Sil10YR5/6 粒 40-50% 軟 中-疎。

SK-99
A1:Sicl10YR2/2, Sil10YR5/1 0.5-1cmブロック 30% 中-軟 中-密 0.1-0.3cm大白色粒多量に含。Sil5YR5/8 焼土粒少量含。
A2:Sicl10YR2/2, Sil10YR5/1 0.5-1cmブロック 15-20% 中-軟 中-密 0.1-0.5cm大白色礫やや多く含。
B1:HC10YR6/1, Sicl10YR3/3 粒 30-40% 0.1-3cm大白色粒やや多く含。 中-軟 中-密。
C1:Sicl10YR3/2, Sil10YR5/1 粒~3cm大ブロック 15% 中-硬 密 ~0.1cm大白色礫および0.5cm大炭化物やや多く含。
C2:Sicl10YR3/2, Sil10YR5/1 粒~3cm大ブロック 30-40% 中-軟 中-密 0.1~0.3cm大白色粒少量含。
C3:Sicl10YR3/2, Sil10YR5/1 粒~3cm大ブロック 20-30% 中-軟 中-疎
D1:Sicl10YR7/6, Sicl10YR4/1 粒 20-25% Sil10YR4/4 粒 15-20% 中-軟 中-疎。

SK-100
A1: Sicl10YR3/2, Sil10YR6/2 粒 20-30% 軟 中-疎 5cm大レキおよび土器少量出土。
A2: Sicl10YR3/2, Sil10YR6/2 粒 40% 中-軟 中-密 ~0.2cm大白色粒やや多く含。
B1: HC10YR3/3, Sil10YR6/1 粒~1cm大ブロック 30-40% 中-軟 中-疎 ~0.3cm大白色粒および1cm大炭化物やや多く含。
B2: HC10YR3/3, Sil10YR6/1 粒~1cm大ブロック 15% 中-軟 中-疎。
B3: HC10YR3/3, Sil10YR6/1 粒~1cm大ブロック 25% SL10YR6/2 粒~0.5cm大レキおよび2cm大ブロック 20-30% 中-軟 中-疎 Sil5YR5/8 1cm大焼土ブロック少量含。
C1: HCN4/0, Sil10YR3/3 ~0.5cm大 40-50% 中-軟 密 ~5cm大レキ少量含。
D1: HCN4/0, Sil10YR7/2 0.5~5cm大ブロック 10-15% 軟 密 土器出土。

第40図 方形周溝墓17断面図



第 41 図　方形周溝墓 17 断面図 (2)

土壙 (SK)98(第 39・40 図)

位置 SZ17 の墳丘内中央。 **平面形** 方形。 **軸方向** N9° E。 **規模** 長軸 1.1m、短軸 0.95m。 **深さ** 0.14～0.37m。 **断面形** 逆台形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** なし。 **壁の状態** 緩く立ち上がる。 **底の状態** 長軸方向の両端にピットを持つ。 **埋土** A～D 層の 4 層に大別され、A1～2 層は黒褐色土に黄褐色～明黄褐色シルトブロックや炭化物を含む。A1 層は明赤褐色の焼土粒も含む。B1 層は褐灰色粘土に褐色シルトを多く含む。C1 層は黒褐色土に明黄褐色シルトブロックや焼土粒を含む。D1 層は黒褐色土に黄褐色シルトを多量に含む。 **出土遺物** 赤彩された器台や壺の体部破片が出土しているが、時期は不明である。

土壙 (SK)99(第 39・40 図)

位置 SZ17 の墳丘内西コーナー。 **平面形** 不整楕円形。 **軸方向** 不明。 **規模** 長軸 1.2m、短軸 1.1m。 **深さ** 0.44m。 **断面形** U 字形。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** なし。 **壁の状態** きつく立ち上がる。 **底の状態** ややくぼむ。 **埋土** A～C 層の 3 層に大別され、A1～2 層は黒褐色土に褐灰色シルトブロックを含む。A1 層は明赤褐色の焼土粒、A2 層は礫を含む。B1 層は褐灰色粘土に暗褐色土を多く含む。C1～3 層は黒褐色土に褐灰色シルトブロックを含む。D1 層は明黄褐色土に褐灰色土や褐色シルトを含む。 **出土遺物** なし。

土壙 (SK)100(第 39～41 図)

位置 SZ17 の墳丘外東側陸橋部。 **平面形** 楕円形。 **軸方向** N69° E。

規模 長軸 0.87m、短軸 0.68m。 **深さ** 0.5m。 **断面形** 箱形もしくは袋状。 **検出面** VII 層上面。 **重複関係** なし。 **壁の状態** 直壁。 **底の状態** ほぼ平坦。 **埋土** A～D 層の 4 層に大別され、A1～2 層は黒褐色土に灰黄褐色シルトを含む。A1 層は礫および土器を少量含む。B1 層は暗褐色粘土に褐灰色シルトブロックや炭化物をやや多く含む。B2 層は暗褐色粘土に褐灰色シルトブロックを含む。B3 層は暗褐色粘土に褐灰色シルトブロックや灰黄褐色砂壌土、明赤褐色の焼土ブロックを含む。C1 層は灰色粘土に多量の暗褐色シルトや礫を含む。D1 層は灰色粘土ににぶい黄橙色シルトブロックや土器を含む。 **出土遺物** 弥生時代中期中葉～後葉 (III～IV 様式) 頃の定型化した「く」の字口縁の甕や体部破片が出土している。

方形周溝墓 18(第 42 ～ 44 図)

位置 調査区北東側。 **平面形** 長方形。 **軸方向** N80° E。 **規模** 南北 8.9m、東西 6.7m。 **墳丘規模** 南北 7.0m、東西 4.9m。 **主体部** なし。 **陸橋** 北東に開口。 **周溝の幅** 0.4 ～ 1.2m。 **深さ** 0.3 ～ 0.68m。 **断面形** (A-B 断面)・(E-F 断面)U 字形。(C-D 断面)V 字形。 **溝の共有** SZ19(SD204)。 **重複関係** SD521(中世大溝)に切られる。 **掘込面** 削平。**検出面** VII 層上面。

埋土 北辺 SD-215(A-B 断面)は A ～ B 層に分けられ、A1 ～ 2 層は黒褐色土に灰黄褐色シルト質埴土を含む。B1 層は褐灰色シルト質埴土ににぶい黄橙色砂壌土を多く含む。東辺 SD-198(C-D 断面)は SZ19(SD204)から続く溝で A ～ C 層の 3 層に大別される。A1 ～ 2 層は黒褐色土に灰黄褐色土や礫を含む。B1 ～ 3 層はにぶい黄褐色土に暗灰黄褐色シルト質埴土や礫を多量に含む。C1 ～ 2 層は灰黄褐色に暗灰黄色砂壌土や礫を多量に含む。西辺 SD199(E-F 断面)は A ～ B 層に分けられ、A1 ～ 2 層は黒色土に暗褐色シルトや微量の礫を含む。B 層は黒褐色土が主体で、B1 ～ 3 層は暗褐色シルト、B4 層は褐色シルト、B5 は明黄褐色シルトや礫を含む。さらに B1 層は明赤褐色の焼土粒を少量含む。

壁の状態 北・西辺はほぼ直壁、南・東辺もきつく立ち上がる。**底の状態** ほぼ平坦。

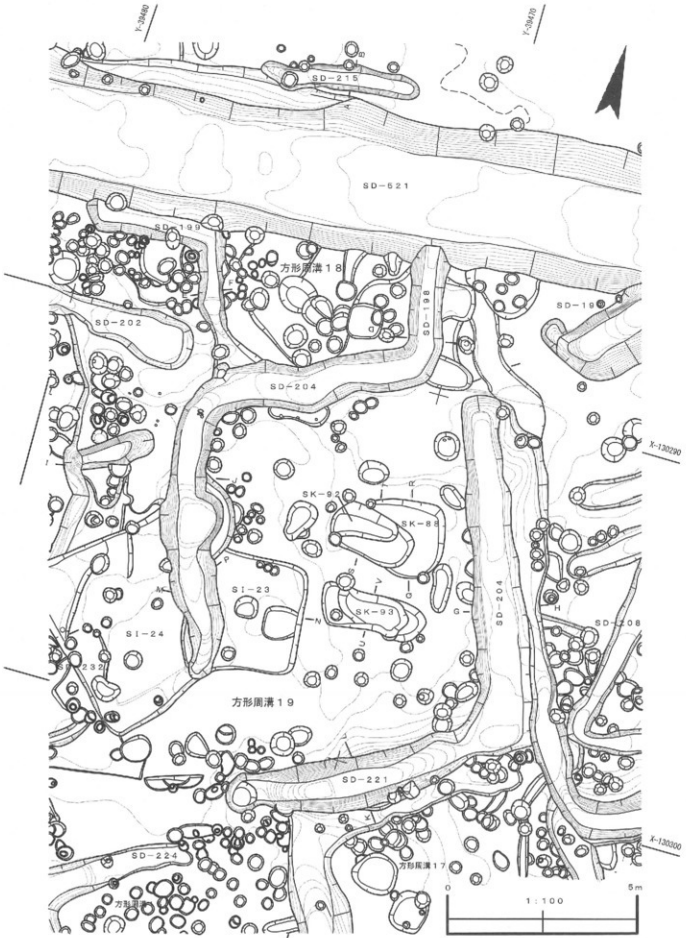
出土遺物 東辺 SD198 北側から赤彩された壺の体部破片が出土している。同じく西辺の SD199・南辺の SD204 からも赤彩された壺の体部破片が出土している。時期はいずれも不明である。

方形周溝墓 19(第 42 ～ 44 図)

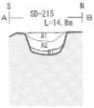
位置 調査区北東部。 **平面形** 長方形。 **軸方向** N66° E。 **規模** 南北 11.8m、東西 9.1m。 **墳丘規模** 南北 9.1m、東西 6.8m。 **主体部** 隅丸長方形土壙 2 基?。 (SK92-N102° E。) 長軸 2.23m ×短軸 1.23m を測る。(SK93-N92° E。) 長軸 2.35m ×短軸 0.9 ～ 1.15m を測る。 **陸橋** 北(幅 1.1m。)・南(幅 2.7m)に開口。 **周溝の幅** 0.9 ～ 1.35m。 **深さ** 0.4 ～ 0.68m。 **断面形** (G-H 断面)・(K-L 断面)逆階段状。(M-N 断面)・(O-P 断面)逆台形。(I-J 断面)U 字形。 **溝の共有** SZ18(SD204)。 **重複関係** SZ17(SD221)・22(SD205)・23(SD224)を切る。SI23・24 に切られる。 **掘込面** 削平。**検出面** VII 層上面。

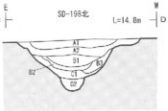
主体部埋土 (SK92)は深さが北側で階段状に深くなり、南側が 0.23m に対して、北側が 0.54m を測る。底面はほぼ平坦で、断面形は逆台形を呈する。埋土は A ～ C 層の 3 層に分けられ、A1 ～ 2 層は黒色土に灰黄褐色粘土ブロックを含む。A3 層は黒色土に褐灰色粘土ブロックを含む。B1 層は黒褐色土に褐灰色粘土ブロックを多く含み、礫を少量含む。B2 層は黒褐色土に灰黄褐色粘土ブロックを含む。C1 層は黒褐色土に灰黄褐色砂壌土を多量に含む。 (SK93)は深さが 0.4m で、底面はやや皿状にくぼむ。埋土は A ～ D 層の 4 層に大別され、A1 ～ 2 層は黒褐色土に褐灰色粘土ブロックを含む。B1 ～ 2 層は黒色土に灰黄褐色粘土ブロックを含む。C1 層は灰黄褐色粘土に黒褐色シルト質埴土を含む。D1 層は黒褐色土に褐灰色粘土ブロックや礫を含む。

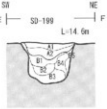
周溝埋土 東辺 SD-204 ①(G-H 断面)は A ～ C 層の 3 層に大別され、A1 ～ 2 層は黒褐色土に灰黄褐色シルトや礫を含む。B1・C1 層は灰黄褐色シルトに褐灰色粘土ブロックや礫を多量に含む。C2 層は黒褐色土ににぶい黄橙色粘土ブロックや多量の礫を含む。西辺 SD-204 ②(I-J 断面)は A ～ F 層の 6 層に大別され、A1 層は黒褐色粘土に褐色シルトや礫を含む。B1 ～ 3 層は黒色粘土に灰黄褐色シルト質埴土や礫を含む。C1 ～ 3 層は黒色粘土に明黄褐色シルトや礫を含み、C2 層に褐灰色粘土を含む。D1 層は黒褐色シルト質埴土ににぶい黄橙色砂質土や礫を多量に含む。E1 層はオリーブ黄色シルト質埴土に黒褐色ブロック土と多量の礫を含む。F1 層は黒褐色土に黄褐色シルトや礫、炭化物を含む。南辺 SD-221 ①(K-L 断面)は A ～ E 層の 5 層に大別され、7 層に細分される。A1 ～ 2 層は黒褐色土に褐色シルトと灰黄褐色シルトブロックを含む。B1 ～ 2 層は黒褐色土ににぶい黄褐色シルトと褐灰色粘土ブロックを含む。C1 層は暗褐色土ににぶい黄褐色シルトと褐灰色粘土ブロックを含む。C2 層は暗褐色土に黄褐色シルトと多量の褐灰色粘土ブロック、礫を含



第 42 図　方形周溝墓 18・19 平面図



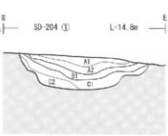


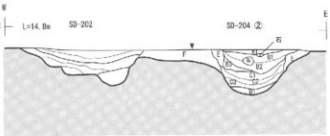


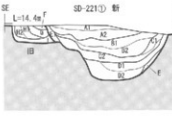
SD-215
A1: Sic110YR3/2,Sic10YR4/2 粒 20-25% 中-硬 中-緻 ～0.5cm大白色レキ多量に含。
A2: Sic110YR3/2,Sic10YR4/2 粒 30-40% 中-硬 中-緻 ～0.3cm大白色礫やや多く含。
B1: Sil10YR4/1,SL10YR7/3 粒～0.3cm大 40% 中-軟 締。

SD-198
A1: Sic110YR3/1,Sic110YR4/2 粒 20% 軟 緻 ～0.1cm大白色粒やや多く含、～1cm大レキ少量含。
A2: Sic110YR3/1,Sic110YR4/3 粒 30-40% 軟 中-緻 ～0.3cm大白色粒および1～3cm大レキやや多く含。
B1: Sic110YR4/3,Sic2.5Y5/2 粒～粒 20% 軟 中-緻 1～3cm大レキやや多く含、粘土含。
B2: Sic110YR4/3,Sic2.5Y5/2 粒～粒 60% 軟 緻 1～3cm大レキ多量に含、粘土含。
B3: Sic110YR4/3,Sic2.5Y5/2 細 30% 軟 中-緻 ～1cm大レキやや多く含、粘土含。
C1: Sil10YR4/2,SL2.5Y5/2 細 40-50% 軟 緻 ～3cm大レキ多量に含。
C2: Sil10YR4/2,SL2.5Y5/2 細 10-15% 軟 緻 3～5cm大レキ多量に含。

SD-199
A1: Sic110YR2/1,Sil10YR3/4 粒 15% 中-軟 中-緻 ～0.5cm大白色レキやや多く含。
A2: Sic110YR2/1,Sil10YR3/4 粒 25-30% 軟 中-密 ～0.5cm大白色レキ微量に含。
B1: Sic110YR2/2,Sil10YR3/4 ～0.5cm大 30% 中-軟 中-緻 Sil5YR5/6 0.5cm大焼土粒少量含。
B2: Sic110YR2/2,Sil10YR3/4 ～0.5cm大 15% 中-軟 中-緻 ～0.5cm大レキ多量に含。
B3: Sic110YR2/2,Sil10YR3/4 ～0.5cm大 5-10% 中-硬 中-密 ～0.5cm大レキ多量に含。
B4: Sic110YR2/2,Sil10YR4/6 ～0.5cm大 30% 軟 緻 ～0.3cm大レキやや多く含。
B5: Sic110YR2/2,Sil10YR6/8 ～0.5cm大 60% 中-軟 中-緻。





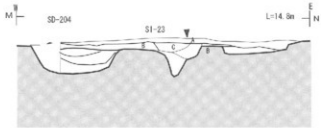


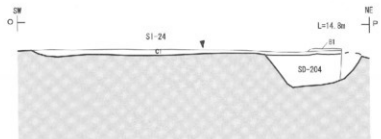
SD-204 ①
A1: Sic110YR3/2,Sil10YR5/2 粒 30% 軟 中-緻 0.5～1cm大レキ少量含。
A2: Sic110YR3/2,Sil10YR5/2 粒 40-50% 軟 中-緻 0.5～1cm大レキやや多く含。
B1: Sil10YR4/2,HC10YR6/1 1～2cm大ブロック 40% 軟 中-緻 1～3cm大レキ多量に含。
C1: Sil10YR4/2,HC10YR6/1 1～2cm大ブロック 20-30% 軟 中-緻 1～3cm大レキ多量に含。
C2: Sic110YR3/2,HC10YR7/2 0.5～1cm大ブロック 20% 軟 緻 3～5cm大レキ多量に含。

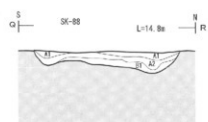
SD-204 ②
A1: HC10YR3/1,Sil10YR4/4 粒 30% 中-軟 密 1～5cm大レキ少量含。
B1: HC10YR3/1,Sic10YR4/2 粒 30% 中-軟 中-密 2～10cm大レキ少量含。
B2: HC10YR3/1,Sic10YR4/2 粒 10% 軟 中-密 2～3cm大レキやや多く含。
B3: HC10YR2/1,Sic10YR4/2 粒 15～20% 軟 中-密。
C1: HC10YR2/1,Sil10YR6/8 粒 15～20% 軟 中-緻 ～0.5cm大白色レキ少量含。
C2: HC10YR2/1,Sil10YR6/8 粒 10% 軟 中-緻 ～1cm大白色レキ少量含。HC10YR5/1 3～10cm大ブロック 20%含。
C3: HC10YR2/1,Sil10YR6/8 粒 5～10% 軟 中-緻 ～1cm大白色レキ少量含。
D1: Sic10YR3/1,SL10YR6/4 粒～0.2cm大 60% 軟 緻 1～2cm大レキ多量に含。
E1: Sic5Y5/3,Sic10YR3/1 0.5～1cm大ブロック 30% ～0.3cm大白色レキおよび0.5cm大レキ多量に含。
F1: Sic110YR2/2,Sil10YR5/6 粒～0.5cm大 50～60% 中-硬 中-密 ～0.3cm大白色レキ多量に含。1～3cm大レキおよび0.3cm大炭化物少量含。

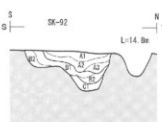
SD-221 ①
A1: Sic110YR2/2,Sil10YR4/4 粒 10% Sil10YR5/2 1cm大ブロック 20% 中-軟 中-密 ～0.1cm大白色粒少量含。
A2: Sic110YR2/2,Sil10YR4/4 粒 15～20% Sil10YR6/2 1cm大ブロック 30% 中-軟 中-密 ～0.1cm大白色粒やや多く含、1cm大レキ少量含。
B1: Sic110YR3/2,Sil10YR5/4 粒 20～30% HC10YR6/1 1cm大ブロック 15～20% 軟 中-密 1～3cm大レキやや多く含。
B2: Sic110YR3/2,Sil10YR5/4 粒 10% HC10YR6/1 1cm大ブロック 20～30% 軟 中-密 1～3cm大レキ少量含。
C1: Sic110YR3/3,Sil10YR5/4 粒～粒 15～20% HC10YR6/1 1～5cm大ブロック 20% 軟 中-緻。
C2: Sic110YR3/3,Sil10YR5/6 粒～粒 10% HC10YR6/1 1～2cm大ブロック 30～40% 軟 中-密 ～1cm大レキやや多く含。
D1: Sic110YR2/1,HC10YR4/1 20% Sil10YR5/8 粒～0.5cm大 10% 軟 中-密 ～0.3cm大白色礫および2～3cm大レキ少量含。
D2: Sic110YR2/1,HC10YR4/1 40% Sil10YR5/8 粒～0.5cm大 10% Si15Y6/2 粒～0.2cm大 30% 軟 中-緻 3～5cm大レキ少量含。
E1: Sic110YR4/2,Si15Y7/4 粒～1cm大ブロック 20～30% 中-軟 中-緻 HC10YR6/1 0.5cm大 20～30%含。

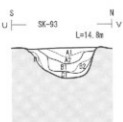
第43図　方形周溝墓18・19断面図











SK-88
A1: SicI10YR3/3,SiII0YR6/8 0.5~2cm大ブロック 10-15% 中-硬 中-密 ~0.5cm大白色レキやや多く含，3cm大レキ少量含。
A2: SicI10YR3/2,SiII0YR6/6 0.5~2cm大ブロック 20-30% 中-軟 中-密 ~0.5cm大白色レキ多量に含，2cm大レキやや多く含。
B1: SiII0YR7/8,SicI0YR4/2 縞 30-40% 中-硬 中-密 1~2cm大レキ多量に含。

SK-92
A1: SicI10YR2/1,HCI0YR6/2 1~2cm大ブロック 15% 中-軟 中-密 ~0.3cm大白色粒やや多く含。
A2: SicI10YR2/1,HCI0YR6/2 1~2cm大ブロック 30% 中-軟 中-密 ~0.3cm大白色粒少量含，2~3cm大レキやや多く含。
A3: SicI10YR2/1,HCI0YR6/1 1~2cm大ブロック 5-10% 軟 中-密。
B1: SicI10YR3/1,SiII0YR6/1 1cm大ブロック 30-40% 中-軟 中-密 ~0.3cm大白色粒やや多く含，5cm大レキ少量含。
B2: SicI10YR3/1,SiII0YR5/3 1cm大ブロック 20-30% 軟 中-緻 ~0.3cm大白色粒少量含。
C1: SicI10YR3/1,SLI0YR6/2 縞~0.3cm大 40% 軟 湿。

SK-93
A1: SicI10YR3/1,HCI0YR5/2 ~1cm大ブロック 15-20% 軟 中-密 ~0.1cm大白色粒少量含。
A2: SicI10YR3/1,HCI0YR5/2 1~3cm大ブロック 30% 軟 中-密 ~0.3cm大白色粒やや多く含。
B1: SicI10YR2/1,HCI0YR6/2 1~2cm大ブロック 20% 軟 中-密 ~0.3cm大白色粒やや多く含。
B2: SicI10YR2/1,HCI0YR6/2 1~2cm大ブロック 30-40% 軟 中-緻 SiII0YR4/4 縞 15%。
C1: HCI0YR6/2,SicI0YR3/1 粉 20-30% 軟 疎 ~0.1cm大白色粒やや多く含。
D1: SicI10YR3/1,HCI0YR6/1 1~3cm大ブロック 10-15% 軟 中-緻 5cm大レキ少量含。

第 44 図　方形周溝墓 18・19 断面図 (2)

む。D1～2層は黒色土に褐灰色粘上と黄褐色シルト、礫を含み、D2層はさらに灰オリーブ色シルトを含む。E1層は灰黄褐色土に浅黄シルトブロックと褐灰色粘上を含む。

壁の状態 ややきつく立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦。

出土遺物 SZ19 周有の西辺 SD204 から弥生時代中期中葉 (III-2 様式) 頃の2つの孔が穿たれ、内面に赤彩された供献用の無頸壺が出土している。また、SK92・93 からの遺物出土はない。

土壙 (SK)88 (第 43・44 図)

位置 SZ19 の墳丘内中央。 **平面形** 楕円形。 **軸方向** N87° E。 **規模** 長軸 1.9m～、短軸 2.05m。 **深さ** 0.28m。 **断面形** U字形。 **検出面** VII層上面。 **重複関係** SK92 に切られる。 **壁の状態** 緩く立ち上がる。 **埋土** A～B層に分けられ、A1～2層は暗褐色土に明黄褐色シルトブロックや礫を含む。B1層は黄橙色シルトに灰黄褐色シルト質埴土と礫を多量に含む。 **出土遺物** なし。

(XIII) 方形周溝墓 20・21

方形周溝墓 20 (第 45・46 図)

位置 調査区北東端。 **平面形** 方形。 **軸方向** N77° E?。 **規模** 東西 6.2m～、南北 3.0m～。 **墳丘規模** 東西 5.7m～、南北 1.0m～。 **主体部** 不明。 **陸橋** 不明。 **周溝の幅** 0.7～1.7m。 **深さ** 0.24～0.5m。 **断面形** (A-B 断面) 逆台形。(C-D 断面)U 字形。 **溝の共有** SZ21(SD195)。 **重複関係** SZ21(SD195) に切られる。 **掘込面** 削平。 **検出面** VIII 層上面 (地山)。

埋土 南辺 SD-195 ① (A-B 断面) は A～D 層の4層に大別され、7層に細分される。全体的に黒色土が主体となって構成されており、A1～2層はにぶい黄橙色シルト、A3層は明黄褐色シルトブロック、B1層は暗オリーブ褐色シルトブロック、C1・D1・D2層は淡黄色シルトブロックを含む。同じく南辺 SD-195 ② (C-D 断面) は C 層が SZ20 の埋土で、C1層は黒褐色土に褐色シルトブロックと多量の礫を含む。

壁の状態 ややきつく立ち上がる。 **底の状態** SZ21(SD195) の切り合い部分で中央が盛り上がっている。

出土遺物 SD195 から弥生時代の壺の体部破片が数点出土しているが、時期は定かではない。

方形周溝墓 21 (第 45～47 図)

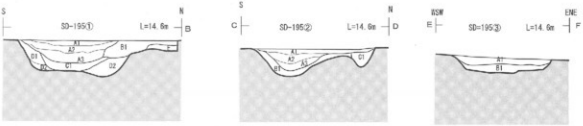
位置 調査区北東端。 **平面形** 長方形。 **軸方向** N70° E。 **規模** 南北 12.4m、東西 9.8m。 **墳丘規模** 南北 9.4m、東西 6.7m。 **主体部** 削平。 **陸橋** 不明。(南東?) **周溝の幅** 0.7～2.0m。 **深さ** 0.12～0.4m。 **断面形** (C-D 断面)U 字形。ほかはすべて逆台形。 **溝の共有** SZ20(SD195)・SZ22(SD197)・SZ23(SD197)。 **重複関係** SZ20(SD195) を切る。(G-H 断面) を観察すると、SZ23 側が浅く段になっていることから、SZ23(SD205) は SZ21 に先行していた可能性が高い。 **掘込面** 削平。 **検出面** VIII 層上面 (地山)。

埋土 北辺 SD-195 ② (C-D 断面) は A～B 層に分けられ、A1～A3 層は黒色粘土ににぶい黄褐色シルトや礫を含む。B1層は黒色粘土ににぶい黄褐色ブロック上や礫を多量に含む。東辺 SD-195 ③ (E-F 断面) は A～B 層に分けられ、A・B 層ともに黒色粘土に灰黄褐色粘土や礫を含む。A1層に土器を少量含む。

SZ23 と共有する南辺 SD-205 ② (G-H 断面) は A～B 層に分けられ、A1～2層は黒色粘土に褐灰色シルトや礫を含む。B1～2層は黒褐色粘土ににぶい黄橙色シルトや礫を含む。SZ22 と共有する西辺 SD-197 ② (I-J 断面) は、A1層が黒褐色土ににぶい黄色シルトを多量に含む。B1層は黒色土に灰黄褐色粘土ブロックとにぶい黄色シルトを含む。北西コーナーの SD-195 ③ (K-L 断面) は A～B 層に分けられ、A1～2層は黒褐色土に灰黄褐色シルトと多量の礫を含む。B1層は黒褐色土に暗褐色粘土ブロックと多量の礫を含む。

壁の状態 きつく立ち上がる。 **底の状態** 基本的に平坦であるが、溝の共有・切り合い部分において、段を形成したり、深くなったりしている。

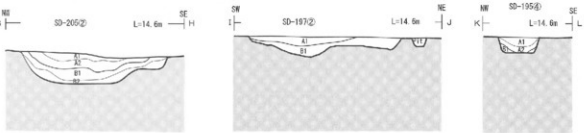
第 45 図　方形周溝墓 20・21 平面図



SD-195 ①
A1：5ic11OYR2/1,Si11OYR5/3 ～0.5cm大 10% 中-散 密 ～0.2cm大白色粒やや多く含。
A2：5ic11OYR2/1,Si11OYR5/3 ～0.5cm大 15-20% 散 密 ～0.2cm大白色粒少量含。
A3：5ic11OYR2/1,Si11OYR6/8 0.5～1cm大ブロック 25-30% 中-散 密 ～0.2cm大白色粒少量含。3cm大レキやや多く含。
B1：5ic11OYR2/1,Si12.5Y3/3 1～5cm大ブロック 30-40% 中-散 密 ～0.2cm白色粒やや多く含。
C1：5ic11OYR2/1,Si12.5Y8/4 ～1cm大ブロック 5-7% 散 密 ～0.2cm大白色粒少量含。
D1：5ic11OYR2/1,Si12.5Y8/4 1～10cm大ブロック 40% 散 緩 ～0.2cm大白色粒微量に含。
D2：5ic11OYR2/1,Si12.5Y8/4 1～10cm大ブロック 60-70% 散 緩。

SD-195②
A1：HC10YR2/1,Si11OYR4/3 0.5cm大 20% 軟 密 0.2～1cm大白色レキ多量に含。
A2：HC10YR2/1,Si11OYR4/3 0.5cm大 10-15% 軟 密 0.2～1cm大白色レキ多量に含。
A3：HC10YR2/1,Si11OYR4/3 0.5cm大 25% 軟 密 0.2～1cm大白色レキやや多く含。
B1：HC10YR2/1,Si11OYR4/3 0.5～1cm大ブロック 40-50% 軟 中-密 0.5～1cm大レキやや多く含。
C1：5ic11OYR3/1,Si11OYR4/6 0.5～1cm大ブロック 20-30% 中-軟 中-密 0.5～1cm大レキ多量に含。

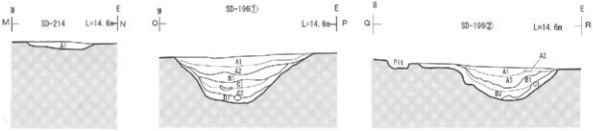
SD-195③
A1：HC10YR2/1,HC10YR5/2 0.5cm大 15-20% 軟 密 0.5～1cm大レキやや多く含。土器少量出土。
B1：HC10YR2/1,HC10YR6/2 0.5cm大 30-40% 軟 中-疎 0.5～1cm大レキやや多く含。5cm大レキ少量含。



SD-205②
A1：HC10YR2/1,Si11OYR6/1 粗 10% 軟 中-密 ～0.2cm大白色粒やや多く含。0.5～3cm大レキ多量に含。
A2：HC10YR2/1,Si11OYR6/1 粗 20% 軟 中-密 ～0.2cm大白色粒および0.5～3cm大レキやや多く含。
B1：HC10YR2/2,Si11OYR7/2 粗 10% 軟 中-密 ～0.2cm大白色粒多量に含。0.5～3cm大レキやや多く含。
B2：HC10YR2/2,Si11OYR7/2 粗 40-50% 軟 中-疎 ～0.2cm大白色粒やや多く含。0.5～3cm大レキ少量含。

SD-197②
A1：Sic11OYR3/2,Si12.5Y6/4 粗 40% 軟 中-密 ～0.3cm大白色粒少量含。
B1：Sic11OYR2/1,HC10YR6/2 1～3cm大ブロック 5-10% Si12.5Y6/4 粗 10% 軟 中-疎 ～0.2cm大白色粒少量含。

SD-195④
A1：Sic11OYR2/2,Si11OYR6/2 粒～0.5cm大 10% 中-軟 中-密 ～0.5cm大白色レキ多量に含。
A2：Sic11OYR2/2,Si11OYR6/2 粒～0.5cm大 20-30% 中-軟 中-疎 3～5cm大レキ多量に含。
B1：Sic11OYR2/2,HC10YR3/4 1cm大ブロック 30% 軟 中-密 3～5cm大レキ多量に含。



第 46 図　方形周溝墓 20・21 断面図

SD-214
A1: SiCl10YR2/2,Si11OY6/2 粉 40% 中-軟 密 ～0.3cm大白色粒多量に含．5cm大レキ少量含。

SD-195土
A1: HC10YR2/1,Si11OY6/2 粉 15% 軟 中-密 ～0.5cm大レキ少量含．土器少量出土。
A2: HC10YR2/1,Si11OY6/2 粉 30% 中-軟 中-密 ～0.5cm大レキ少量含．土器少量出土。
B1: HC10YR2/1,Si11OY6/2 粉 40-50% 軟 中-密 ～0.5cm大レキ微量に含。
C1: HC10YR4/1,Si11OY6/2 粉 15-20% 軟 中-密 ～0.3cm大白色粒少量含．土器多量出土。
C2: HC10YR3/1,Si11OYR6/2 粉 30% 軟 中-密 3～10cm大レキやや多く含。
D1: HC10YR4/1,Si11OY6/2 粉 40% 軟 中-密。

SD-196芝
A1: HCN2/1,Si11OYR7/1 粒～0.5cm大 30% 軟 密 ～0.3cm大白色粒および1cm大レキ少量含。
A2: HCN2/1,Si11OYR7/1 粒～0.5cm大 5-10% 軟 密 ～0.3cm大白色粒やや多く含．1～3cm大レキ少量含。
A3: HCN2/1,Si11OYR7/1 粒～0.5cm大 15-20% 軟 中-密 ～0.3cm大白色粒微量に含．0.5cm大レキ少量含。
B1: HC10YR4/1,Si11OY7/1 粒～0.3cm大 15-20% 軟 中-密 1cm大レキ少量含。
B2: HC10YR4/1,Si11OY7/1 粒～0.3cm大 10% 軟 中-疎 1～3cm大レキやや多く含。
C1: HC10YR4/1,Si11OY7/1 粒～0.3cm大 40-50% 軟 中-疎 ～0.5cm大レキ多量に含。

方形周溝墓 20・21 断面土層註記

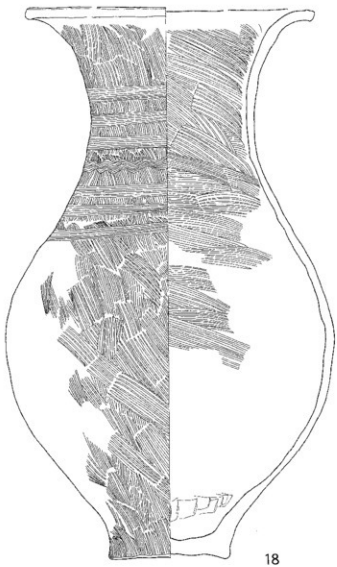
出土遺物（第 47 図 18 ～ 19・表 1） 東辺 SD195 から壷の体部破片が数点出土している。西辺の SD197 からは 18 の広口壷と 19 の砥石が出土している。18 は弥生時代中期前葉～中葉（II ～ III 様式）頃のものと思われ、器形は口縁部がやや長く大きくラッパ状に開き、卵形の胴部中央に最大径を有する。器高 43.7cm、口径 22.7cm、最大径 26.2cm、底径 9.4cm を測る。器面調整は外面がハケメ調整の後、口～頸部にかけて櫛描直線文 3 段＋波状文 1 段＋直線文 3 段が施される。内面はハケメを施している。19 は泥岩製の四角柱状短冊形を呈する砥石で、4 面に擦痕などの使用痕が窺える。全長 19.4cm、幅・厚さ 5.3 ～ 6.4cm、重量 1.03kg を測る。

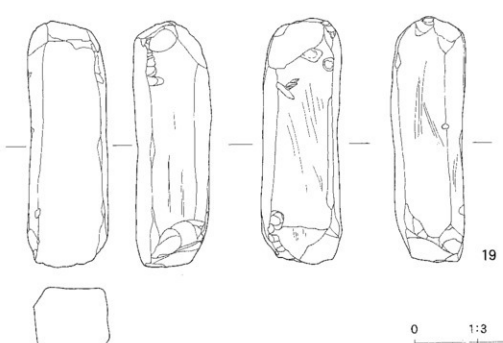
溝（SD）214（第 45・46 図）

位置 SZ21 の墳丘内北側。 **軸方向** N7° E。 **規模** **全長** 3.8m ～。**幅** 0.95 ～ 1.4m。深さ 0.1m。 **断面形** U 字形？。 **検出面** VIII 層上面（地山）。 **底の状態** ほぼ平坦。 **重複関係** 北辺 SD195・SD521（中世大溝）に切られる。 **埋土** 単層で A1 層は黒褐色土に灰黄褐色シルトや礫を含む。 **出土遺物** なし。

溝（SD）210（第 48・50 図）

位置 SZ23 の墳丘外東側。 **軸方向** N13° W。 **平面形** L 字に屈曲。 **規模** 全長 5.2 ～× 3.9m ～。**幅** 0.85 ～ 1.2m。**深さ** 0.28m。 **断面形** 逆台形。 **検出面** VII 層上面。 **底の状態** ほぼ平坦。 **重複関係** 東辺 SD205・SD196 に切られる。 **埋土** A ～ B 層に分けられ、A1 層は黒色土に灰オリーブ色シルトや礫を含む。B1 ～ 2 層は黄灰色粘土に黒褐色粘土ブロックと多量の礫を含む。 **出土遺物** なし。





第 47 図　方形周溝墓 21・22(SD197) 出土遺物

方形周溝墓 22(第 48 ～ 50 図)

位置 調査区北東側。 **平面形** 方形。 **軸方向** N64° E。 **規模** 北西 - 南東 7.0m、南西 - 北東 7.8m。 **墳丘規模** 北西 - 南東 4.3m、南西 - 北東 5.2m。 **主体部** 削平。 **陸橋** 北西 (幅 1.8m。)・南西 (幅 0.5m。) **周溝の幅** 0.6 ～ 1.7m。 **深さ** 0.2 ～ 0.73m。 **断面形** U 字形。 **溝の共有** SZ21(SD197)・SZ23(SD205)。 **重複関係** SZ19(SD204)・SD521(中世大溝) に切られる。 **掘込面** 削平。 **検出面** VIII 層上面 (地山)。

埋土 北辺 SD197 ① (A-B 断面) は A ～ E 層の 5 層に大別され、A1 層は黒褐色土ににぶい黄色シルトを多量に含む。B1 ～ 2 層は黒色土に灰黄褐色粘土ブロックとにぶい黄色シルトを含む。C1 ～ 2 層はオリーブ黄色シルトに暗褐色土と礫を含む。D1 層は黒褐色土に褐色シルトを含む。D2 層は黒褐色粘土に褐色シルトを含む。E1 層は C1 層に類似する。SZ21 と共有する東辺 SD-197 ② (C-D 断面) は A ～ B 層に分けられ、A1 層は黒褐色土に多量のにぶい黄色シルトを含む。B1 層は黒色土に灰黄褐色粘土ブロックとにぶい黄色シルトを含む。SZ23 と共有する南辺 SD-205 ① (E-F 断面) は単層で A1 層は黒色シルトに褐灰色シルトと褐灰色粘土ブロックや礫を含む。A2 層は黒色シルトに多量の明オリーブ灰色シルトや礫、炭化物を含む。

壁の状態 ややきつく立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦であるが、共有・切りあい部分は段差がある。

出土遺物 SD197 からは壷の体部破片、SD205 からは口縁部が大きく開く壷、櫛描直線文が施された壷の体部破片が出土している。

方形周溝墓 23(第 48 ～ 50 図)

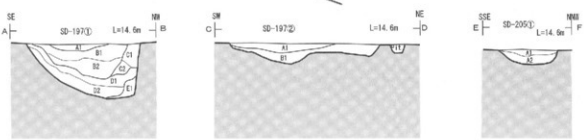
位置 調査区北東部。 **平面形** 長方形。 **軸方向** N68° E。 **規模** 北西 - 南東 8.3m、南西 - 北東 10.7m。 **墳丘規模** 北西 - 南東 6.4m、北東 - 南西 8.9m。 **主体部** 長楕円形土壙 1 基?。 (SK91-N70° E。) 長軸 3.4m ×短軸 1.2m を測る。 **陸橋** 北西 (幅 0.6m。)・南東 (幅 1.3m) に開口。 **周溝の幅** 0.6 ～ 1.15m。 **深さ** 0.2 ～ 0.66m。 **断面形** (G-H 断面)・(I-J 断面)・(O-P 断面) 逆階段状。 (E-F 断面)U 字形。 (K-L 断面)・(M-N 断面) 逆台形。 **溝の共有** SZ22(SD205)。 **重複関係** SZ19(SD204)・21(SD197) に切られる。SZ17(SD219)・SD210 を切る。 **掘込面** 削平。 **検出面** VII 層上面。

主体部埋土(SK91) は深さが 0.58m を測る。底面はやや窪み、断面形は U 字形を呈する。埋土は A ～ C 層の 3 層に分けられ、A1 ～ 3 層は黒褐色土ににぶい黄褐色シルト、黄褐色シルトや炭化物を含む。B1 層は黒色土に黄橙色シルトブロックを多量に含む。C1 層は黒褐色土ににぶい黄褐色シルト、橙色焼土ブロックを含む。C2 層は黒褐色土に黄褐色シルトを含む。C3 層は黒褐色土に灰白色シルトを多量に含む。

周溝埋土 西辺 SD-204 ①(G-H 断面) は A ～ C 層の 3 層に大別され、A1 ～ 2 層は黒褐色土に灰黄褐色シルト礫を含む。B1・C1 層は灰黄褐色シルトに褐灰色粘土ブロックと多量の礫を含む。C2 層は黒褐色土ににぶい黄橙色粘土ブロックと多量の礫を含む。北辺 SD-205 ②(I-J 断面) は A ～ B 層に分けられ、A1 ～ 2 層は黒色粘土に褐灰色シルトや礫を含む。B1 ～ 2 層は黒褐色粘土ににぶい黄橙色シルトや礫を含む。東辺 SD-205 ③(K-L 断面) は A ～ C 層の 3 層に大別され、A1 ～ 2 層・B1 層は黒褐色土に灰黄褐色粘土ブロックや礫を少量含む。B2 層は黒褐色土に褐灰色粘土ブロックと明黄褐色シルトブロックや礫を含む。C1 ～ 2 層は黒褐色粘土に灰オリーブ色シルトや礫を多量に含む。南辺 SD-205 ④(M-N 断面) は A ～ D 層の 4 層に大別され、A1 ～ 2 層は黒褐色土に灰黄褐色シルトや礫を含み、A2 層には明赤褐色の焼土ブロックを多量に含む。B1 ～ B3 層は褐灰色粘土に黒褐色土を含む。C1 層褐灰色粘土に黒褐色土や褐灰色シルトを含む。D1 ～ 2 層は黒褐色土に黄橙色シルトブロックを含む。西辺 SD-205 ⑤(O-P 断面) は A1 ～ 2 層・B1 層は黒褐色土ににぶい黄褐色シルトと褐灰色粘土ブロックを含む。C1 層は黒色土ににぶい黄褐色シルトや礫を含む。D1 層は黒褐色土に褐灰色粘土ブロックや礫を含む。E1 層は浅黄色土に黒褐色ブロック土を含む。

壁の状態 きつく立ち上がる。 **底の状態** ほぼ平坦であるが、共有・切合い部分は凹凸がある。

出土遺物 SD205 から弥生土器の体部破片が出土している。他に壷の口縁部、櫛描直線文を施した壷の体部破片が出土しているが、遺物からは弥生時代中期の範疇であるとしか言えない内容である。また、SK91 からの遺物出土はない。



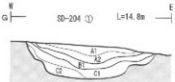
SD-197 ①
A1: Sicl10YR3/2,Si12.5Y6/4 粒 40% 軟 中-疎 ~0.3cm大白色粒少量含。
B1: Sicl10YR2/1,HC10YR6/2 1~3cm大ブロック 5-10% Si12.5Y6/4 粒 10% 軟 中-疎 ~0.2cm大白色粒少量含。
B2: Sicl10YR2/1,HC10YR6/2 1~3cm大ブロック 3-5% Si12.5Y6/4 粒 15-20% 軟 中-疎 ~0.2cm大白色粒少量含。
C1: Si17.5Y6/3,Sicl10YR3/3 粒 10-15% 軟 中-疎 0.5~1cm大レキ少量含。
C2: Si17.5Y6/3,Sicl10YR3/3 粒 40-50% 軟 中-疎 0.5~1cm大レキ少量含。
D1: Sicl10YR2/2,Si110YR4/4 粒 40% 軟 中-密 ~0.1cm大白色粒少量含。
D2: HC10YR2/2,Si110YR4/4 粒 10% 軟 中-密 ~0.1cm大白色粒少量含。
E1: C1層と同様。

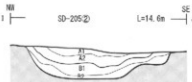
※断面図は1：50

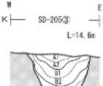
第48図　方形周溝墓22・23平・断面図

SD-197②
A1: Sic1 10YR3/2,Si1 2.5Y6/4 粒 40% 軟 中-密 ～0.3cm大白色粒少量含。
B1: Sic1 10YR2/1,HC10YR6/2 1～3cm大ブロック 5-10% Si1 2.5Y6/4 粒 10% 硬 中-疎 ～0.2cm大白色粒少量含。

SD-205①
A1: Si1 10YR2/1,Si1 10YR5/1 粒 20% HC10YR6/1 2～3cm大ブロック 15% 軟 中-密 2～3cm大レキ少量含。
A2: Si1 10YR2/1,Si1 5GY7/1 粒～0.3cm大 40% 軟 硬 ～0.3cm大レキ多量に含，0.5～3cm大レキやや多く含，～0.5cm大炭化物少量含。



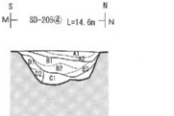


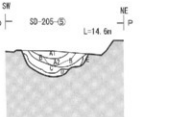


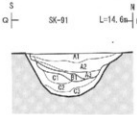
SD-204 ①
A1: Sic1 10YR3/2,Si1 10YR5/2 粒 30% 軟 中-疎 0.5～1cm大レキ少量含。
A2: Sic1 10YR3/2,Si1 10YR5/2 粒 40-50% 軟 中-疎 0.5～1cm大レキやや多く含。
B1: Si1 10YR4/2,HC10YR6/1 1～2cm大ブロック 40% 軟 中-疎 1～3cm大レキ多量に含。
C1: Si1 10YR4/2,HC10YR6/1 1～2cm大ブロック 20-30% 軟 中-疎 1～3cm大レキ多量に含。
C2: Sic1 10YR3/2,HC10YR7/2 0.5～1cm大ブロック 20% 軟 硬 3～5cm大レキを多量に含。

SD-205②
A1: HC10YR2/1,Si1 10YR6/1 粒 10% 軟 中-密 ～0.2cm大白色粒やや多く含，0.5～3cm大レキ多量に含。
A2: HC10YR2/1,Si1 10YR6/1 粒 20% 軟 中-密 ～0.2cm大白色粒および0.5～3cm大レキやや多く含。
B1: HC10YR2/2,Si1 10YR7/2 粒 10% 軟 中-密 ～0.2cm大白色粒多量に含，0.5～3cm大レキやや多く含。
B2: HC10YR2/2,Si1 10YR7/2 粒 40-50% 軟 中-疎 ～0.2cm大白色粒やや多く含，0.5～3cm大レキ少量含。

SD-205③
A1: Sic1 10YR3/2,HC10YR6/2 1cm大ブロック 10-15% 中-軟 中-密 1cm大レキ少量含。
A2: Sic1 10YR3/2,HC10YR6/2 ～1cm大ブロック 20% 中-軟 中-密 1cm大レキ少量含。
B1: Sic1 10YR3/1,HC10YR6/2 1～3cm大ブロック 30% Si1 10YR6/8 粒～1cm大ブロック 15% 軟 中-密 1cm大レキ少量含。
B2: Sic1 10YR2/1,HC10YR6/1 1cm大ブロック 20% Si1 10YR6/8 粒～1cm大ブロック 20-30% 中-軟 中-密 1cm大レキ少量含。
C1: HC10YR3/1,Si1 7.5Y6/2 粒 60-70% 中-軟 中-密 0.5～3cm大レキやや多く含。
C2: HC10YR3/1,Si1 7.5Y6/2 粒 50% 中-軟 中-疎 0.5～3cm大レキ多量に含。







SD-206④
A1: Sic1 10YR2/2,Si1 10YR4/2 粒 25% 中-軟 中-密 1cm大レキ少量含。
A2: Sic1 10YR3/2,Si1 10YR4/2 粒 15% 軟 中-疎 Si1 5Y5/8 1cm大焼土ブロック多量に含，1cm大レキ少量含。
B1: HC10YR5/1,Sic1 10YR3/2 粒 30-40% 中-軟 中-疎 0.5cm大レキ多量に含。
B2: HC10YR6/1,Sic1 10YR3/2 粒 10% 軟 中-密。
B3: HC10YR6/1,Sic1 10YR3/2 粒 15-20% 軟 密。
C1: HC10YR5/1,Sic1 10YR2/2 粒 20% Sic1 0YR4/1 粒～0.2cm大 30% 軟 中-密。
D1: Sic1 10YR3/2,Si1 10YR7/8 ～1cm大ブロック 15% 中-軟 中-密 ～0.1cm大粒やや多く含。
D2: Sic1 10YR2/2,Si1 10YR7/8 ～1cm大ブロック 40-50% 軟 密。

SD-205⑤
A1: Sic1 10YR3/2,Si1 10YR5/4 粒 20-30% Hc10YR6/1 1-5cm 15-20% 中-軟
A2: Sic1 10YR3/2,Si1 10YR5/4 粒 15% Hc10YR6/1 1-5cm5% 軟
B1: Sic1 10YR3/2,Si1 10YR5/4 粒 5% Hc10YR6/1 1-5cm 30% 軟
C1: Si1 10YR2/1,Si1 10YR5/4 粒 10% 中-軟 中-疎 ～0.1cm白色粒少 1cm大礫少
D1: Si1 10YR2/1,Hc10YR6/1 ～5cm大 20% 中 3-5センチ大礫少
E1: Sic1 2.5Y7/3,Si1 10YR3/2 ～0.5cm大 50% 軟 中(整地層土)

SK-91
A1: Sic1 10YR2/2,Si1 10YR4/3 粉～粒 20% 中-軟 中-密 ～0.2cm大白色粒装量に含，0.3cm大炭化物少量含。
A2: Sic1 10YR2/2,Si1 10YR4/3 粉～粒 10-15% 中-軟 中-疎 ～0.2cm大白色粒少量含，0.3cm大炭化物やや多く含。
A3: Sic1 10YR2/2,Si1 10YR5/6 粉～粒 30% 中-軟 中-疎 ～0.2cm大白色粒少量含，0.3cm大炭化物微量に含。
B1: Sic1 10YR2/1,Si1 10YR7/8 粉～5cm大ブロック 50-60% 硬 中-疎。
C1: Sic1 10YR2/2,Si1 10YR4/3 粒 20-30% Si1 7.5YR6/8 5cm大焼土ブロック少量含。軟 中-密。
C2: Sic1 10YR2/2,Si1 10YR5/6 粒 30% 軟 中-疎。
C3: Sic1 10YR2/2,Si1N7/0 粒 40-50% 軟 疎。

第 49 図　方形周溝墓 22・23 断面図 (1)